

第六十三回帝國議會 院 製絲業法案委員會會議錄(速記)第二回

會議

昭和七年八月二十九日(月曜日)午後一時十五分開議

出席委員左ノ如シ

- 委員長 生田 和平君
理事加藤 知正君 理事矢野 晋也君
理事小山邦太郎君

- 横川 重次君 有馬 淺雄君
近藤壽市郎君 白城 定一君
青木 精一君 百瀬 渡君
中井川 浩君 川淵 洽馬君
戸田 由美君 武田徳三郎君

同日二十八日委員久山知之君辭任ニ付其ノ補闕トシテ武田徳三郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日二十九日委員中野猛雄君辭任ニ付其ノ補闕トシテ吉田柄明君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日二十七日日本蠶絲株式會社法案(胎中楠右衛門君外二名提出)、原蠶種國營法案(胎中楠右衛門君外二名提出)、製絲業法案(胎中楠右衛門君外二名提出)及輸出生絲販

第六類第三號 製絲業法案(政府提出)委員會會議錄 第二回 昭和七年八月二十九日

賣統制法案(胎中楠右衛門君外二名提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

- 農林大臣 後藤 文夫君
出席政府委員左ノ如シ
農林參典官 松村 謙三君
農林省蠶絲局長 入江 魁君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
製絲業法案(政府提出)

○生田委員長

是ヨリ開會致シマス、本委員會ハ政府提出製絲業法案並胎中楠右衛門君外二名ヨリ提出、日本蠶絲株式會社法案、同ジク原蠶種國營法案、或ハ製絲業法案、同ジク輸出生絲販賣統制法案ノ五ツガ付託ニナツテ居リマス、議事ノ都合ニ依リマシテ先ヅ政府提出ノ製絲業法案ヨリ、審議ヲ進メタイト思ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○生田委員長 然ラバ左様致シマス

○後藤國務大臣 製絲業法案ノ提出ノ理由ヲ簡單ニ御説明申上ゲマス、製絲業ノ重要性ニ付テハ、今更申上ゲルマデモアリマセ

ヌ、政府ハ之ニ對シテ常ニ深い注意ヲ拂ツテ

居ル次第デアリマシテ、輸出生絲檢査法、蠶絲業組合法、絲價安定ニ關スル各種法律ノ制定等 諸般ノ施設ヲ努メテ參タノデアリマス、然ルニ斯業ノ現狀ヲ見マスルノニ、遺憾ナガラ猶ホマダ改善ヲ要スベキ事項ガ少クアリマセヌ、就中著シイ缺陷ト認メラ

レマスノハ、斯業經營ノ工場ノ規模ガ、大小雜然トシテ濫立致シテ居リマシテ、規模ノ極メテ小サナ、資力ノ薄弱ナモノガ多クゴザイマス、隨テ經營ノ基礎ガ必シモ堅實ナ期シ難イ點デアリマス、斯ノ如キ不堅實ナ工場ニ在リマシテハ、一荷口——千斤ノ生絲ヲ製産スルノニモ長時日ヲ要シマシ

テ、爲ニ製品ノ販賣回數ガ少ク、絲價騰落ノ利害ヲ調節シ難イト同時ニ、資金ノ回收モ亦遲イノデアリマス、運轉資金ノ輕減ト金利ノ節約ヲモ期シ得ザル事情ニアリマス、其信用ノ程度ガ低イガ爲ニ、所要資金ノ借入ニ高率ノ利子ヲ支拂ハネバナラヌノデアリマス、且又設備ノ不完全ノ爲ニ、其製産ニ關スル生絲ハ品質ガ優良デナイ場合

付託議案

製絲業法案(政府提出)
日本蠶絲株式會社法案(胎中楠右衛門君外二名提出)
原蠶種國營法案(胎中楠右衛門君外二名提出)
製絲業法案(胎中楠右衛門君外二名提出)
輸出生絲販賣統制法案(胎中楠右衛門君外二名提出)

ガ少クナイノデアリマス、隨テ是等ノ經營

工場ハ、一朝經濟界ノ變動ニ依ツテ絲價ノ激落ヲ見マストキハ、之ニ堪フルノ力ガ乏シクゴザイマシテ、製品ヲ賣急グト云フヤウナ關係上、絲價ノ暴落ヲ激成シ、經營ノ破綻ヲ招來シテ、休業又ハ廢業スル者ガ續出スルヤウナ、事情ニ立到リマシタ事例ガ、過去ニ於テ屢見ラレテ居ルノデアリマス、其結果ハ養蠶者ニモ少ナカラズ打撃ヲ與ヘルコトニナリマス、又事業ノ職工ニ失業者ヲ

生ズルト云フヤウナ、惡影響ヲ與ヘテ參ッテ居ルノデアリマス、而モ時ニハ又絲價ガ好轉スルト云フ時ガアルト、又忽チニ前述ノヤウナ薄弱ナ工場ハ、僅カノ資本ニ依ツテ簇生シマシテ、絲價ヲ紊シ、製品ノ聲價ヲ落スト云フヤウナコトガ生ズルノデアリマス、世ノ中デ往々製絲業ヲ指シテ、興廢ノ常ナイ投機的ノ事業デアルト難ズル者ガアリマスルノモ、斯ウ云フ點カラ參ルノデアラウト思ヒマス、蠶絲業全般ノ爲メ、又國家經濟ノ爲ニ、速ニ改善ヲ要スルモノデアラウニ思フノデアリマス、本法案ハ以上ノ製

絲業ノ現狀ニ即シマシテ、其弊ヲ矯メ、事業ノ改善ト統制ヲ期スル爲ニ、一ツニハ製絲業ノ經營ニ一定ノ基準ヲ與ヘテ、將來ニ於ケル不健全ナ企業ノ濫立スルコトヲ防ギマシテ、第二ニハ既存ノ製絲工場ハ、現狀ノ儘暫ク其存續ヲ認メマスケレドモ、漸次ニ是ガ企業ノ合同、又ハ共同施設ノ施行ヲ勸奨シテ以テ、小規模ノ工場ヲ整理シ、第三ニ製絲業ハ主務大臣及地方長官ノ監督取締ノ下ニ之ヲ經營セシメ、第四ニハ更ニ製絲業ノ統制ニ關シテ、當業者ノ自治的方法ニ依ッテ、十分ニ效果ヲ期シ得ナイヤウナ非常時ニ於キマシテハ、之ニ對シテ政府ニ於テモ統制上ノ命令ヲ爲シ得ル權能ヲ、留保スルコト、致シタノデアリマス、以上ガ本法案ノ極ク大要デアリマス、是ガ實施ヲ見ルニ至リマスレバ、斯業ノ革新上ニ相當ナ效果ヲ擧ゲ得ルモノト信ジテ居ルノデアリマス、ドウカ御審議ノ上、速ニ御可決アラシムコトヲ切望致シマス

系統的ナ統制ノ政策ヲ實施セラル、御用意ガアツテ、本法案ヲ御提出ニナッタノデアアルカドウカ、サウ云フ御方針デ本法案ヲ御出シニナッタトスルナラバ、蠶種ノ問題ハ如何ニ御取扱ニナラル、カ、又養蠶家ヲ保護スル上ニ於キマシテ、何等カノ適切ナル御施設ヲ御考ニナツテ居ラル、カ、輸出版統制等ニ付テ、具體的ノ御方針ヲ御定ニナツテ居ラレルカ、先ヅソレカラ御答辯ヲ御願シタイ

○後藤國務大臣 製絲業法案ノ提出ニ關聯シテ、當然ニ起サレル御尤ナ御質問デアルト思ヒマス、政府ハ蠶絲業全般ニ涉リ、改善統制ノコトニ付テ、深ク考慮ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、曩ニハ輸出生絲ノ檢査法等ヲ施行スルコトニ致シマシタノモ、其一端デアリマス、今回製絲業法案ヲ提出致シマスルノモ、其一部デアリマス、唯、今御話ニナリマシタヤウナ原蠶種ノ育成、又蠶絲ノ管理ノ問題、或ハ輸出生絲ノ販賣統制ノ問題等ハ、色々ト利害錯綜シテ居リマス、又輸出生絲ノ統制問題ノ如キハ、海外市場トノ關係ニ付テモ、深ク考慮ヲ致サナケレバナラヌ問題デアリマス、其仕組ハ如何ナル方法ニ依ルコトガ適當デアルカ、ドレダケノ範圍ノモノガ此統制ニ耐ヘルコト

ガ出來ルノデアアルカ、順序ハドウ云フ所カラ著手ヲシナケレバナラヌカ、其著手スル場合ニ於ケル影響ガドウナルカ、皆悉ク蠶絲業全般ヲ考ヘテセナケレバナラヌ問題デアリマス、政府ハソレ等ノ點ニ付テ十分ニ考究ヲシ、出來ルダケ速ニ成案ヲ得タイト考ヘテ居リマス、尙ホ養蠶家ノコトハ最モ困難ナル問題デアリマスケレドモ、是モ矢張り基本的ノ問題デアルト思フノデアリマス、政府ガ蠶絲業組合法ヲ制定シテ、養蠶家ノ間ノ統制聯絡ヲ考ヘタノモ、其通りデアリマス、併シ何分ニモ多數ナ養蠶家ノ存在シテ居ル有様デアリマスシ、又養蠶ヲ專業トシテ居ル所モアリマスシ、單ナル副業ノ所モアリマシテ、此全體ノ統制ヲ圖ルコトハナカ／＼容易デアリマセヌノデ、政府ノミノ力デハ參リマセヌ、養蠶家自體ノ自覺進歩ト云フコトニ俟タナケレバナラヌ點ガアルノデアリマス、今回政府ガ時局匡救ノ應急對策トシテ提出シマシタ豫算案ノ中ニモ、桑園ノ整理改植等ニ依ッテ、一面ニ於テハ荒廢桑園ヲ改良サセ、他面ニ於テハ桑園ノ生産能力ヲ増進シテ、生産費ノ低下ヲ圖ルト云フヤウナコトニ依ッテ、養蠶業ノ生産費低下ニモ資シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ諸般ノ蠶絲業全般ニ涉ル施

設ハ順ヲ逐フテ、支障ノ無イ仕組ノ考ヘラレル、又實行ノ可能ナルモノカラ、順次實現ヲ圖ッテ行カナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマス

○青木委員 御質問申上ゲタイノデゴザイマスガ、先ヅ根本問題トシテ御伺シテ置キタイコトハ、農林大臣ハ此蠶絲業全體ニ通ジテ、脈絡アル統制政策ヲ御執ニナル御方針デアアルカドウカ、詰リ蠶種即チ種紙カラ始マツテ、製絲及輸出版統制ニ至ルマデ、

○青木委員 大體ニ於テ蠶絲業ノ統制ニ付テ御考ノアルコトハ了承致シマシタガ、此製絲業法即チ製絲家ノ免許制度ダケヲ單獨ニ御施行ニナルト云フコトデアレバ、洵ニ其效果ノ上ニ於テモ、直接行ハレルト云フコトガ薄弱デアルト思フノデアリマス、第一ニ出發點トシテ蠶種ノ國營又ハ管理、今日ハ幸ヒ内外ノ狀況ガ好轉致シマシテ、今日ノ問題トシテハ餘リ喧シク言ヘナイヤウナ即今ノ狀況デアリマスガ、大臣モ御心配ニナツテ居ル通り、生絲絲價ノ變動ト云フモノハ、今日デ明日ヲ測ルコトガ出來ナイト云フ過去ノ經歷ニ考ヘテ見マシテモ、ドウシテモ輸出市場ノ統制ヲ致サナケレバ、折角其中間ニ於ケル所ノ種々ナル制度ニ依ッテ製絲家、養蠶家ノ立場ヲ改善致シテ行キマシテモ、輸出統制ノ行ハレナイ時代ニ於テハ、十分ナル目的ヲ達スルコトガ出來ナイト云フコトハ、私ガ申スマデモナイコトデアリマシテ、蠶種ノ國營ト輸出市場ノ統制ト云フコトガ、相伴ッテ行ハナケレバナラヌモノト確信致スノデアリマスガ、次ノ通常議會

マデニ此二ツノ政策ヲ御實行ニナル御用意
ガオアリニナルカドウカ、ソレヲ御何致シ
テ見マス

○後藤國務大臣 原蠶種ノ國營問題ニ付キ

マシテハ、色々マダ考究ノ餘地ガ残ッテ居リ
マス、又今ノ輸出生絲ノ販賣統制ノ問題ニ
付キマシテモ、先程申シマシタヤウニ、關
係スル所ガ廣汎デアリマシテ、今政府ガ直
ニ此通常議會ニ出セルヤ否ヤト云フ御問ニ
對シテハ、ハッキリ致シタ御答ハ申上ゲ兼ネ
マスガ、是等兩方ノ問題ニ付テモ、政府ハ
今日マデモ考究ハ致シテ居リマス、將來モ
出來得ル限りノ速力デ考究シテ、何等カノ
成案ヲ得マスレバ、成べく速ニサウ云フモ
ノニ著手ヲ致シテ見タイト思ッテ居リマス、
唯關係スル所ガ非常ニ深イ爲ニ、是レ以上
深ク申上ゲナイ方ガ、或ハ適當デハナイカ
ト考ヘテ居リマス

○青木委員 出來ルダケ此點ニ主力ヲ傾到

サレマシテ、一日モ早く我國ノ蠶絲業改革
ノ恆久的基礎ヲ、確立致スヤウニ希望シテ
已マナイモノデアリマス、會期切迫ノ場合
デゴザイマスカラ、直ニ本法案ノ内容ニ向ッ
テ、一二御尋テ致スコトニ致シタイト思ヒ
マス、第一條ノ命令ヲ以テ規定スルモノヲ
除クノ他ト云フ此除外事項ハ、ドウ云フモ

ノデゴザイマスカ、先ヅ之ヲ御何致シテ置
カナケレバ、審査ノ上ニ非常ニ不便デア
ルト思ヒマスカラ、此命令事項ヲ御發表ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○入江政府委員 御答致シマス、第一條ノ

此法律ノ適用ヲ除外致シマスルモノハ、自
家用ニ供スル器械生絲ノ製造ヲ爲スモノ、
次ニ自家用ニ供スル器械生絲ノ製造工場ヲ
有スル蠶業組合、及ビ蠶業組合聯合會、ソ
レカラ兩組合ノ持ッテ居リマスル器械生絲
ノ製造工場ヲ利用致シマシテ、器械生絲ノ
製造ヲ致シマスル所ノ組合員、次ニ他ノ製
絲業者ニ委託ヲ致シマシテ、器械生絲ノ製
造ヲスル者、斯ウ云フヤウナモノヲ除外ス
ル考デアリマス

○青木委員 ソコデ自家用ニ供スル製絲工

場ヲ除外スルト云フ點ニ、頗ル私共ハ本法
ノ運用上疑ヲ懷クモノデアリマス、自家用
製絲工場ト言ヒナガラ、鐘ヶ淵紡績ノ如キ、
或ハ福井地方ノ機業地ニ於ケル製絲工場ノ
如キ、相當大規模ナ所ノ設備ヲ持ッタ所ノ工
場ガ少クナイノデアリマス、ソレヲ唯本法
ノ取締カラ除外ヲ致シテ置クト云フコトニ
ナリマスルト、本法ノ效果ヲ舉ゲル上ニ於
テ、種々ナル支障ヲ來シハシナイカ、斯ウ
私ハ思フノデスガ、此自家用製絲工場ニ對

シテモ、一齊ニヤハリ釜數其他ノ設備ノ屆
出ヲ爲サシメテ、サウシテ此取締上、主務
大臣ガ必要ノ場合ニ於テハ、ヤハリ本法ノ
要求スル報告等ヲ徵サレルト云フ立前ニシ
テ置カナイト云フト、其間ニ種々ナルイン
チキガ行ハレルヤウナコトガアリハシナイ

○入江政府委員 御尤ナ御質問ト存ジマス

ガ、大體茲ニ除外致シマスルコトニ指定致
シタイト考ヘマスルモノハ、主トシテ此織
物工場ノ附屬工場、斯ウ云フ風ナモノヲ除
外シタイト云フ考デアリマス、隨テ今御示
シニナリマシタ鐘紡ノ如キモノハ、勿論此
法律ノ適用ヲ受ケル考デアリマス、隨テ私
共ノ狙ッテ居リマスルモノハ、例ヘバ今御話
ニナリマシタ福井デアリマスルトカ、織物
ノ地方ニ於キマシテ、其織物ノ工場ノ詰リ
附屬設備ト云フ風ナ次第二ナッテ居ル、詰リ

○入江政府委員 此器械生絲ト云フ文字其

モノデゴザイマスガ、大體農林省統計ニ於
キマシテ、モウ既ニ何年トナク此字ヲ使ッ
テ居リマス、大體此意義ハ吾々ノ力デ解釋
シテ居リマスノハ、繰棒ノ回轉デアリマス
トカ、繰絲場ノ冷熱デアルトカ、用水ノ供
給デアルトカ、サウ云フ風ナモノヲ器械的
ノ作用ヲ以テ運轉スルモノ、主トシテ單繭、
即チ同功繭デナイモノカラシテ繰絲ヲスル
モノヲ、器械生絲ト云フ慣例ニナッテ居リ
マス、大體是ガ製絲業ノ方ノ通稱ノ用語ニッ
ナテ居ルノデアリマス、隨テ今御話ノヤウ
ニ、大體輸出致シマス生絲ニ主ニ用イテ居
リマス、中ニハ勿論國用向ニ使ヒマスモノ
モ出來ルノデアリマスガ、主トシテ坐繰絲、
玉絲、野蠶ト云フモノニ對シマシテ、之ヲ

斯ウ云フ風ナモノヲ除外スルト云フ考デ、
主トシテ器械生絲ト致シマシテ外國ニ出ス
モノ、斯ウ云フ風ナモノハ全部此適用ヲ受
ケシムル、斯ウ云フ考デアリマス

○青木委員 其點ハ一應諒承致シマシタ、

サウスルト、私モマダ調ベテ居ナイデ甚ダ
失禮デスガ、此法律ノ器械生絲ト云フヤウ
ナ意味ハ、主トシテ輸出生絲ト云フコトニ
諒解シテ宜シイノデスカ

○入江政府委員 此器械生絲ト云フ文字其

モノデゴザイマスガ、大體農林省統計ニ於
キマシテ、モウ既ニ何年トナク此字ヲ使ッ
テ居リマス、大體此意義ハ吾々ノ力デ解釋
シテ居リマスノハ、繰棒ノ回轉デアリマス
トカ、繰絲場ノ冷熱デアルトカ、用水ノ供
給デアルトカ、サウ云フ風ナモノヲ器械的
ノ作用ヲ以テ運轉スルモノ、主トシテ單繭、
即チ同功繭デナイモノカラシテ繰絲ヲスル
モノヲ、器械生絲ト云フ慣例ニナッテ居リ
マス、大體是ガ製絲業ノ方ノ通稱ノ用語ニッ
ナテ居ルノデアリマス、隨テ今御話ノヤウ
ニ、大體輸出致シマス生絲ニ主ニ用イテ居
リマス、中ニハ勿論國用向ニ使ヒマスモノ
モ出來ルノデアリマスガ、主トシテ坐繰絲、
玉絲、野蠶ト云フモノニ對シマシテ、之ヲ

器械生絲ト云テ居ルノデアリマス

○青木委員 私ノ質問ノ仕方ガ難駁デアッタノデ、餘計ノ御説明ヲ願ッタノデアリマスガ、此製絲業法ノ取締ル工場ハ、輸出生絲製造ト云フ點ニノミ限ルト云フ譯ヂヤナイノデスナ

○入江政府委員 サウヂヤナイノデアリマス、此免許制度ノ原則ト致シマシテハ、荷モ器械生絲デゴザイマスレバ、輸出、國用ヲ問ヒマセズ、全部適用スルト云フコトヲ原則トシテ居リマス

○青木委員 ソコデ大臣モ御忙シイヤウデスカラ、成ベク私ハ質問ノ要點ダケヲ申上ゲテ終リタイト思ヒマスガ、參考資料ニ依リマス、製絲工場ノ免許標準ヲ、一工場百五十釜以上ト云フ風ニ了解サレヤウニ思ヒマスガ、ソレデ宜シイノデスカ、百五十釜以上ト云フ標準ヲ置カレルニ付テハ、ソレニ付テ如何ナルコトニ準據シテ、百五十釜ヲ以テ免許標準トスルト云フコトニ御定メニナッタノデアリマスガ、是ハ大切ナコトデスカラ、大臣カラ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

○後藤國務大臣 大體命令デ百五十釜ヲ基準ニ致ス積リデ居リマス、百五十釜ト致シマスコトガ、恰度資力ノ關係カラ行キマシ

テモ、合理的ニ經營ヲシ、製作品ノ回轉モ相當ニアリマスと云フヤウナ點カラ、適當デアルト認メタノデアリマス、唯、現在アリマスモノニ付テハ、必ズシモソレヲ強要スル譯ニモ參リマセヌ、共同ノ施設其他ニ依ッテ、一ツノ合理的ノ統一セル製造ノ塊リデアアル、製造セル一ツノ組織デアルト認メラレル場合ニ於テハ、十年間ノ期間ノ餘裕ヲ認メヨウトシテ居ルノデアリマス、組合製絲ニ付テハ大體百釜ト云フ位ヲ基準ニ致スコトガ、相當デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス

○青木委員 私ノ問ハントスル所ハ、今日段々製絲技術ガ進歩シ、機械ノ進歩ニ伴ッテ製絲ノ能率ト云フモノガ、日ニ月ニ進歩ヲ呈シテ居ルノデス、ソコデ本法ノ規定ニ依リマスルト云フト、十年後ニ至ッテ初メテ此法律ガ目的ヲ達スルト云フ仕組ニナッテ居リマスルガ、十年後迄ノコトハ、固ヨリ想像モ出來ナイ位、工場ノ設備、機械ノ進歩等ヲ、吾々ハ豫想シナケレバナラスト思フ、今日本平均百五十釜位ノ一日ノ能率ガアルト致シマシテモ、今後此製絲機械ノ進歩發達ニ伴ッテ、ズツト生産能率ト云フモノガ、一釜ニ付テ増加スルモノト思ハナケレバナラストデアアル、普通五梓或ハ五口取ト云フヤウ

ナ工場設備ニナッテ居リマスガ、今日研究時代トハ言ヒナガラ、二十口取ノ釜數ガ實用ニ供セラレツ、アルヤウナ狀況デアリマス、唯釜數ニ依ッテ、百五十釜ト云フヤウナコトニ依ッテ今後十年後ノ製絲界ヲ是デ抑ヘヨウトスルノハ、少シク見當ガ違イハセヌカト云フコトヲ私ハ思フノデスカ、此點ニ付テ、尙ホ詳シクドナタカラデモ宜シウゴザイマスガ、御見込及ビ其釜數ノ百五十釜ト云フコトヲ定メタ技術上ノ基準ヲ、御説明願ヒタイト思フ——大臣ガ御歸リノヤウデスカ、若シ議事ノ進行上大臣ニ直接御伺テスル御方ガアレバ、私ハ質問ヲ保留シテモ宜シウゴザイマス、又他ノ場合ニ大臣ノ御出席ヲ求メルコトノアルノハ固ヨリデアリマスガ、其點ハ委員長ニ宜シク御願致シマス

○入江政府委員 デハ私カラ御答致シマス、今青木サンノ御尋ノ如ク、一釜ノ生産能力ト云フヤウナモノガ、段々進ンデ參リマスルコトハ、私共モ認メテ居ルノデアリマス、唯今迄ノ經驗カラ致シマシテ、大體カラ申シマス、平均一釜ノ能力ト云フモノガ、全國平均致シマス、一日ニ百三十五釜位ニナッテ居リマス、釜數ニ何カ制限ヲ設ケルト云フコトニナリマスレバ、ヤハリ

一定ノ標準ヲ求メナケレバナラスト云フ考カラ致シマシテ、生産能力ト云フコトヲ第一ニ考ヘタノデアリマス、ソコデ一釜ノ生産能力ヲ百三十五釜ト見マシテ、一工場ト致シマシテ、平均賣ヲシテ行クヤウニサセルニハ、ドノ位ノ程度ノ工場ガ適當デアラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘマスルト、大體百五十釜位ガ平均賣ヲ致シマスル上ニ於キマシテ、適當ヂヤナカラウカ、例ヲ申上ゲマスルナラバ、大體輸出致シマスル上ニ於キマシテハ、一荷口千斤トナッテ居リマスノデ、之ヲ荷口ガ揃ハザルモノヲ、神戸、横濱等ノ検査所ニ持ッテ參リマスと云フト、其爲ニ検査カラ除外サレル、斯ウ云フ事ガ主トシテ値段ヲ崩スト云フコトガ明瞭デアリマスルノデ、大體月ニ三回位ノ平均賣ヲサシテ行カウ、サウシマスと千斤宛ツ月三回、年ニ三十六回、斯ウ云フ風ニ致シマスルト、大體百五十釜位ノ設備ヲ必要トスル、今申シタヤウニ全國平均ノ數デアリマスカラ、中ニハ青木サンノ御述ベニナリマシタヤウニ、相當ノ生産能力ヲ擧ゲテ居ル釜モ澤山アラウト存ジテ居リマス、然ルニ今御話ガアリマシタガ、ソレハ今日ノ技術上ノ點デアリマスカラ、若シ詳細ノ點ニ付テ御必要ナラバ、茲ニ主任ノ技師ガ來テ居リマスカ

ラ、技師ノ方カラ申上ゲル方ガ宜イト思ヒ
マスガ、大體操粹ノ廻轉ト云フモノガ、平
均賣ノ方ハドチラカト云フト、薄イト云フ
ヤウナコトデ何ト申シマスカ、能力ト云フ
點カラ行キマス、餘リサウ變リハナイデ
ナカラウカ、唯物ノ品質ガ非常ニ良クナル、
斯ウ云フヤウニ技術上カラ見テ居リマスノ
デ、勿論今ノ一釜ノ生産能力ヨリモ多少良
イコトハ認メテ居リマス、ソレヨリモ品質
ノ上ニ於キマシテ、最モ良クナル、斯ウ云
フヤウニ技術上ノ點カラ考ヘテ居リマスノ
デ、餘リ大差ハナイデハナカラウカ、大體
今申シタヤウニ、之ヲ能力ノ上カラ押ヘ
テ行ケバ、百五十釜位ガ適當デハナカラウ
カ、今日デハ斯ウ考ヘテ居リマス、ソレカ
ラ尙第二ノ百五十ヲ適當ト致シマスルコト
ニ付テ申上ゲマシタコトハ、百五十以下ノ
工場ト云フモノハ、非常ニ休廢ガ多イ、休
ンダリ廢メタリ、興キタリスルヤウナコト
ガ、統計ノ上カラ見マス、著シク多イノ
デゴザイマシテ、ソレモ大體或一定ノ設備
ヲ有シ、一定ノ資本ヲ有スト云フコトニナ
リマスレバ、サウ云フ興廢ト云フコトハ
出來ナイ、今申上ゲマシタヤウニ、十釜ト
出來ルト云フコトニナリマス、簡單ニ
出來ルト云フ關係カラ、景氣ガ好クナレバ

興キテ來ル、惡クレバ廢メ、從ッテ養蠶家
ニモ多大ニ迷惑ヲ掛ケルト云フ實例ガ、頗
頻トシテアリマス、之ヲ統計上カラ申シマ
スト、百五十以下ノモノ、休業、罷業ノ統計
數字ガ、非常ニ澤山ニ上リマス、サウ云フ點
カラ考ヘテ見マシテモ、基礎ガ確實ニナリ
マシテ、經營ヲ合理化スルニハ、百五十位
ガ適當デハナカラウカ、第三ニ考ヘテ居ル
コトハ輸出検査ノ時ニ於テ百五十以下ノ工
場ノ製品ト云フモノハ全體デハアリマセヌ
ガ、概シテ不合格品ガ多イ、是モ統計ノ上
ニ現ハレテ居リマスガ、サウ云フヤウナ點
カラ考ヘテ見マシテ、現在ノ製絲業ノ組織
ヲ合理化シテ行クニ於テハ、大體ニ於テ百
五十位ガ適當デナカラウカト、斯ウ考ヘタ
次第デアリマス、組合製絲ヲ私共ノ方デ百
位釜ト致シテ居リマスルガ、是ハ組合製絲
ハ色々事情ガ違ッテ居リマス、繭ヲ供給スル
ト云フ風ナコトニ付キマシテ組合ノ繭ヲ使
ハナケレバナラヌト云フコトガ原則デアリ
マスノデ、サウ云フ點カラ行キマス、原料
供給關係カラ行キマシテ、大體百釜位ガ適
當デナカラウカト、斯ウ考ヘテ居ル次第デ
アリマス

○青木委員 大體百五十釜ハ生産能率ニ準
據シテ、一月ノ出荷三回ト云フヤウナモノ
ニ眼ヲ著ケテオヤリニナッタト云フコトハ、
私モ左様ニ御答辯ヲ期待ハ致シテ居ルノデ
アリマス、所ガ釜ノ能率ニ付テハ、機械バカ
リデナク、原料ノ質ノ良否ニ依ッテ非常ニ違
フノデアリマス、優良ナル原料ニ依ッテ、優
良ナル機械ニ依ッテ、生産致シマスレバ、四
釜位ノ能率ヲ擧ゲ得ル工場ノ設備ガ得ラレ
ルノデアリマスカラ、唯釜數ダケ抑ヘル
ト云フコトハ、却テ本法ノ統制ノ目的ニ外
レテ、増産ノ傾向ヲ將來十年後ニ於テ、助長
スルヤウナ結果ヲ見ヤシナイカト云フコト
ヲ私ハ懸念致シテ居ル、ソレデ質問致シテ
居ルヤウナ次第デアリマス、此點ハ同僚諸
君カラモ質問ガアラウト思ヒマスカラ、何
レ議事ノ經過ヲ見タ上デ、復々申上ゲタイ
ト思フ點モアルノデスガ、釜數バカリニ依
ラナイデ、但書ニデモ何デモ宜イガ、百五
十釜以上ニ生産ヲ爲シ得ルヤウニ、釜數ダ
ケデナク設備ニ對シテ何か條文ヲ添ヘテ置
ク必要ハナイカ、斯ウ云フコトヲ私ハ心竊
カニ考ヘテ居リマス、ソレカラ十年ノ後ニ、
小サイ工場ハ合同ヲ致シテ、サウシテ本法
ノ規定ニ副フヤウニ致サウト云フ御計畫デ
セウガ、今後經濟界ガ好轉ヲ致スヤウナ豫
想ノ下ニ考ヘマスルト、各自合同ヲシナイ
デ工場ヲ擴張シテ、サウシテ此資格工場タ

ルコトニ進展シテ行クト云フヤウナコトニ
相成リマス、工場數ト云フモノハ豫想セ
ラレタヨリモ、殖エテ行ク結果ト相成リマ
スガ、ソレ等ノ點ニ付テハ如何ナル御信念
ノ下ニ、本法ヲ御提出ニナッタノデアリマス
カ
○入江政府委員 御尤モナ御尋ト考ヘテ居
リマスガ、此點ニ付キマシテハ、釜數ノ問
題バカリデナク、私ノ方デハ今ノ青木サ
ンノ御心配ノ點ヲ能ク考ヘマシテ、此百五十
ノ設備ニ相當致シマスル資本ト云フ風ナコ
トニ付キマシテモ、施行細則ニ規定ヲ致ス
考デアリマス、サウ云フ風ニ致シマシテ、
將來少クとも出來ント欲スルモノニ付キマ
シテハ、其モノガ出來マシテモ、直グ倒レ
テシマウト云フ風デナク、頗ル健實ナモノ
ニ致シテ行キタイト云フ考カラシテ、此資
本ノ如キモノニ於キマシテハ、然ラバドノ
位掛カルカト云フト、現在ノ所大體ノ目安
デアリマスガ、二、三十萬ノ資本ヲ——百
五十釜ヲ要スルノデアリマス、然ラバ施行
細則ニ何十萬圓ト云フ其額ヲ書クカト云フ
御尋ガ出ルカモ知レマセヌガ、サウスルト
此點ハ私ノ方デ何十萬ト書クコトハ困難ナ
ノデ、百五十釜ニ相當スル設備ノ資本、而
モ資本ハ出來ルナラバ、或ハ借入レテヤル

トカ、高い高利ノ金ヲ使フトカ云フヤウナ
 コトヲサセナイヤウニ、成べく自己ノ資金
 デヤツテ行ク、サウシテ出来タモノガ流動資
 本ヲ要スルノデアリマスガ、其流動資本ニ
 於キマシテモ、相當半額位ノモノハ自分ノ資
 本デヤツテ行ケルト云フヤウナ色々方面
 カラ考ヘマシテ、將來起ルモノニ於テハ、
 十分サウ云フ點ヲ見テ行キタイ、元々免許
 制度ノ精神ト致シマシテ私共考ヘテ居リマ
 スノハ、生産ヲ制限スルト云フヤウナコト
 ナ主トシテ考ヘテ居ラヌノデアリマス、副
 作用ト致シマシテ、或ハサウ云フ結果ニナ
 ルト私共考ヘテ居ルノデアリマスガ、私共
 考ヘテ居リマスノハ、此現在ノ工場ト云フ
 モノガ非常ニ濫設サレテ、而モ資本ノ確實
 デナイモノガアルト云フ風ナ點カラ考ヘマ
 シテ、現在ノ工場モ出来ルダケ一ツ宜イモ
 ノニシタイ、確實ナモノニシタイト云フ趣
 旨カラ出發致シテ居リマスノデ、其作用ト致
 シマシテ、或ハ將來ノモノニ對シマシテハ
 相當制限ヲサレル、斯ウ云フコトニナリハ
 シナイカ、隨テ今ノ青木サンノ御尋ノ如ク、
 現在ノ工場ノモノガ然ラバ釜ヲ増ス、或ハ
 隨テ生産ガ殖エヤシナイカト云フ御心配ダ
 ト思ヒマスガ、斯ウ云フ點ニ付キマシテモ、
 今マデノ經過カラ考ヘテ、今マデノ發達ノ

歴史カラ考ヘテ見マシテモ、濫ニソレガ選
 リ變ツテ行クモノデモナカラウ、寧ロ健實ナ
 モノニナツテ行キマスナラバ、歡迎スベキモ
 ノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘテ居リマ
 ス、殊ニ又今モ御話ガアリマシタガ、優良
 ナ機械ヲ使ヘバ相當絲モ増加スルデアラ
 ウ、是モサウデアルト思ヒマス、今ノ現在
 ノ目安ヲドウ云フ所ニ置カト云フト、一
 釜ノ平均能力ヲ推シテ計算シテ行ク、斯ウ
 云フ趣旨ニ他ナラナイノデアリマス
 ○青木委員 御答辯ガ資本關係ニ及ブコト
 デアリマシテ、此點ニ付テモ言及致シタイ
 ト思ヒマスガ、只今蠶絲局長ガ大體三十萬
 圓位ノ資本設備ヲ要スルト云フヤウナ、御
 見込ヲ御漏シニナツタノデアリマスガ、成程
 既設工場ニ於テ物價ノ高イ時、工場設備ヲ
 致シタ處ニ於テハ、三十萬圓位ノ資本ニ依
 テヤラナケレバナラナイヤウナモノモアッ
 タデゴザイマセウガ、今日ノ現狀カラ見マ
 スルト云フト、百五十釜ノ設備ヲ致スノニ
 五十萬圓ノ資本ヲ擁シナケレバナラヌト云
 フヤウナノハ、少シク無理ヲ強ユルモノデ
 ハナイカト思フ、實際上ノ立場カラ考察シ
 マスレバ、今日ハ一釜五百圓平均デ、設備
 ガ出来ヤウト思フ、サウシマスレバ百五十
 釜トシマシテモ四萬五千圓、ソレニ運轉資

金其他ノ必要ナル事項ヲ考慮致シマシテ
 モ、三十萬圓トカ四十萬圓トカ、大キナ資
 本ヲ以テ當局ガ當業者ヲ拘束シヨウト云フ
 ヤウナコトハ、當業者ニ取ツテハ頗ル迷惑デ
 ハナイカト思ハレルノデアリマス、デ三十
 萬圓ト云フ御推定ノ御基礎ハ何處ニ置カレ
 テ、サウ云フヤウナコトヲ仰セニナルノカ
 ソレヲ御説明願ヒタイ
 ○八江政府委員 私ノ申上ゲタ點ガ多少不
 備デアリマシタノデ、重ねテ申上ゲマスガ
 大體ニ於キマシテ製絲業ヲ經營スルニ當リ
 マシテハ、矢張り相當ノ資本ヲ有シナケレ
 バナラナイ、今迄私共ガ製絲業ノ狀態ヲ見
 テ居リマスルト云フト、資本關係其他ニ於
 キマシテ、基礎ガ薄弱デアアル、斯ウ云フ關
 係カラ致シマシテ、其爲ニ興廢常ナラナイ
 ノヂヤナカラウカ、斯ウ云フコトカラ堅實
 ナ經營ガ出来ナイ、斯ウ云フコトカラ出發
 致シマシテ、出来ルナラバ相當ノ資本ヲ有
 スルト云フトガ必要デアアル、斯様ニ考ヘ
 マシタノデ、只今御述ニナリマシタヤウニ、
 最近ニ於キマシテ物價モ安クナツテ參リマ
 スシ、固定設備ト云フヤウナモノニ於キマ
 シテハ、是ハ私共ノ方デ多少高く見積、テ
 居ルカ知レマセヌガ、大體調ベタ所ニ依ル
 ト敷地ノ購入費、ソレカラ製絲工場竝ニ附

屬設備費デアリマスガ、倉庫トカ工女ノ寄
 宿舍、或ハ色々ナ建築物、機械器具ト云フ
 ヤウナ斯ウ云フヤウナモノヲ先ヅ完全ナモ
 ノニ致シマス、大體其固定設備費ト致シ
 マシテ、十二萬圓バカリノモノガカ、リマ
 ス、ソレカラ次ニ流動資本ト致シマシテ、
 ソレハ春ト秋ノ二回ニ購入スル流動資本ト
 云フモノヲ有ツテ居レバ、一番宜イノデア
 リマスガ、大體一回春ノ方ニ備ヘルダケノ
 モノガアレバ、再ビ秋ノ方ハ回收シタモノ
 カラ備ヘルト云フ譯デ、其資本ガ矢張り十
 四五萬圓ハカ、ルト見テ、二十五六萬圓カ
 ラ三十萬圓ノ金ヲ必要トスル、斯ウ云フ風
 ニ見テ居ルノデアリマス、隨テ今御話ノヤ
 ウニ物價ノ高低ガ時々アリマスルノデ、之
 ナ施行細則ニ書入レルト云フトハ、到底
 不可能デアルト考ヘマシテ、施行細則ノ方
 面ニ於キマシテハ、大體ニ於テ百五十釜ニ
 相當スル資本ト云フヤウナコトデ、十分其
 點ニ付テハ時ニ依リ、又ハ場所ニ依リ、色
 色ナ點ニ付テ考慮致シマシテ、認可ニ當リ
 マシテハ適當ニ此點ヲ考ヘタイト、斯ウ云
 フヤウニ思ツテ居リマス
 ○青木委員 其施行細則ノ要項ヲ御示シ下
 サラスト云フト、此法律ノ條文ダケデハ、
 漠トシテ居ルノデアリマス、要領ヲ得ヌ、

吾々ノ審議致シタイト思フ所ノ主ナル事項ハ、皆命令ニ讓ッテ居ラレマスカラシテ、至急施行細則ノ要項ヲ御示ヲ願ヒタイト思フ、之ヲ要求致シテ置キマス、ソレカラ工場ノ制限ヲ致スト云フコトニ付キマシテハ、之ヲ釜數ノ上カラバカリ檢討スル譯ニハイカヌ、地方ノ府縣ノ產繭ノ實狀ニ應ジテ、大體私ノ考デハ今後其地方、即チ其府縣ニ於テ產繭セラレル所ノ生産量ハ、其府縣ニ所在ノ工場ニ於テ之ヲ生産消化セシムルト云フ標準ノ下ニ、工場ノ認許ヲ行ッテヤラナケレバナラナイト思フ、今日ノ如ク大資本ヲ擁スル工場ハ、全國到ル處ニ出沒ヲ致シテ、サウシテ繭ノ購入ヲ競ッテ居ル、ソレガ爲ニ地元ノ製絲業者ハ、指ヲ仰ヘテ大資本製絲家ニ、蹂躪サレルガ儘ニシテ居ナケレバナラヌト云フヤウナ、亂調子ニナッテ居ルコトヲ、少クトモ只今大臣ノ答辯セラレル如キ統制主義デ進ミタイト云フ此觀點カラ致シマスルト云フト、其地方ノ生産繭ハ其地方ノ工場ヲ以テ消化セシムルト云フ、其實態ニ應ジタル所ノ認許方法ヲ御探リニナルコトガ適當デアラウト思フ、又製絲家ヲシテ安ンジテ其業ニ就カシムル所以デアラウト思フノデスガ、サウ云フ地方的ノ製絲工場ノ分布ト、產繭ノ狀況ニ對應ス

ルト云フヤウナコトニ付テ、如何ナル御方針ヲ御探ニナッテ居ラレマセウカ

○入江政府委員 御尋ノ點ハ困難ダトハ思ヒマス、併シ是ハ今御話ノヤウニ地方ノ實狀ニ即シマシテ、第一ニ地方長官ノ手ニ於キマシテ總テノ狀況ヲ取調べ、サウシテ之ヲ農林大臣ニ具申スルコトニナッテ居リマスノデ、矢張り地方々々各々見ル所ニ依ッテ異ナル所ガアラウト存ジマス、隨テ其點ハ矢張り其場所、其時ニ依リマシテ、今ノヤウナ點ニ付キマシテハ、十分考慮シテ参リタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、只今ノ所デハ御尋ノ如ク、工場ニ付テ何處ノ繭ヲドウスルト云フヤウナコトハ、困難ナノデハアルマイカ、例ヘバ朝鮮ノ如キハ仰セノヤウナコトヲヤッテ居ルガ、寧ろ弊害ガアルト云フコトモ聞イテ居ル、一方ニ利ガアレバ一方ニ害ガアルト云フコトモ聞イテ居リマスノデ、併シ是ハ地方ノ實狀ニ即シタヤウニ、地方長官ノ手デ詳細ニ取調べテ、サウシテ之ヲ農林大臣ニ具申スル、斯ウ云フヤウニシテ行キマシタナラバ、幾分御心配ノヤウナ點ガ免カレハシナイカト考ヘテ居リマス

○青木委員 十年後ニ此認許主義ヲ確立スルト云フ本法ノ規定デスガ、十年ト言ヘバ

一昔ト言ハレル位ニ、隨分長イ先ノコトデアッテ、而モ其十年ノ間ニ於ケル所ノ經濟界ノ變遷、知識ノ進歩、機械ノ進歩、技術ノ進歩ト云フヤウナコトハ、當局ト雖モ豫想シ難イ位ニ遠イ先ノ十年、固ヨリ此案ハ應急對策トシテ私共考ヘテハ居リマセヌ、又現内閣獨特ノ政策トモ考ヘテ居リマセヌ、前内閣ニ於テモ此案ヲ實行シタイト云フヤウナ希望ノ下ニ、相當ニ具體化シタル調査ヲシテ居ッタト云フコトモ、聞イテ居リマスカラシテ、應急對策トシテ此案ヲ私共ハ取扱フノデハゴザイマセヌ、根本對策ノ一事項トシテ取扱フノデゴザイマスルガ、十年先ト云フコトヲ目途トシテ、本法ヲ施行致シテ行クト云フコトデハ、實際其效果ヲ學ゲル上ニ於テ、洵二十年ノ先ニナレバ、本法ノ規定ヲ更ニ改善シテ掛ラナケレバナラナイヤウナ狀況ニ、立到リハセヌカト云フコトモ考ヘラレルノデアリマス、固ヨリ群小工場ノ立場ニ考慮セラレテ、サウシテ斯ウ云フ十年ト云フヤウナ、長イ先ノコトニ致サレタコト、ハ、十分想像シテ、又ソコニ相當ニ私モ理解ヲ有シナイ者デハゴザイマセヌガ、ドウモ此調子デ、各種蠶絲業統制案ガ、十年先ト云フヤウナ基準デ進んで行ッタノデハ、如何ニシテモ今日ノ動搖常ナキ蠶

絲業ノ基礎ヲ、確立スルコトガ出來ナイト思ヒマスルガ、當局ハ此十年迄ノ繋ギニ、何カ毎日變動シツ、アル所ノ現在ノ蠶絲業ノ狀態ニ對シテ、適當ナ經過的ノ御施設ヲ持ッテ居ッテ、サウシテ此法律ヲ御施行ニナラウトスルノデアラウカドウカ、其間ノ御考ヲ承ラヌト云フト、私ハ蠶絲業ノ現狀ニ安心スルコトガ出來ナイノデ、聊カ杞憂ヲ懷クモノデゴザイマスガ、十年ト定メタ所ノ御考ノ基礎ヲ、御伺ヒテ致スト同時ニ、ソレニ到達スル迄ノ何カ適切有效ナル所ノ、中間的、經過的ノ御施設ヲ御考ニナッテ居ルカドウカ、御何致シタイト

○入江政府委員 御尤モナ御尋デゴザイマシテ、此免許制度ノ確立致シマスノガ十年先デアルト云フコトハ、御述ニナリマシタ通りデゴザイマス、併ナガラ青木サンノ御話ノ如ク、現在營業ヲヤッテ居リマス者ヲ、直チニ茲ニ剝奪スルト云フコトモ出來マセヌノデ、或ハ其場合ニ於キマシテハ賠償ヲスルトカ、何トカト云フヤウナ問題モ發生シテ參ルト思ヒマス、ト云フ風ナ色々ナ困難ナ事情ヲ伴ヒマスノデ、大體十年ト云フ期間ヲ、サウ云フ趣旨カラ定メタ次第デアリマシテ、尙ホ然ラバ十年ノ間ニ何モ出來ナイノデヤナイカト云フ風ナ、或ハ御心配

ガアルカトモ存ジマスガ、少クトモ十年間ニ於キマシテ、現在ノ工場ノ設備經營、總テノ點ニ付キマシテ政府ト致シマシテハ獎勵施設ヲヤツテ行キタイ、殊ニ前臨時議會ニ於キマシテ、共同施設ノ獎勵金ト云フモノヲ、十二三萬圓取ツテ居リマス、協賛ヲ戴イタノデアリマスガ、斯ウ云フ風ナ施設ニ依リマシテ、現在ノ工場ニ對シテ共同施設ヲ獎勵スル、而シテ製品ガ個々ニナツテ居リマスヤウナモノヲ纏メテ販賣スル、或ハ荷造トカ、或ハ共同檢定ヲサセルトカ云フ風ナ、共同施設ノ助長方面カラ進メテ行キマシテ、出來マスダケ現在ノモノヲ十分ナ立派ナモノニシテ行キタイ、ソレニハヤハリ一時ニ之ヲヤリマスコトハ、相當財政上ノ關係カラモ金ヲ要シマスノデ、大體十年位ノ間ニソレヲヤツテ行キタイ、丁度只今器械製絲ト唱ヘラレテ居リマスモノガ、三千六百バカリゴザイマスガ、其中デ百五十以上ニナリマス、五百七、八十ト云フヤウナ、少イ數ニナツテ居リマス、後ノ二千五六百、三千ニ近イモノハ、殆ンド百五十以下ノモノデア、斯ウ云フ風ニナツテ居リマスノデ、之ニ對シマシテ十年ノ間ニ、一方ニ於キマシテ助長行政ヲ以テマシテ、相當ノ獎勵金ヲ與ヘ、サウシテ之ヲ改善シテ行キタ

イ、斯ウ云フ考ト、モウ一ツハ此法律ノ精神ト致シマシテ、色々ノ取締ノ規定ヲ設ケテアリマス、現在ノ工場ノ色々ナ不備ナ點ニ付キマシテモ、政府ガ之ヲ相當ニ監督シタイト云フ風ニ、成ベク現状ヲ此間ニ出來ルダケ改善ヲシテ行キタイト云フ風ナ意味ニ於キマシテ、其意味カラ行キマシテモ、今ノ亂雜ニ流レテ居リマスヨリモ、相當效果ヲ齎スノデナカラウカ、勿論私ハサウ云フ效果アリト信ジテ居ルノデアリマス

○青木委員 今一、二御質問ヲ申上ダテ置キタイト思ヒマスガ、何トシテモ養蠶家ト製絲家ノ相互ノ利益ヲ、確實ニスルト云フ所ノ施設ガ行ハレテ行カナケレバ、此日本ノ蠶絲業ハ救ハレテ行カナイノデアリマス、此本法ニ對シテスラ、是ハ製絲家ノ保護デアツテ、養蠶家ノ保護ニハナラヌト云フ非難スラアル位デアリマシテ、養蠶、製絲兩當業ノ共同ノ利益ヲ確實ニスル爲ノ施設ト云フモノヲ、今少シ政府ガ實行ヲ致サナケレバ、到底此蠶絲業ノ圓滿ナル發達ヲ期スルコトハ出來ナイ、如何ニ工場ノ設備ヲ改善シ、免許制度ヲ實施致シテ見マシテモ、養蠶家ガソレニ依ツテ直接救ハレヤウト云フコトハ思ヘナイノデアリマス、爾ノ檢定制度等ノ實施等モ行ツテ、サウシテ爾ニ對ス

ル所ノ信用ト云フモノヲ確實ニ致シテ、サウシテ相互ノ利益ヲ圖ツテ行クト云フコトハ、洵ニ必要デアルト思フノデスガ、ソレ等ニ對シテ如何ナル御方針ヲ御採リニナリマスカ

○入江政府委員 洵ニ御尤ナ御意見デアリマシテ、私共モヤハリ其點ニ付キマシテハ、深ク考ヘテ居リマス、先程大臣カラモ御答ノアリマシタヤウニ、此制度ノミヲ以テマシテ、我が製絲業ノ狀態ヲ改善ヲスルト云フコトハ、是ハ私共出來ナイト存ジマス、ヤハリ色々ナ制度ガ横ニナリ、縦ニナリマシテ、總テガ完全ニナラナケレバ、總テノ完全ナル働キヲ爲シ得ナイモノ、斯ウ私共存ジテ居リマシテ、折角色々ノ點ニ付テ攻究致シテ居リマス、今御尋ノ養蠶ノ方面ニ於キマシテハ、殊ニ乾繭取引、繭ノ檢定、斯ウ云フヤウナコトガ極メテ不完全ナ狀態ニアル只今デゴザイマシテ、言ヒ換ヘマスナラバ、繭ノ價格ト云フモノハ、各地ニ依テ全部異ツテ、市場價格ト云フモノガ色々ナ點ニ於テ相違ヲ來タシテ居リマスガ、同じ品質ノ繭デアリマシテモ、東京ト長野ト違ヒ、或ハ愛媛トモ違フト、斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、土地ノ便不便ト云フ色々ナ點カラ、差異ヲ來タシテ居ルト

云フコトハ、私共ノ聞ク所デアリマスガ、矢張是ハ生繭ヲ捌クト云フ點ニ付テ、サウ云フ風ナ結果ヲ來タスノデハナカラウカ、出來ルナラバ乾繭取引ト云フコトヲ獎勵シテ戴キタイ、乾繭裝置トカ乾繭倉庫ト云フ點ニ付キマシテハ、政府ニ於ケル豫算上ニ於キマシテモ、只今多少ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、非常ニ不十分デアアルノデアリマシテ、是ハ出來マスルナラバ、モウ少シ豫算ヲ増額致シマシテ、乾繭倉庫、或ハ乾繭取引ノ設置ト云フ風ナ點ニ付キマシテ、私共ト致シマシテハ出來ル丈ケ要求ヲシタイト云フ考ヲ以テ、其他種々ナル施設ニ向ヒマシテ、出來得マスル丈ケ養蠶家ノ利益ニナルヤウニ、支持シテ行キタイト云フ考ヲ持ツテ居リマス、是ハ今御話ガアリマシタガ、製絲家ノ利益デハナイカト云フヤウナコトガ、往々ニシテ養蠶家ノ中ニ、サウ云フ誤解ヲ懷カレル方ガアリマスガ、實ハ私共ハドツチカト申シマスルト、民間ノ要望ハ致シマシテ各方面ニ製絲業ノ免許ト云フコトニ付テ、御要望ニナツテ居ルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、私共ト致シマシテハ、寧ろ養蠶家ノ利益ト云フ風ナ方面カラ出發致シマシテ、此案ヲ立テタト云フヤウナ次第デゴザイマシテ、寧ろ今マデハ工場ガ濫立

シテ、生絲ノ薄弱ナモノガ勿論利益ノアル場合モアルノデアリマスガ、其爲ニ養蠶家ガ不利益ヲ被ッテ居ルト云フコトヲ私共聞キマスルノデ、寧ロスウ云フ風ナ規定ヲ置キマシテ、各種ノ方面カラ取締ヲ爲シ、色色ナ點カラ考ヘテ行クナラバ、養蠶家ニ利益ガアルノデアリマス、尙ホ今御話ノヤウニ其他ノ設備ニ於キマシテ、蠶絲當局ト致シマシテハ、要スルニ此點ニ付テ要求ヲシタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○青木委員 ドウカ其乾繭取引、繭ノ檢定等ニ付テハ、成ルベク早ク御成案ヲ得テ、實行セラレルヤウニ希望致シテ置キマス、ソレカラ此組合製絲ノ工場ノ釜數ヲ百釜トシテ、營業製絲ト其間ニ五十釜ノ差ヲ付ケタト云フコトニ付テ、一應御説明ガアッタヤウデアリマスガ、マダ能ク諒解ガ出來マセヌカラ此點ヲ更ニ分り易ク御説明ヲ願ヒタイ、ソレカラ組合製絲ノ普及獎勵ト云フヤウナコトニ付テハ現在如何ナル御方針ヲ持ッテ臨マレテ居ッテ、將來本法ノ施行ニ伴ッテ、ドウ云フ考ヲ持ッテ居ラレルカ、其點ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○入江政府委員 此組合製絲ト營業製絲ニ付キマシテ、標準ヲ異ニ致シマシタノハ、先程私簡單ニ申上ゲタノデアリマスガ、少

シ事情ガ違ッテ居リハセヌカト思ヒマスル主ナル點ハ、蠶業組合ノ性質上カラ致シマシテ、其原料繭ノ獲得ニ付キマシテ、製絲場カラ特別ニ制限ガアリマスルノデ、地域的ニ特別ノ事情ガ又一ツアルト云フ關係カラ、假ニ百五十ト致シマシタナラバ、營業製絲ト同ジヤウニ致シマスルト、其地方地方ニ依リマシテ、原料ヲ得ルコトガ出來ナイト云フ風ナ特殊ノ事情ガアリハシナイカ、殊ニ又一面此農村ノ振興ト云フ點カラ考ヘテ見マシテモ、自分デ造リマス物、自分デ絲ニスルト云フ風ナ、原料ノ購入ト云フ風ナ點カラ行キマスルト、營業製絲ハ非常ニ性質ヲ異ニシテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ事情デアリマシテ、大體百釜以外ニ差別ヲ付ケル方ガ穩當デアラウ、殊ニ又是ハ主トシテ此蠶業組合製絲方面ノ營業者ノ方々ノ御意見モ伺ッタノデアリマスガ、此位ノ差別ヲ付ケテ貰ヒタイト云フヤウナ御主張モアッテ、其點ニ於キマシテモ、五十位ノ差別ヲ付ケルノガ至當ダ、尙ホ又蠶業組合製絲ノ方ニ於キマシテハ、組合ノ聯合ト云フモノガ土地ニ在リマスルノデ、現在ノ場合ニ於キマシテハ五十釜、或ハ三十釜ト云フモノガ集マリマシテ、矢張聯合會ト云フモノデヤリマスルト、現在ノモノガ此免許

制度ニ合フト云フ形ニナリマス、是ハ主トシテ農村ノ特殊事情ト云フコトカラ考ヘマシテ、サウ云フ區別ヲ付ケタノデアリマス、又政府トシテ將來ドウ云フ工合ニ蠶業組合ニ區別ヲ付ケルカト云フ御尋デアリマスガ、少ナクとも將來ニ於キマシテハ蠶業組合ニ對シテ、ドウ云フ風ニ獎勵シテ行クカト云フコトデアリマスガ、少ナクとも將來ニ於テハ蠶業組合ノ製絲ニ向ヒマシテハ、出來ルダケ獎勵シテ行キタイト思ヒマスガ、財政上ノ關係デ、今度ノ豫算ニ計上シ能ハザルニ至ッタノデアリマスガ、蠶業組合ノ製絲方面ニ於テ、乾繭倉庫ヲ造ルトカ、或ハ乾繭裝置ヲスルト云フヤウナ設備ヲ致シマスル場合ニハ、補助獎勵費ト云フヤウナモノヲ出シタイト思ヒマス、實ハ相當ノ豫算ヲ組ンデアッタノデアリマスガ、遺憾ナガラ財政ノ關係カラ、出來ナイコトニナッテ居リマス、蠶業組合ノ製絲ニ付キマシテハ、今一層獎勵ヲシテ行キタイト思ヒマス、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス

○青木委員 一ト先ズ私ノ質問ハ是デ中止致シマス

○加藤委員 大臣ノ御意見ヲ伺ッテ、然ル後ニ御尋シタイト思フノデアリマスガ、只今大臣ハ明日デナケレバナラヌト云フヤウナ

御話デアリマスカラ、政府委員ノ方ニ少シ伺ッテ見マセウ……

○百瀬委員 私ノ當局ニ御質問申上ゲテ見タイト思フ大半ハ、既ニ青木サンヨリ御質問ニ相成ッテ、稍盡キテ居リマス、尙ホ此デアリマスガ、此場合一二ノ御質問ヲ申上ゲマス、認可標準トシテ決定シテ置カナケレバナラナイ釜數ノコトヲ、矢張御尋スルノデアリマスガ、營業製絲ノ方ハ百五十釜デアリマシテ、組合製絲ノ方ハ百釜デアルト云フ其基準ヲ、御定メニナリマシタル所ノ御方針ガ、營業製絲ハ百五十釜、組合製絲ハ百釜デナケレバ、優良ナル品種ノ生絲ヲ產出スルコトガ出來ナイト同時ニ、堅實ナル經營ガ出來ナイ、謂ハバ其釜數ガ最小ノ限度デアルト云フ風ナコトカラ、出發サレテ居ルヤウニ存ズルノデアリマス、所ガ現在ノ全國ノ工場數及釜數カラ申シマスルト、百釜以内ノ工場數ガ一番多イノデアリマス、百釜以上ノ工場ハ甚ダ少イ、ソレハ參考資料トシテ御提示ニナッテ居リマス、ソレニ依リマシテモ明カデアリマスガ、サウ致シマス、現在ノ製絲業ノ状態ハ、此基準トナルベキ最小限度ノ趣旨ニ副ハナイ所ノ工場ガ多イノデアアル、斯ウ云フコトニ結

論サレテアリマス、而シテ今度認可制度ニ致シマシテ、其基準ニ副フヤウニスル爲ニ、十箇年間ノ猶豫期間ヲ置クト云フノデアリマスガ、此百釜以内ノ小規模ノ工場ノ多イト云フ原因ガ、何處ニアルカト云ヘバ、先刻モ御話ノアリマシタ所謂資本勲定ダト思フノデアリマス、寧ろ資本關係ノ中デモ、固定資本ヲ多ク要スルカラデアリ、流動資本ハ是ハ左程問題デナイト私ハ思フノデアリマス、謂ハ、今日小製絲家ガ多イト云フコトハ、ソコニ原因ガアルト見マスレバ、中々之ヲ所謂基準ノ有資格ノ工場ニ望ムコトハ、餘程困難ナ状態ニアリハシナイカ、即チ資本關係カラ何等カノ考慮ヲスルニアラザレバ、現在ノ經濟状態、今後好轉スルカ、更ニ悪化スルカ、ソレハ分リマセヌケレドモ、現在ノ經濟状態カラ推測致シマス、假二十年ノ年所ヲ置イテモ餘程困難ナ状態ニ在リハシナイカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、大資本ノ製絲家ヲ擁護スルコトニナツテ、小資本ノ製絲家ヲ壓迫スルヤウナ結論ニ到達シヤシナイカト云フコトヲ懸念ニ堪ヘナイノデアリマス、更ニ先刻御話ノアリマシタ製絲技術ノ方面カラ考ヘマスト、或ハ現在ノ釜數ヲ、サウ多クセズトモ、小規模ノ工場デモ、或ハ爲シ得ラレハシ

ナイカト云フヤウナ考モアリマスルガ、組合製絲ノ百釜、營業製絲ノ百五十釜ト云フモノハ、當局ハ最小限度ノ技術上及經營上ノ方面カラ見テ、是レ以上ニ斟酌スル餘地ハナイモノト云フ、謂ハ、確定的ノ御方針デアルカ、ドウカト云フコトヲ伺テ置キタイ、ソレカラ立チマシタ序ニ、組合製絲ハ只今ノ青木サンノ御質問ニ對スル御答辯テ諒解致シマシタ、組合製絲ハ要スルニ各町村ノ養蠶家ガ組合員トナツテ、サウシテ養蠶家ノ經濟ヲ基調トシテ、組合製絲ガ行ハレルノデアリマス、サウ云フ特殊性ヲ帶ビタル養蠶組合ノ製絲ニ對シテハ、營業製絲ト無論其基準トナルベキ釜數ガ異ルノハ當然ダト思ヒマス、現在ノ組合ノ製絲ノ釜數ハ、百釜内外ガ一番多イ、五十釜以下ハ少イノデアリマス、當局ニ於テハ組合ヲ只今獎勵サレルト云フノデアルガ、此組合ノ區域ヲ更ニ縮少シテ、一町村毎ニ組合ヲ設ケシメルト云フヤウナ、御意思ガアルカドウカ、サウスルト非常ニ組合經營ノ方法ニ於テハ、釜數ハ少クナリマシテ、組合ノ經營ノ方ハ好都合ニ進展シテ參ルモノデハナカラウカト考ヘル、只今ハ大概一郡、大キナモノハ二郡三郡、少クトモ二箇町村ト云フヤウナ工合ニ、組合製絲ハ出來テ居ル、之

テ一町村毎ニ獎勵スルト云フ御意思ガアルカ、養蠶實行組合、今日ハ各町村ニ殆ド出來上ッテ居リマスガ、更ニ當局トシテハ養蠶實行組合ヲ、徹底的ニ御獎勵ナサル必要ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ感ジカラ言ウテ、町村毎ニ近キ將來ニ於テ、組合製絲ヲ獎勵スルト云フ御意思ガアルカナイカ

○入江政府委員 御答致シマスガ、只今ノ第一點ノ御尋ハ、營業製絲ハ百五十、組合製絲ハ百ト云フ風ナコトガ、モウ確定シタモノデアルカ、斯ウ云フ御尋デアッタト存ジマスガ、今日ノ状態ニ於キマシテ、先程青木代議士ニ申上ゲマシタヤウニ、大體只今ノ現狀ニ於キマシテハ、其程度ノ標準ガ宜イノデハナカラウカト云フコトニ考ヘマシテ、實ハ立法致シマスル時ニ、斯ウ云フ標準ヲ法律事項トスベキカドウカト云フコトヲ、實ハ私共非常ニ考ヘタノデアリマス、併ナガラ之ヲ施行細則ニ讓リマシタ點ガソコニアリマスノデ、御尋ノ如ク十年ノ將來ニ於テハ、色々ナ變化ガ出テ來ラウト云フ風ナコトヲ考ヘマシテ、只今ノ所デハサウ云フ風ニ規定スル考ヲ有ッテ居リマスガ、色々ナ變化ノアリマスル場合ニハ、變化ニ適應スル施設ヲシテ行キタイ、斯ウ云フ趣

旨ヲ有ッテ居リマス、只今確定シタカト仰セニナリマス、現在ハサウ云フヤウニ考ヘテ居ルト申上ゲタイノデアリマス、尙ホ第二ノ組合製絲ト云フヤウナモノハ、一町村毎ニ將來ヤル考ハナイカ、此組合製絲ノ方ニ於キマシテハ、私共先程青木サンニ申上ゲテ置キマシタガ、農村ノ事情々々ニ依リマシテ、色々特殊ナ事情ガアルト考ヘテ居リマス、此點ニ付キマシテハ、ヤハリ一概ニ一町村毎ニ致スト云フ方針ヲ決メテ進ムカドウカト云フコトニナリマス、困難ナ場合ガアルノデハナカラウカト云フノハ、ヤハリ原料ヲ得マスルコトガ第一ニナツテ來マス、併ナガラ極端ナコトヲ申シマスルト、組合ノ方ニ於テハ十釜デモ二十釜デモ宜イノデヤナカラウカト、斯ウ一應ハ考ヘラレルノデアリマスルガ、ヤハリ器械生絲ト致シマシテ、例ヘバ之ヲ外國ニ輸出スルト云フ風ナコトニナリマスルト、ヤハリ技術トカ、製品ノ製造ト云フ風ナ時ニナリマスルト、營業製絲ト其點ニ於テハ同ジデヤナカラウカ、餘リ小ニ過ギマス、先程申上ゲマシタヤウニ、輸出上ニ於テモ不利益ヲ色々ナ點ニ付テ招クノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウナコトヲ考ヘテ 居リマスノデ、只今ハ當局ト致シマシテハ、事情々々

ニ依ッテ考ヘテ行キタイ、出來マスルナラバ、今ノ場合ニ於キマシテ、組合製絲ニ於キマシテハ、特殊ノ事情ガアルノデアリマスカラ、特殊ノ事情ノ下ニ一ツ考慮致シテ、其道ノ發達ヲ期シタイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス

○百瀬委員 尙ホ施行細則ノ案ヲ御提出ニナリマシタ上デ、私ハ今ノ質問ヲ繰返スカモ知レマセヌガ、只今ノ質問ハ此程度ニシテ置キマシテ、別ノ方面ニ付テ、チヨット御尋ネテ致シタイ、ソレハ現在ノ製絲業者ニ基金制度ヲ確立セシムルノ意思アリヤ否ヤト云フコトデアリマス、組合法ニ依ル所ノ輸出同業組合ヲ組織シテ居ル業者ニ、相當ノ積立金ヲ強制セシメル、即チ所謂備荒貯蓄トデモ申シマスカ、サウ云フ風ニシテ製絲業者ニ積立金ヲ強制セシメマシテ、サウシテ生絲ノ生産費ヲ割ルヤウナ場合、即チ財界ノ不良ナル營業狀態ニ遭遇シタ場合ニ於テ、例ヘバ在荷ヲ政府ガ買上ゲルヤウナ、ア、云フ場合ニ備ヘル爲ニ、平時ニ於キマシテ例ヘバ一俵ニ對シテ十圓ノ積立ヲ爲サシメルト云フヤウニシテ置キマスルト、二年三年ノ後ニナリマスルト、非常ナ巨額ナモノニ積立金ガナルダラウト思フ、サウシテ知ラズ識ラズノ間ニ、サウ云フヤ

ウナ不良ナル財界ニ對スル應急的ノ處理ガ出來ヨウト考ヘルノデアリマス、サウシタコトヲ業者ニ爲サシムルト云フヤウナ、何等カノ御考ヲ持ッテオイデニナルカ、ドウカト云フコトヲ承リタイ

○入江政府委員 此製絲業者ノ基金制度ノ問題ニ付キマシテハ、私共御尋ノ如ク出來ルダケハヤラシメタイト云フ考ヲ、蠶絲局ト致シマシテハ考ヘテ居ルノデアリマス、先日御協賛ヲ願ヒマシタ買上ノ如キモ、成ベクナラバ自治的ニ之ヲ行ヒ得ルト云フ風ニスルノガ、本當デハナカラウカト思ヒマス、最近ニ於テ多少絲ノ値段ガ出テ來マシタ關係デ、色々ナ、之ヲ有效ナ方面ニ使用セズニ、無駄ナ方面ニ使フト云フコトガアルト云フコトモ聞イテ居リマスノデ、相當ナ價格ガ出マヌナラバ、相當ノ貯蓄ヲサシテ置キタイト云フコトニ付キマシテ、實ハ私ハ此製絲業者ノ方面バカリデナク、殊ニ此養蠶業ノ實行組合ト云フヤウナ方面、色々ナ方面ニ於キマシテ、此基金制度ノ確立ヲ圖リタイト云フ考ハ持ッテ居リマス、是モ實ハ當局ト致シマシテハ、色々此制度ニ付キマシテ相當ノ獎勵金ヲ政府ガ出シマシテ、例ヘバ是ハ養蠶ノ方面デアリマスガ、爾一貫目ヲ賣リマスル場合ニ、假ニ

五圓ト致シマスルト、其中ノ百分ノ三クラ半ヲ積立テサセマス、其積立テタモノニ對シマシテハ、政府ナリ又ハ縣ナリガ、ソレニ對シテ獎勵金ヲ出ス、サウシテ一旦有事ノ場合ニ於キマシテ、其基金ヲ以チマシテ、相互救濟ヲ爲サシムル、斯ウ云フコトモ出來ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ政府トシテハ考ヘテ居リマスノデ、殊ニ此製絲業者ノ方面ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク只今デハ、輸出生絲ニ對シマシテハ、當業者ハ任意的ニ、一俵七圓デアリマシタカノ積立金ヲ立テマシテ、自己ノ負債ニ對シマシテ、返濟ヲスルト云フコトヲ、任意的ニヤラセテ居リマス、出來マスルナラバ、私共ハ此免許制度ガアリマシテ、將來サウ云フ方面ノ基金制度確立ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、何か一ツ案ヲ立テマシテ、今御話ノヤウナ御趣旨ニ添ヒタイト云フコトヲ、考ヘテ居ル次第デアリマス

○百瀬委員 モウ一ツ御尋致シタイコトハ、製絲業ノ研究調査機關ヲ御設ケニナル必要ガアリハシナイカ、現在ノ製絲業ノ調査機關トシテハ、洵ニ物足りナイ感ジガスルデアリマス、斯ク申シマスルノハ、利害ガ共通デアラネバナラナイ所ノ蠶種、養蠶、製絲、此三業種ノ、所謂統制ト申シマ

スルカ、協調ガ洵ニ取レテ居ラヌヤウナ感ジガスルノデアリマス、例ヘバ蠶種ノ方面ニ致シマシテモ、所謂原蠶種ノ國營論ノ如キハ、今日ノ餘リニ多イ雜駁ナル種類ヲ整理統一チシテ、優良ナル蠶種ヲ作りタイト云フノデ、アノ國營論ハ主トシテソレニ出發シテ、提唱セラレテ居ルノデアリマス、養蠶家ノ方ト致シマシテモ、成ベク飼育ガ容易デ、而シテ蠶質ノ良イ種類ヲ一般養蠶家ガ望ンデ居ル、製絲家ノ方ト致シマスレバ、練絲ニ非常ニ生産費ヲ要シナイ所ノ、即チ優良ナル蠶質ヲ望ンデ居ルノデアリマスケレドモ、要スルニ目的ハ賣ル生絲ガ優良デナケレバナラナイト云フコトニ、結論サレルノデアリマス、ソコニ於テ蠶繭絲ノ統一論ガ起ルノデアリマスケレドモ、何分ニモ原蠶種ノ、所謂斯ウシタ研究調査機關ト云ヒ、養蠶業ノ方面ノサウシタ機關ト云ヒ、製絲家ノ方ノ機關ト云ヒ、ドウモ連絡ガ取レテ居ラヌ、各業毎ニ自己ノ立場ニ立脚致シテ、勝手ナコトヲ望ンデ居リハセヌカ、ソコニ非常ナ日本ニ於ケル蠶絲業ノ經營ニ缺陷ガアルヤウニ、私ハ考ヘテ居ルデアリマス、此三業者ヲ連絡統一セシムル所ノ一ツノ機關ヲ設置サシタイ、斯ウ云フコトヲ實ハ他年私共ハ要望シテ居ル、ソレ

ガマダ實現サレテ居ラヌト云フヤウナ状態ニ置カレテ居リマス、之ニ對シテ何等カノ御考ガアリマヌナラバ、此際承ッテ置クコトガ、必要デマルト思ヒマス、生絲ノ調査機關ト致シマシテモ、唯、生絲ノ立場ノミデナク、蠶絲家養蠶家ノコトヲ考慮ニ入レテノ試験ヲ行フト云フヤウナコトガ必要ダト思フ、只今ノ制度ニ於テ各縣ニ於ケル蠶業試験場ノ如キモノガアリマスガ、是等ノ試験場ハ餘リニ蠶種類ニ重キヲ置イテ、蠶種類ガ生絲ニ及ボス影響等ニ付テノ、試験ニ缺陷ガアルト思ヒマス、其邊ノ御考ハ如何デスカ

○入江政府委員 御尤ナ御意見デアリマシテ、蠶絲局ト致シマシテハ、從來カラ其希望ヲ持チマシテ、財政當局ノ方ニ豫算ヲ常ニ要求シツ、アルノデゴザイマスガ、只今マデ實現シナイコトハ、私共遺憾ト致シテ居ルノデアリマス、現在國家ニ行ハレテ居リマスル蠶業試験場ト云フモノハ、主トシテ蠶種・桑ト云フヤウナモノ、試験ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、今御話ノ如クニ製絲ト云フコトニ付キマシテノ、研究機關ヲ持ッテ居ラナイノデアリマス、サウ云フ點カラ致シマシテ、國家トシテ統一シタル蠶種、或ハ絲ノ方面、桑ノ方面、各種ノ方面

ノ研究ヲシタイ云フ意味ヲ以チマシテ、實ハ常々豫算ヲ提出シテ、要求ハ致シテ居リマスルノデアリマスガ、未ダ實現ノ出來ナイ事ヲ、私共トシテ遺憾ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、通常議會ニ於キマシテハ、私共ト致シマシテハ、要求ヲスル考デアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ッテ置キマス

○百瀬委員 尙ホ内容ニ立入ッテ御尋ヲシタイト思ヒマスガ、他ノ同僚諸君カラモ御質問ガアルコト、思ヒマスカラ、一時、私ノ質問ハ、此程度デ止メテ置キマス

○加藤委員 同僚諸君カラ色々御尋ニナリマシタコトデアリマスカラ、私ノ御尋スルコトハ、成ベクソレト重複セナイヤウニ相努メタイト考ヘテ居リマスルケレドモ、或ハ質問ノ順序ト致シ、若クハ又私ガ注意シテ承ッテ居ッタニモ拘ラズ聽キ漏シタ點ガナイトモ限リマセヌ、其ヤウナ場合ニハ、或ハ重複シタ質問ヲ致スカモ知レマセヌガ、左様ナ事ガアリマシテモ、當局ニ於キマシテハ御答メナク、御親切ニ御答辯ヲ戴キタイノデアリマス

サテ第一條ニ付テハ青木君カラ先刻御尋ニナリマシタノニ對シテ、政府當局カラ、此施行細則ノ一番最初ニアリマス「法律ノ適用ヲ除外スルモノノ範圍ヲ左ノ如クスル

コト」ト云フ條項ヲ擧ゲテ御答ヘニナッタヤウデアリマス、ソコデ私ガ御伺シタイノハ、例ヘバ鐘紡ノ如キハ自家用ト販賣用トノ兩製絲ヲ製造致シテ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フヤウナモノハ自家用トシテ御取扱デアルカ、販賣用トシテ御取扱デアルカ、或ハ兩方ノ御取扱ヲナサルノデアアルカ、ソレヲ先ヅ以テ伺ッテ見タイノデアリマス

○入江政府委員 只今ノ點ニ付キマシテハ、自分デ作リマシテ、自分ノ織物ニ使フ、斯ウ云フ場合ニハ自家用ト見テ居リマスルガ、絲トシテ極ク僅ナリトモ賣リマヌナラバ、是ハヤハリ自家用ト認メナイ考デアリマス

○加藤委員 只今ノ鐘紡ノ例ニ付テ、モウ少シ分リマヌヤウニ御説明ヲ戴キタイ、吾ノ承ル所ニ依レバ、鐘紡ノ如キハ自家用モ澤山拵ヘル、又、輸出用ノ生絲モ澤山拵ヘテ居ル、ソコデ此場合政府ハ自家用ノ生絲ハ自家用ノ方デ取扱ヒ、輸出ノ生絲ハ輸出ノ方デ取扱フト、二様ノ取扱ガ茲ニ出來ナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウ云フモノハ本法カラ見テ是ハドウ御取扱ニナルカ、今ノ鐘紡ノ實例ニ付テヒタリト分ルヤウニ御説明ガ戴キタイ

○入江政府委員 鐘紡ノ例ヲ御尋ガアリマ

シタカラ、一寸申上ゲタノデアリマスガ、鐘紡ヲドウスルカト云フコトニナリマスルト、私共ノ考デハ鐘紡ハ除外サレナイ、詰リ法律ノ適用ヲ受ケルコトニナルト考ヘテ居リマス

○加藤委員 然ラバ其自家用ノ生絲ハ、ヤハリ輸出用トシテ之ヲ取締ル御考デアリマスカ

○入江政府委員 自家用ナルモノハ勿論取締ラナイコトニナリマス、デアリマスルガ、一部分使ヒ一部分輸出スル、斯ウ云フ風ナコトガアツテ、少シデモ輸出致シマスル方面ニ向ケマスルナラバ、全部ヲ適用スル、斯ウ云フ考デアリマス、隨テ例ヘバ或ル羽二重工場ニ附屬シテ居ル工場デ、一筋タリトモ輸出シナイ、斯フ云フヤウナモノヲ私共ノ方デハ、自家用ト考ヘテ居マス

○加藤委員 能ク分リマシタ、サウシマスト、一筋デモ輸出スレバ、全部ノ自家用ハ悉ク之ニ依ッテ、御取締ヲナサルト云フコトニ諒承致シテ宜シイコトニナルト思ヒマス、更ニ伺ヒタイノハ、全國産業組合、製絲組合聯合會カラ希望ガ出テ居ルノデアリマスガ、ソレハ政府當局ニ於テモ、夙ニ御承知ノコトト思フノデアリマス、其希望ハ「國內用生絲ノ製造ヲ爲ス器械製絲業者ハ

製絲業法ノ適用ヲ除外スルコト、國內用生絲ノ器械製絲業者ノ生産生絲ハ輸出ヲ禁ズルコト、製絲工場ノ設備釜數ニ付テハ製造能率高キモノヲ設備スル場合ニハ規定釜數ニ滿タザルモノヲ認ムルコト」此三箇條ノ希望ガ出テ居ルノデアリマス、此中ノ第一番目ノ國內用生絲ノ製造ヲ爲ス器械製絲業者ト云フモノガ随分澤山アルノデアリマス、現ニ三河ノ東參製絲組合ノ如キハ、是非トモ此國內用生絲ノ製造ダケハ、之ヲ本法ヨリ除外シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ切ナル希望ガ出テ居ルコトデアリマス、政府當局ニ於キマシテハ如何ナル希望ガ當業者ニアリマシテモ絶對ニ之ヲ除外シナイト云フ御考デア

ルカドウカ、之ヲ一ツ御伺ヒシタイ

○入江政府委員 器械生絲ニ於キマシテ、絲自體カラ考ヘマスルト、ソレガ國用向デア

ルカ、輸出向デアアルカト云フ區別ハ、非常ニ困難デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ當局ト致シマシテハ、原則トシテ除外ヲシナイ、此適用ヲ全部受ケサセル、斯ウ云フ方針ノ下ニ進ミマシテ、是ハ主トシテ或ル工場カラ製産サレマスルモノガ、是ガ國內向ナリ、或ハ輸出向ナリト區別スルト云フコトハ、絲ソレ自體カラ困難デア

テ考ヘテ居リマスルコトハ、工場ノ特ニ小サナモノニナリマスルト、全然輸出ヲシナイ、内地ノ織物ノミニ使ッテ居ル、山梨縣ノ甲斐絹ノ原料ニ致シマスル工場ガ、殆ド輸出向ノ絲ヲ挽イタコトガナイ、斯ウ云フ風ナモノガアルト云フコトモ承ッテ居リマス、ソコデ此點ニ付キマシテハ、實ハ私共ノ方デモ考ヘテ居ル點デゴザイマシテ、此差上デマシタモノ、中ニ、其點ニ付テハ明瞭ニシテ置カナイノデアリマスガ、當局ト致シマシテハ、原則トシテ其全部ヲ免許セシムル、隨テ第一條カラハ除外ハ致シマセヌガ、此製絲業法ノ附則ノ中ニ但書ガ載ッテ居リマス「本法施行ノ日ヨリ十年以内ニ命令ノ定ムル條件ヲ具備シ」云々ト云フヤウナ點ガゴザイマスガ、此附則ノ點ニ於キマシテ、取締上十分デアアルカ、例ヘテ申シマスルナラバ、或ル工場ガ自分ノ方ノ工場ハ輸出向ニハ全然適セナイト云フヤウナコトヲ届ケ出テ參リマシタ場合、ソレガ果シテ眞ナリヤ否ヤト云フコトノ取締ガ、十分出來ルト云フコトガ認メ得ラレマスルナラバ、ソレハ除外シテモ宜イノデヤナカラウカ、除外ト申シマスノハ、附則ノ點カラ考ヘマシテ、將來ニ於テ尙ホ存續ヲ認メテ置クノデアラウカ、新ニ出來マスモノヲ矢張り除外シテ

シマヒマスナラバ、到底取締ハ困難デヤナカラウカ、新設致シマスルモノガ國用ノモノデアルト云フヤウナコトニ致シマシテ、事實上輸出ヲヤルト云フヤウナモノガ、澤山ニ出テ來ルト致シマス、折角此免許制度ガ出來タ趣旨ニ反シマスルノデ、要スルニ現狀ノモノニ於キマシテハ、サウ云フ點ニ付テ、考ヘテ見タイト云フ積リデアリマス

○加藤委員 サウシマス、只今政府委員ノ御説明カラ言フト、機械製絲デアルト、是ガ輸出スルモノデアアルカ、國用ノ方ヘ振向ケラレルモノデアアルカト云フ區別ガ殆ド付カナイ、而シテ取締サヘ十分ニ付クナラバ或ハサウ云フ餘地ヲ與ヘテモ宜イケレドモ、此取締ガ殆ド付ク見込ガナイカラシテ國用生絲ソノモノヲ除外スル譯ニ行カナイ、斯ウ云フ風ニ伺ヒマシタガソレニ間違アリマセヌカ

見マスナラバ、二十トカ、三十トカ、五十トカ、六十トカト云フ小サナ工場ニナリマスルト、横濱、神戸ニ持ッテ參リマシテモ、非常ナ費用ヲ要シマス上、検査手續方面倒デアルト云フヤウナコトカラ致シマシテ、國有ノミニ使ッテ居ルモノガ相當アルノデヤナイカ、アルト信ジテ居リマス、サウ云フ風ナモノニ於キマシテハ、取締ノ點デ、當局ガ取締ト云フコトヲ致シマスレバ、出來ナイコトハナイノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テ相當考慮シテ見タイ、隨テ是ハ本法カラ除外スルト云フノデナクテ、附則ノ方ニ置キマスル點カラ、現在ノヤウナ國用ト輸出向トヲ届ケサシテ置キマシテ、其届出ニ違反シテ輸出致シマス者ハ、其罰則ニ依ッテ取締ル、斯ウ云フ風ニ致シマシテ、國用ヲ除外シテモ宜イノデヤナカラウカ、斯ウ云フコトデ目下其研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、勿論研究ト申シマシテモ、大體十月一日カラ施行スル考デ居リマスノデ、ソレ迄ニハ施行細則ノミニ依ッテ、今御話ノヤウナ點ハ除外シタイト云フ希望ヲ以テ進ンデ居リマス

○加藤委員 更ニ伺ヒマスガ、此座繰製絲ノ種類ハ大分澤山アッテ、六萬幾ラアルト思フ、其座繰製絲ヲ除外セラレタ理由ヲ一ツ

伺ヒタイ

○入江政府委員 此座繰玉繰デアリマス
カ云フ方面ニナリマス、大體ニ於キマシ
テ輸出致シマスノハ、アリマシテモ極ク少
量デアリマス、ト云フコト、又是ハ一ツ
ニハ家内工業式ニナッテ居ルモノガ、非常ニ
多イノデゴザイマス、繰ニ對スル原料ガ、
是ハ私ガ申上ゲルマデモナク違ッテ居リマ
スノデ、サウ云フ點カラ致シマシテ、座繰
トカ、玉繰工場トカ、假ニ工場ノ形體ヲ備
ヘタモノデモ、除イテ宜イデヤナイカト云
フ趣旨デ、除イタノデアリマス

○加藤委員 只今政府委員ノ仰セノ如ク玉
繰ハ全然其原料ハ違ヒマスガ、座繰ハ申ス
マデモナク殆ド機械製ト別ニ原料ニ變リ
ハナイト言ッテモ宜カラウト思フ、唯座繰製
繰ニ用ルモノハ同ジ原料ノ中デモ良イ原
料ノ方ヲ機械ニ廻シ、悪イ原料ヲ座繰ノ方
ニ廻ハスト云フ一般當業者ノ傾向ガ無論ア
リマスケレドモ、併ナガラ此座繰ニ於テモ
隨分優良ノ原料デ優良ナ生繰ヲ拵ヘテ、サ
ウシテ之ヲ輸出スルモノモ少ナカラザルヤ
ウニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ガ家内工
業的ニヤッテ居ルノデアルカラ云々ト云フ
御話デアリマスガ、サウ云フヤウナ見地カ
ラ申シマスルト云フト、此機械製繰ノ方デ

モ殆ド十釜トカ二十釜トカ云フヤウナ小サ
ナ工場ニナリマスレバ、申上ゲルマデモナ
ク家内工業的ニ經營シテ居リマスモノガ大
分デアアルノデアリマス、唯ソレガ機械ト云
フ名前ガ付イテ居ル位ノ程度ノモノデアリ
マシテ、殆ド座繰トサウ大シタ變リノナイ
ヤウナモノガ大分アル、斯ウ云フ立場カラ
之ヲ見マスルト、一方ハ座繰製繰デアアルガ
故ニ之ヲ除外スル、一方ハ機械製繰ト云フ
名前ガ付イテ居ッタカラ、家内工業的ニ之ヲ
經營シテ居ッテモ、本法ニ依リ取締ル、斯ウ
云フコトニナルト、自然ソコニ不公平ヲ免
レヌコトニナラウト思フノデアリマス、此
點ニ付テ政府委員ノ御考ハ如何デアリマセ
ウカ

○入江政府委員 私ヨリ加藤サンノ方ガ專
門家デアリマスノデ、私説明ヲ申上ゲルノ
ハドウカト思フノデアリマスガ、假ニ私ノ
方ノ技術員ノ言葉ヲ借リテ申上ゲマスル
ト、大體座繰ト機械生繰トノ製品ガ違フ、隨ッ
テ多少ハ輸出ガアルカトモ存ジマスガ、殆
ンド稀レデハナカラウカ、輸出シテモ非常
ニ不利デアアル、斯ウ云フコトニナッテ居リマ
シテ、大體區別シテ宜イノデハナカラウカ、
製繰業ノ合理經營ト云フ點カラ申シテモ、
座繰ノ如キ狀態デハ相當不利益デハナイカ

ト考ヘマスノデ、大體座繰ヲ抜イタ方ガ宜
イノデハナカラウカ、然ラバ十釜、二十釜
位ノモノハドウスルカ、不公平デヤナカラ
ウカ、家内工業式ノモノデヤナカラウカト
云フ御話デアリマスガ、實ハソレガ私共ノ
方デ考慮シテ居ル點デ、是ハ大體本法ニ依ッ
テ總テノ取締ヲシテ參リマス、隨テ整理合
同或ハ共同施設ト云フヤウナ方面デ、將來
斯ウ云フ製繰家ノ獎勵施設ト云フコトモ
ヤッテ參リ、助長シテ行クト云フコトヲ一面
考ヘルト同時ニ、今申シタ國用生繰ト云フ
モノニ對シテハ、或ル釜數ヲ限リ除外シヨ
ウカト云フ其標準ニ付テ、此處デ私ダケノ
考ヲ申上ゲテ宜イノデアリマスガ、實ハ今
其點ヲ技術方面ニ於テ研究サレテ居リマス
ノデ、今此處デ申上ゲテシマッテモドウカト
考ヘマスノデ、相當程度ノ釜數ノモノハ、
國用向トスルモノニ對シテハ、附則ニ於テ
除外シタラドウカ、十年後ニ於テモ存續セ
シムル、斯ウ云フ方面デ行ッタラドウカト
云フ考ヲ有ッテ居リマス

○加藤委員 御趣旨ノアル所ハ能ク分リマ
シタ、十釜、二十釜ト云フヤウナ小製繰家、
殊ニ國有向ト云フヤウナモノヲ製繰スル
者ニ對シテハ、社會政策ノ上カラ見テモ、
斯ウ云フモノヲ壓迫スルヤウナコトハ甚ダ

宜シクナイコト、思ヒマスカラ、其點ニ付
テハ政府ニ於テモ特ニ御考慮ヲ願ヒマス、
ソレカラ第二條ノ免許制度ノコトニ付テ青
木、百瀬兩君カラ釜數等ニ付テノ質問ガア
リマシタガ、此免許ノ資格ト云フコトニ付
テ伺ッテ見タイト思ヒマス、此製繰業者ノ資
格ニ付テハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居ル
カ、御承知ノ如ク蠶種製造業者ノ如キモ其
資格ヲ限定サレテ居リマスガ、本法ヲ施行
スルニ付テモ、製繰業者ノ資格ガ相當限定
セラレナケレバナラスト思ヒマスガ、此點
ニ付テ御腹案ガアッタナラバ伺ヒタイノデ
アリマス

○入江政府委員 此資格ニ付テハ、少クト
モ此工場ヲ經營スル上ニ於テ相當ノ者、抽
象的ニ申ストサウナリマスガ、例ヘバ此業
務ニ相當經驗アル者、是ハ矢張地方々々ニ
依ッテ色々事情モ異ルト考ヘマスガ、相當業
務ニ關シ經驗ヲ有スル者、個人ナラバ大體資
産ノ狀況ニ依ッテ、相當資産ノアル者、或ハ
會社ナラバ相當資本ヲ有シテ居ルモノ、斯
ウ云フ風ナ種々ノ點ニ付テ考ヘテ見タイ、
尙又之ニ付テ私共ノ方デハ、一工場毎ニ免
許ヲシテ行キタイト云フ考ヲ有ッテ居リマ
スノデ、今申上ゲタヤウナ工場ヲ經營スル
ダケノ、相場ノ資格ヲ有スル者、此點ニ付テ

ハ施行規則ニ書クコトハ出来ナイノデアリ
マスガ、サウ云フ點ニ付テハ此法ガ施行セ
ラレルニ當リテ、地方長官トモ當局ノ方針ヲ
十分打合テシテ、考ヘテ見タイト思ッテ居リ
マス

○加藤委員 此資格問題ハ輕イヤウデアリ
マスケレドモ、中々重大ナル責任ノアル問
題ト思ヒマス、ドンナ製絲業デモ其人ヲ得
ルト得ザルトニ依ッテ成功モスレバ、不成功
ニモ終ルコトハ申上ゲルマデモナイノデア
リマスカラ、斯様ニ立派ナ法律ヲ拵ヘテ取
縮ル以上ハ、其資格ニ付テ餘程重キヲ置イ
テ御考ニナラナケレバナラヌト思ヒマス

ガ、私ノ聽キヤウガ惡イノカ、只今地方長
官ト相談シテ云々ト云フヤウナコトデアリ
マシタガ、甚ダ失禮ナガラ地方長官ナンカ
ハ餘リサウ云フコトハ能ク分ルマイト思
フ、是等ノコトハ相當蠶絲業關係ノ團體モ
アルコトデアルカラ、能クソレ等ノ人々ノ
意見モ御徵シニナッテ、相當立派ナル資格ヲ
具備スル者ヲ之ニ充テルヤウニナサラネバ
イケナイト思ヒマス、是ハ只、自分ノ考ヲ
申述ベテ御參考ニ供スル次第デアリマス、
尙ホ御伺ヒシタイノハ、同ジ釜數ト申シテ
モ其製絲業ニ依ッテ色々ノ種類ガアラウト
思ヒマス、申上ゲルマデモナク大體ニ於テ

立線式ト座線式ノ二ツニ分ルダラウト思
ヒマスガ、其立線式ノ中ニハ其種類ガ殆ド
三十種類モアルト云フコトデアル、例ヘバ
十口以上ノモノ、十二口以上ノモノ、或ハ
二十口、三十口ト云フヤウナ具合ニ、同ジ釜
デモ其口數ノ多イモノモアレバ少イモノモ
アル、只、單ニ釜ト言ヘバ皆同ジヤウデア
ルガ、今申シタヤウナ具合ニ區別ガアリマ
カラ、政府當局ニ於テハ此釜其モノニ付テ
ハドウ云フモノヲ一體標準トシテ、茲ニ釜
數其モノヲ百五十ト御決メニナッタカ、ソレ
ヲ一ツ伺ッテ見タイ

○入江政府委員 御話ノヤウニ製絲ノ器械
ニ付キマシテハ、種々ナモノガゴザイマス
ノデ、今御話ニナッタノハ多條ノ方ノ事ダト
考ヘマスルガ、ソレハ釜數ニ依リマスル事
ハ、御話ノ如クデアリマスルノデ、此點ニ
付キマシテハ數人共通デ線絲鍋ヲ用ヒル設
備ト云フ風ナモノノデ、線絲ヲ致シマスルモ
ノニ付テハ、線絲者一人分テ大體一釜ト、
斯ウ見タイト考ヘテ居リマス

○加藤委員 サウスルト詰リ釜數ガ幾ラア
リマシテモ、一人ガソレヲ監督シテ線絲致
シマスレバ、ソレヲ一釜ト御覽ニナルノデ
スカ

○入江政府委員 大體仰セノ通りデゴザイ
マス

○加藤委員 サウシマスルト、此釜數ト云
フ事ハ、洵ニドウモ標準ガ定ラナイヤウナ、
極メテ曖昧ナモノニナリハ致シマスマイ
カ

○入江政府委員 大體今マデノ私共ノ調ヲ
見マスルト、統計表ニ依リマシテ、一釜ノ
能力ト云フ點カラ考ヘマシテ、一工女ノ扱
ヒマスルモノデ大概誤リナカラウ、其點ニ
付テハ、尙ホサウ云フ特殊ナ場合ニ付テハ
御話ノヤウナ事ガアルト思ヒマス、其點ニ
付テハ何カ其處ニ特殊ナ規定ヲ置ク方ガ、
或ハ宜イヂヤナカラウカト云フ、實ハ今問
題モアリマスカ、今原則ト致シマシテハ線
絲者一人ノモノヲ以チマシテ、一工女トス
ル、唯、器械ニ依リマシテハ違フモノガアリ
マスノデ、サウ云フ場合ニハ、例ヘバ先程
申上ゲマシタノデアリマスカ、全國平均ノ
一釜ノ能力ガ大體百三十五匁目ト云フヤウ
ナ事ニナッテ居リマスカ、サウ云フヤウナ點
カラ規定ヲ置カウカト云フ事モ考ヘテ居リ
マス

○加藤委員 此釜數ノ問題ハ本法適用ニ於
キマシテ最モ重大ナ問題ト思ヒマスカ
ラ、諄イヤウデアリマスケレドモ、モウ
少シ諒解ノ出来ル御説明ヲ戴キタイト思フ

○入江政府委員 大體技術ノ方面カラ研究
致シマシテ、所謂多條製絲器械ニ於キマシ
テハ、線絲者一人ノ分量ト云フモノガ大體
一釜位ニ當ッテ居ルノデハナイカ、ト云フノ
ハ、先程モ青木サンノ御尋ノ時ニ御答申上
ゲテ置キマシタノデゴザイマスカ、多條ノ
方ニ於キマシテハ、寧ろ其桿ノ回轉ガ遅イ
ト云フ關係カラ致シマシテ、捲上生絲ノ一

ノデアリマス、只今政府委員ノ御説明ニ依
リマスルト云フト、一工女ノ監督スルモノヲ
以テ一釜ト見ル、斯ウ云フ事デアリマスル
ガ、サウ致シマスルト云フト、是レ亦十年
後ニ於キマシテ機械ガドノヤウニ發達セヌ
トモ限ラナイ、其機械ノ進歩ノ結果ガ、一
人デ以テ五釜モ六釜モ持ツ——是ハ假定
デ、假定ノ事ヲ申上ゲマス事ハ甚ダ失禮デ
アリマスケレドモ、サウ云フ事モ想像シナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、今政府
委員ノ説明ニ依リマス、一人ノ工女ノ擔
當スルモノヲ以テ、即チ一釜ト見做ス、二
釜受持ッテモ或ハ三釜受持ッテモ一釜ト見做
サル、ヤウニナルノデアリマス、サウスル
ト是ガ取締上甚ダ不都合ヲ其處ニ生ジハセ
ヌカ、斯ウ云フ風ニ考ヘラレル、ソコデ此
點ヲモウ少シハッキリ伺ッテ見タイト思フノ
デス

○入江政府委員 大體技術ノ方面カラ研究
致シマシテ、所謂多條製絲器械ニ於キマシ
テハ、線絲者一人ノ分量ト云フモノガ大體
一釜位ニ當ッテ居ルノデハナイカ、ト云フノ
ハ、先程モ青木サンノ御尋ノ時ニ御答申上
ゲテ置キマシタノデゴザイマスカ、多條ノ
方ニ於キマシテハ、寧ろ其桿ノ回轉ガ遅イ
ト云フ關係カラ致シマシテ、捲上生絲ノ一

ト云フ關係カラ致シマシテ、捲上生絲ノ一

ト云フ關係カラ致シマシテ、捲上生絲ノ一

―何ト申シマスカ、其尺數ト云フモノガ、サウ思ッタヨリ多イノヂヤナイカ、ヤハリ一人ノ能力ニ於キマシテ、サウ大差ハナイヂヤナイカ、斯ウ實ハ技術上ノ方ニ於キマシテ考ヘテ居リマス、併ナガラ勿論是ハ一釜標準デ致シマスヨリモ、多イトハ考ヘテ居リマスガ、其ノ多イ割合ガソナニヒドクハナカラウト思ッテ居リマス、例ヘバ一釜ヲ生産シマスモノガ百三十五匁目ナラバ、其三倍モ出來ルト云フヤウナコトハ、ナイヂヤナカラウカ、ヤハリ此點ニ於キマシテハ、大體特別ナ器械以外ニ於キマシテハ、今ノ吾々ノ見テ居リマスヤウニ、繰絲者一人分ノ分量ヲ以テマシテ、一釜ト見テ大差ガナイヂヤナイカ、ソコデ先程御話ニゴザイマシタヤウニ、色々ナ機械ガアリマス、特殊ナ器械ガ發達シテ參リマシタ、或ハ十年間位ニ非常ニ又進歩ヲシテ來ルト思フ、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、當然是ハ其場合ニ付テハ、相當考慮スル必要ガアルト考ヘテ居リマスガ、只今ノ所デハ大體ニ於キマシテ今申上ゲタヤウニ見テ、誤リハナイノヂヤナカラウカ、斯ウ考ヘテ居リマス

カラ申シマスレバ、一釜一人ト云フ立前デ御進ミニナル事ハ、當然デアラウト思ヒマスルガ、是ガ中々今後ニ於キマシテハ、一人デ二釜ヲ繰絲スル場合ガ、實現ヲシテ來ルト私ハ確信ヲ致シテ居リマスルカラ、只今局長ノ、一釜ガ即チ一人ノ繰絲能率、斯ウ云フ限定的ノ御説明ダケデハ、將來ニ備ヘルニ於テ不備ノ點ガ起ッテ來ハセヌカ、故ニ私ハ其規定ニ加フルニ、但書デモ何デモ宜シイカラシテ、能率本位デ見タル基準ヲ御定メニナル事ガ必要デハナイカ、斯ウ考ヘテ居リマス、何等カソコニ別ナ規定ヲ設ケテモ宜シイト云フヤウナ話モアリマシタカラ、其點ヲ明ニシテ置キタイト思フノデアリマス

○入江政府委員 私ノ申上ゲマシタ事ニ付キマシテハ、大體御質問ノ御趣旨トハ餘リ變ラヌト思ッテ居ルノデアリマスルガ、今ノ現狀ニ於キマシテハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマスルノデアリマス、特殊ナ器械モ中ニハアリマスケレドモ、將來ハ或ハ口數ニ依リマシテ、ヤラナケレバナラヌノヂヤナイカト云フヤウナ點、此點ニ付キマシテハ、實ハ施行細則ヲ作り上ゲマスル時ニ當リマシテハ、今加藤サンニ申上ゲマシタヤウニ、相當ノ生産ト云フ方面カラモ、規定ヲ設ケテ行キタイト云フ事ヲ、實ハ研究シテ居ルノデアリマス、餘リ例ガ澤山ナイモノデアリマスカラ、ソレデ實ハ一工女ノ能力ト云フ點カラ申上ゲテ居ルノデアリマス、一般ノニ大體ノ一ツノ原則ヲ定メマシテヤル、多少不備ノ點ニ付キマシテハ、特殊ナ場合ハ特殊ノ場合デ、相當規定シテ行キタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス

○加藤委員 政府委員モ御承知ノヤウニ、中々器械ニハ種類ガ多ウゴザイマスシ、ソレカラ生産能力ニ於キマシテモ、青木君ガ先刻言ハレタ如クニ、中々相違ガアルノデアリマス、全國平均ハ百三十匁目ト云フ御話デアリマスルガ、昨今ノ能率ハ大抵ハ百五十匁目位ノ範圍ニアルノデアリマス、中々是モマダ一定ハ致シテ居リマセヌ、私共ノ考デハ、同ジ釜數ト云フテモ只今申上ゲマシタヤウニ單條式ト多條式ト差ニ依ッテ中々口數ニ相違ガアルノデアリマシテ、其釜ヲ幾釜ト云フコトヲ標準ニスルト云フコトハ、大ニ穩當ヲ缺クヤウナ感ジガ致シマス、デアリマスカラ、寧ろ是ハ生産量ニ依ッテ其標準ヲ定メル方ガ宜イノヂヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ政府當局ニ於テハ何等カ御研究ニナツタ點ガアリマシタナラバ、序ニ御伺致シテ見タノデアリマス

○入江政府委員 實ハ其點ニ付キマシテ、非常ニ攻究シタノデアリマシテ、然ラバドウ云フ目安ヲ置クカト言ヒマス、ドウシテモ現在ノ所デハ、ヤハリ此釜數ニ置クト云フ方ガ明瞭デハナカラウカ、又民間ノ團體等ニ於キマシテモ、大體釜數ノ標準ヲ御示シニナツテ居ル所モゴザイマシテ、抽象的ニ決メルト云フコトハ困難デハナカラウカ、寧ろ只今ノ所デハ釜數ヲ以テ押ヘルノガ先ヅ明カデアラウ、斯ウ考ヘマシテ、先程青木代議士ニ申上ゲタノデアリマスガ、色々將來ノ變化等ニ應ジマシテ、其時々ニ依リマシテ、ヤハリ是ハ相當ニ斯ウ云フ點ニ付キマシテモ考ヘテ見ナクチヤナラヌデヤナイカト云フヤウナ意味カラ、此點モ實ハ施行細則ニ譲リマシテ、出來ルダケ實用シテ行キタイ、斯ウ實ハ考ヘテ居リマスノデ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○加藤委員 尙ホ私釜ノ問題ニ付キマシテハ、色々御伺シテ見タイト思ヒマスケレドモ、先刻申上ゲマシタヤウニ大臣ヲ通シテ御説明ヲ願ヒタイト思フコトガアリマスカラ、此問題ハ此程度ニ止メテ置キタイト思ヒマス、更ニ第三條ノ「主務大臣ハ製絲業者ニ對シ、製絲業ノ統制上必要ナル事項ヲ

○青木委員 問題ガ私ノ心配シテ居ル點ニ、恰度參ッテ來テ居リマスルカラシテ、尙ホ御伺シタイト思フノデスガ、現在ノ常識

命ズルコトヲ得」斯ウアリマスガ、此製絲業者ノ統制上必要ナル事項トハドウ云フモノヲ言フノデアリマセウカ、是ヲ伺ヒタイノデアリマス

○入江政府委員 茲ニ書イテアリマスル第三條ノ統制ト申シマスルモノハ、大體私共ガ規定致シマスル意味ハ、平常ニ於キマシテハ成ベク斯ウ云フ法ノ規定ノ適用ト云フモノハシナイ、唯當業者ニ於キマシテ、團體等ノ力ヲ以チマシテ、任意の統制ヲ以テ總テノ問題ヲヤッテ行ク、尙ホソレデモ統制ガ取レナイヤウナ非常時ノ場合ニ於キマシテハ、出來マスルナラバヤリタイト云フ考ヲ實ハ持ッテ居ルノデアリマス、然ラバドクナコトヲスルノデアアルカト申シマスルト、大體ニ於キマシテ、製絲業全般ノ統制ヲ圖リ、更ニ必要ノアリマスル時ニ、是ハ非常時デナクテモ、不斷ヤラナケレバナラナイコトモゴザイマスガ、例ヘバ製品ノ規格ノ統一デアリマスルトカ、或ハ進デ製造販賣ニ關シマスル制限デアリマスルトカ云フヤウナ所迄進シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヲ以チマシテ、茲ニ統制命令ト云フコトヲ置イタノデアリマス、隨テ施行細則ノ方面ニ於キマシテハ、只今ノ所デハ規定ハ置カナイ考デゴザイマス

○加藤委員 本法ニ於ケル製絲業上ノ統制ノ云フコト、ソレカラシテ他ノ蠶絲業組合法ニ於ケル統制ト云フコトニ於テ相違ガアリマスカ、アリマセヌカ、若シ相違ガアリマスルナラバ、當局ノ御考ナサル其相違點ヲ此點ガ違フ、斯ウ云フコトヲ一ツ承リタイ、ナケレバナナイデ宜イ、アッタラバ伺ヒタイ

○入江政府委員 大體私共ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、只今ゴザイマス蠶絲業組合法ニ於キマスル、第三條ダト思ッテ居リマスガ、組合法ニ於キマスル製絲業ノ改良獎勵又ハ統制ヲ爲スト云フ規定ガアルノデアリマスガ、ソレハ要スルニ組合ガ任意のニ、自治的ニ總テノ蠶絲業ノ改良獎勵發達ト云フヤウナ點ニ付キマシテ、爲スノデアアテ、詰リ本法ニ制定致シマシタ第三條ノモノハ、ドツチカト申シマス、組合ガ自治的ニヤリマシテモ能ハザル場合、或ハ團體ニ於キマシテ或事ヲ統制シヨウト致シマシテモ、組合ノ一部ニ於テ反對ヲシテ、決議モ出來ナイ、斯ウナリマスと云フト、國家非常時ト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ國家自ラ之ヲヤラナケレバナラナイト云フヤウナ事態ガ、出テ來ハシナイカ、斯ウ云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマスノデ、只今ノ蠶絲

業ノ方ノ組合法ニアリマスノト、此製絲業ノ免許製ニアリマスルモノ、統制トハ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、非常ニ異ナリヲ生ジテ居ルノデアリマス

○加藤委員 サウシマスと云フト、詰リ蠶絲業組合法ノ統制ハ、當業者ノ自治的ノ觀念カラ出タ統制、而シテソレニ依テモ尙且ツ國家非常時ノ場合ニ於テハ、中々當業者ノ自治的ノ觀念デ、統制等ノ取レナイヤウナモノガアル、本法デハサウ云フ者ヲ詰リ統制シヨウ、斯ウ云フヤウニ伺ヒマシタ、斯様ニ伺ヒタノニ間違ガナイトシマスレバ、詰リドウ云フコトガ、即チ國家非常時ノ場合ニ於テ、統制上必要ト御考デアルカ、ソレヲ具體的ニ一ツ例證ヲ擧ゲテ戴キタイ

○入江政府委員 先程私申上ゲマシタノデアリマスガ、此規定ハ成ベク使用シタクナイ意思デアル、變ナ形容詞ヲ借りテ申シマス、傳家ノ寶刀トシテ之ヲ仕舞ッテ置キタイ、例ヘバ組合ニ於キマシテ、任意のニ生産ノ制限ヲスルト云フヤウナ場合ガアルト致シマシテ、其制限ガ旨ク行ハレナイ、成ベク斯ウ云フコトハ自治的ニヤラス方ガ、私ハ宜イノヂヤナイカト考ヘテ居リマスノデアリマス、併ナガラ或場合ニ於キマシテ、組合ノ統制ダケデハ出來ナイト云フヤウ

ナ、所謂非常時ト云フ時ニ於キマシテ、生産制限ト云フヤウナコトヲ行ヒマスル時ニ、寧ロ國家自ラ行フ方ガ宜イノヂヤナイカ、勿論サウ云フ場合ハ殆ドナイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ一ツ之デ使用シタイ、隨テドウ云フ場合、ア、云フ場合ト云フコトヲ實ハ施行細則等ニ決メテ居リマセヌノデ、サウ云フ必要ガ生ジマシタ時ニ、尙其場合ニ就テ決メテ行キタイ、斯ウ云フ考デ實ハ統制命令ト云フモノヲ置イタ次第デゴザイマス

○加藤委員 此質問ハ此程度ニ留メテ置キマシテ、更ニ第四條ノ第二項デアリマス「製絲業者引續キ一年以上其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルトキハ主務大臣ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制限スルコトヲ得」斯ウゴザイマス、此事業ノ全部トカ又ハ一部ト云フヤウナコトハ、ドウ云フ意味ニ解釋シテ宜シイノデアリマスカ、一寸漠然トシテ居ッテ、意味ノ解釋ニ苦シミマスカラ、此點モ説明シテ戴キタイ

○入江政府委員 實ハ大シタ深イ意味ヲ有ッテ居ルノデハナイノデアリマスガ、例テ舉ゲテ申シマス、三百釜ノ認可ヲ受ケタ工場ガアル、然ルニ其工場ハ百釜ダケ休ンデ居ル、サウ云フ風ナ時ニ於テ、或ハ全部

取消スカト云フト、色々原因ガアリマスノデ、其場合ニ事情ニ依ッテ、全部又ハ一部ヲ取消ス、斯ウ云フ意味デ全部又ハ一部トシマシタノデ、別ニ深い意味ヲ有ッテ居ル譯デハナイガ、サウ云フ場合ガ想像シ得ルノデアリマス、二百釜ノ場合ニ、假ニ五十釜ダケ何カノ事情デ休ンデ居ル、其場合ニ五十釜ダケヲ取消スト云フヤウナ場合ヲ想像致シテ、一部ト云フヤウナ風ニ規定ヲ致シタノデアリマス

○加藤委員 サウシマスト例ヘバ二百釜ノ製絲工場ガアッテ、何カノ都合デ其全部ノ運轉ガ出来ナイ、斯様ナ時ニ五十釜ナリ十釜ナリ働クコトガ出来ナイト云フコトガ一年間續イタ時ニハ其免許ヲ取消ス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○入江政府委員 此規定ハ御承知ノ如ク、其事業ヲ制限スルコト、ナッテ居リマスノデ、大體其時々々ノ事情ニ依ッテ、御話ノ如クナルノデハナカラウカ、併ナガラ大體、假ニ二百釜ノ工場ガアリマシテ、五十程休ンデ居ッテモ、マア餘リ差支ナイト云フ場合ナラバ、五十釜休ンデ居ルカラ、之ヲ直ニ取消シテシマフト云フ趣旨デハ、決シテナイノデアリマス、其事情々々ニ依ッテ、或ハ資本ガ無クナッテシマフトカ、色々ナ關係カ

ラ、工女ノ賃銀モ支拂ヘナイト云フヤウナコトニナリマシテ、經營上宜シキヲ得ナクナッテシマッタト云フヤウナ、實情ニナリマスト、其時ハ或ハ五十釜減シタ方宜イト云フコトガ、出テ來ルカモ知レナイ、サウ云フヤウナ時ニ、運用シタイト云フ考デ、是ハ規定シテアルノデアリマス

○加藤委員 サウシマスト例ヘバ二百釜ノモノガ五十釜ダケ休ンダトシマスレバ、是ハ百五十釜アルカラ本法ノ規定ニ適ッテ居リマスケレドモ、百五十釜ノモノガ十釜カ、二十釜休ンダ場合ニハ、是ハドウ御取扱ヒニナルカ、是ハ矢張取消ス方ニ入りマスカ、事業ヲ制限スル方ニ入りマスカ

○入江政府委員 嚴格ニ申上ゲマスレバ、御話ノ如ク取消スコトニナッテシマヒマスカ、是ハ矢張事情々々ニ依ッテ違ヒマス、モウ少シ極端ニ申上ゲマスレバ、百五十釜ノ中一釜休ンデ、百四十九釜ニナッタ、サウ云フ實例モナイコトハナイ、アルカモ知レヌノデアリマスガ、ソレハ矢張常識デ考ヘマシテ、其事情ニ即シテヤッテ行ク方ガ、宜イデハナイカト考ヘテ居リマスノデ、其爲ニ制限スルモノデナイト云フ風ナ、任意的ナ規定ニシテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 此事業ヲ制限スルモノデナイ

ト云フ意味ガ私ハ一寸分リ兼マスガ、是ハドウ云フ風ニ御取扱ニナルノデアリマスカ、事業ヲ制限シテモ差支ナイ、ソレハ其工場主ガ自分自ラ百五十釜ノモノヲ或ハ百三十釜位ノ程度ニ縮メテ一向差支ナイ、斯ウ云フ意味ニ解釋スルノデアリマスカ、或ハ又監督官廳ノ方デ其釜數ガ減ッタ以上ハ、其減ッタダケノ仕事ヲ制限スルト云フノデアリマスカ、ソレニハドウ云フヤウナ意味ガ含マレテ居ルノデアリマスカ、其點ガドウモ是ダケノ字句デハ分リ兼マス、之ヲモウ少シハッキリ御説明ヲ願ヒタイ

○入江政府委員 大體私達ハ斯ウ云フ點ヲ豫想シテ居リマス、兎ニ角免許ヲ受ケント致シマス者ガ、表面上百五十釜ト云フ届出ヲシテ、事實ハ百釜シカヤッテ居ラス、斯ウ云フ風ナコトニナルト、相當取締ル必要ガアルデハナカラウカ、隨ッテ是ハ營業製絲方面ニ於テハ、餘リ適用スルコトハナカラウト考ヘテ居リマス、産業組合ニ關係ノアル製絲デアリマシテ、組合員ノ供給スル繭ガ不足致シマシタリ、其所屬組合員ノ員數ガ減少シテ來タト云フヤウナコトカラ、已ムヲ得ズ事業ノ一部ヲ廢メナケレバナラス、然ルニ初メ届出テタカラ、二百釜ヤッテ居ラナケレバナラス、斯ウ云フコトニナリマ

スト、却ッテ生産費ガ高クナルト云フヤウナ場合ガアリマスノデ、其場合ニハ一定ノ條件又ハ期限ヲ附シマシテ、一部ノ休止ヲ命ズルト云フ場合ガ、アルデハアルマイカト考ヘテ居リマス、隨テ營業製絲ノ方面ニ於テハ現在アリマスモノ、方ニ於テハ、サウ大シテ考ヘル必要ハナカラウ、詰リ將來出來ントスルモノガ、届出ノ際ニ百五十釜ナラ百五十釜ト届出テ置キナガラ、事實ヤライ、斯ウ云フヤウナ事ヲ想像致シテ、此規定ヲ茲ニ設ケタ次第デアリマス

○加藤委員 實際ニ於テ釜數ガ全部働イテ居ルト云フコトガ少イ場合ガ多イト思ヒマス、非常ニ絲ノ値段ガ良クテ景氣ノ好イ場合ニハ、全部ノ釜數ガ運轉スルト云フヤウナ場合モ無論澤山アリマスケレドモ、近年ノ如ク不景氣ガ連續致シマス、同ジ工場ニアリマシテモ遊ンデ居ル釜ガ中々ニ多イノデアアル、サウ云フ風ナモノト、只今局長ノ御説明ニナッタモノトハ全然違フ、一方ハ詰リ免許ヲ受ケンガ爲ニ故意ニ官ヲ欺キ胡麻化サウト云フ考デ、サウ云フ設備ヲシタカノ如ク見セ掛ケテ、百五十釜ノモノガ百釜シカ働イテ居ラナイ、斯ウ云フヤウナモノハ無論大ニ嚴重ニ取締ラナケレバナラスノデアリマス、併ナガラ前申シタヤウナ實

情ニ在ルモノハ全ク其經濟狀態ノ關係、其時ノ絲價ノ關係等ニ依リマシテ、全部働カセタクモ働カセ得ナイト云フヤウナ洵ニ氣ノ毒ナ狀態ニアルモノガ、實際ニ於テ尠クナイ、其二ツノモノガ混同セラレル條項ダト私ハ思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テ政府當局ハドウ云フ風ニ考ヘラレテ居ルカ、其點ヲ伺ッテ置キタイ

○入江政府委員 其點ニ付テハ、私ハ實ハ混同シテ居ラヌト考ヘテ居ルノデアリマスガ、隨テ第四條ニ於キマシテ、新シク免許ヲ受ケタルモノハ一年以内ト書イテアリマス、「一年以内ニ事業ヲ開始セザル時ハ」云々ト書イテアリマス、現在ニ於キマシテハ一年以上ト云フ字ヲ使ッタノデアリマシテ、成ベク其業態ヲ能ク取調ベマシテ、却テ休ンデ居リマスルコトガ、其事業ヲ不確定ノ狀態ニ置クト云フヤウナコトノナイヤウニシタイ、斯ウ云フ趣旨カラ、サウ云フ危険ヲ取縮ルノガ宜イノデハナカラウカト云フ風ニ考ヘマシテ、引續キ一年以上ト云フ字ヲ使ッテ居ルノデアリマス、然ラバ「以上」デアルカラ、ドノ位迄宜イノカト云フコトニナリマスノデ、時ノ狀況或ハ色々ナ點カラ考ヘマシテ、休ンデ居ルモノガ至當デアルト認メマスナラバ、嚴重ニシナケレバナラス

ト云フコトニ、此規定ヲ解釋致シマシテ、立法致シタ次第デアリマス

○加藤委員 更ニ此第五條ニ付テ伺ヒタイト思フノデアリマス、「製絲業者ノ所爲ニシテ本法ニ基キテ發スル命令」云々ノ此公益ヲ害シ、若クハ害スル虞アリト認ムルト云フヤウナコトハドウ云フコトヲ指シテ居ル、ノデアアルカ、之ヲ今少シ具體的ニ斯ウ云フモノガ即チ公益ヲ害スルモノデアアル、斯ウ云フモノガ公益ヲ害スルノ虞ガアルモノデアルト云フコトヲ一ツ伺ヒタイ

○入江政府委員 此公益ヲ害シ、又ハ害スルト云フコトハ、大體私共ノ方デハ、第三條ノ統制命令ニ反スル場合ト云フヤウナコトヲ想像致シマシテ、規定ヲ致シタ次第デゴザイマス

○加藤委員 第三條ノ統制ニ從ハナイト云フヤウナモノヲ公益ヲ害スルト斯ウ今仰シヤッタヤウニ承リマシタガ、ソレ以外ハアリマセヌカ、例ヘバ繭ノ格付等ガ、將來出來ルト致シマスレバ、サウ云フヤウナ格付ニ依ッテ取引ヲスルノガ本當デアアルニモ拘ラズ、ソレヲ製絲家ガ胡麻化シテ、サウシテ格付ヲ無視シテ取引スルト云フヤウナ場合ガナイトモ限ラス、或ハ又繭ノ仕入等ニ於テ不當ナル繭ノ取引ヲシナイトモ限ラス、

又繭代金等ヲ拂フモノヲ拂ハヌトカ、或ハ其清算取引ノ濫用等ヲヤッテ、サウシテ絲價ヲ賣崩スト云フヤウナ、サウ云フモノニ付テノコトハ別ニ當局トシテ御考ヘニナッテ居ラナイノデアリマスカ

○入江政府委員 今御話ノ格付取引ト云フヤウナ問題ガ、將來施行サレルト致シマスレバ、ヤハリ此第三條ノ統制上ノ問題ガ、出テ來ルダラウト思フノデアリマシテ、御話ノヤウナ全般的ニ行ハレテ居リマスルモノニ對シテ、反則者ガアッタト云フヤウナコトニ付テハ、御説ノ如ク公益ヲ害スルト、斯ウ認メテ居ルノデアリマス、隨テ此一部分ノ、一工場ノ工場主ガ何ト申シマスカ、使用人ニ對シテ賃金ヲ支拂ハナイト云フヤウナ點ニナリマス、是ハ公益ヲ害スルト云フコトハ言ヘナイノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマシテ、大體此三條ノ統制命令ニ反スルモノト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○青木委員 先程局長ハ第三條ノ統制上必要云々ノ簡條ニ對シテハ、傳家ノ寶刀トシテ萬一ノ場合ニ備ヘルモノデアアル、之ニ依ッテ蠶絲業ノ統制、指揮ト云フコトヲ根本方針トシテ示サレタモノデアラウト思ハレマスガ、施行規則ニハ別ニ何等ノ規定ヲ設ケ

ナイコト、云フ御説明デアッタノデアリマス、其三條ニ對應シテ第五條ノ公益ヲ害スル云々ト云フ此項ヲ茲ニ含マシテ居ルト云フ御説明ハ、少シク矛盾ニ陥リハセヌカト思フ、意味ハ或ハサウカモ知レナイガ、然ラバ施行規則ニ於テ統制上必要ナル場合ヲ御規定ニナッテ置カナケレバ、當業者ハ圖ラザル陷穽ニ陥レラレルト云フ憂ガアルノデアリマス、而シテ此私ガ解釋スル蠶絲業ノ脈絡アル統制指揮ノ下ニ、蠶絲業ヲ統制スルノゴト云フ建前デアアルナラバ、ヤハリ第三條ハ非常重大ナル事項トシテ、施行規則ニ於テ十分其内容ヲ規定シテ置カナケレバ相成ラヌト思フ、サウデナケレバ第三條ハ今日ノ場合ニ於テハ、甚ダ危険ナル規定ト思ハナケレバナラス、時ノ主務大臣ガ蠶絲業ニ向ッテ干涉壓迫ヲ加ヘル所ノ利器トシテ、是ガ傳家ノ寶刀トシテ扱ハレテ居ルト云フ風ニナルト、當業者ハ非常ニ不安ヲ懷カザルト得ナイノデアリマス、故ニ此第三條ノ統制上必要ナル事項ト云フコト、第五條ノ公益ヲ害スル云々ト云フコト、ノ關係ヲ、ドウ云フ風ニ結ンデ來ルカト云フト、私ノ解釋ハ此統制指揮ト云フヤウナ大キナ目的ノ爲ニ、此條項ヲ置イタモノデアナイト云フコトニ解釋サレルノデアリマスガ、其

關係ヲ今少シク御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○入江政府委員 私ノ説明ガ足りナカッタノデアリマスガ、決シテ是ハ時ノ當局者ガ、勝手ナ真似ヲシ得ルト云フ統制ト云フコト

デハアリマセヌデ、ヤハリ蠶絲業全般ノ利益ノ爲ニハ——一部ノ者ノ爲ニ、全般ノ利益ヲ害スルト云フヤウナモノガアリハシナイカ、先程申シマシタヤウニ、成べく統制

ノ事柄ハ、任意的、紳士的ニ之ヲヤル方ガ現代ノ狀態ニ即シマシテ、宜イノデハナイカト考ヘルノデアリマスガ、御承知ノ如クニ、先般生絲ガ非常ニ下ッテ參ルト云フヤウ

ナ時ニ於キマシテ、或ハ斯ウ云フ風ナ非常ニ時ニ於キマシテ、蠶絲業全體ノ利益ノ爲ニ何等カノ統制、或ハ生産制限ト云フヤウナ問題ガ出テ來ルノデハナイカ、斯ウ云フ趣

旨デ無暗矢鱈ニサウヤルベキモノデハナイト云フコトヲ、實ハ申上ゲタノデアリマ

スガ、サウ云フ意味デ私共ノ方ハ、寧ろ全般ノ利益カラ考ヘテヤラナケレバナラヌト云フ場合ニ、勿論是ハ稀ナル時ニ實行スベキ

モノデアアル、斯ウ考ヘテ居リマス、同時ニ又罰則ノ方ノコトニナルノデアリマスガ、

是モ今申上ゲタヤウナ、全般ノ利害ニ反スルヤウナモノガアルト云フ場合デアリマシ

テ、極ク稀ナ場合ト考ヘマスノデ、私ハ今施行細則ヲ設ケマセヌデモ、其必要ノ場合ニ於キマシテ、此規定ヲ置イテ差支ナイノ

○加藤委員 先刻公益ノコトニ付テ二三ノ具體的ノ例ヲ申上ゲタノニ對シテ、政府委員ハ工男工女ノ賃銀未拂等ハ公益ヲ紊スモ

ノト看做サヌト云フ御話デアリマシタガ、實ハ連年ノ不況ノ爲ニ我國ノ有數ナル大製

絲家ニシテ賃銀未拂ノ者ガ中々多イノデア

ル、ソレガ爲ニ今日景氣ガ回復致シ製絲家ガ工男工女ヲ雇ハントシテモ其工男工女ハ

工場主ノヤリ方ノ惡辣ナノニ憤慨シテ居ルノデ、其雇傭ニ應ズル者ガ尠イト云フ新聞

記事ガ、ツヒ數日前ニ出テ居リマシタ、現ニ新潟縣ノ如キハ何萬ト云フ工男工女ガ居

リマシテ、長野其他ノ縣ニ出稼ヲヤッテ居ルノデアリマスガ、其賃銀未拂ノ爲ニ非常ナ

苦境ニ陥ッテ居ル者ガ多イノデアリマス、サウ云フモノハ本法トシテハ公益ヲ害スルモノト見ズ、全然顧ミナイト云フノデアリ

居リマス、併ナガラ之ヲ部分的ニ考ヘマス

ト、賃銀支拂ヲシナイ一工場ト云フ點カラ考ヘマスナラバ、公益ヲ害スルコトニ這

入ラスノデヤナイカト思ヒマス、唯是ガ全國的ニ影響ヲ及ボスコトニナルト、御話ノ

通リニナルモノト存ジマスガ、私ノ方デハ第六條ニ於テ大體製絲業者ノ取締ヲシタイ

ト云フ考テ、賃銀等ノ點ニ付テハ持ッテ居リマス

○加藤委員 賃銀不拂等ニ關シテハ第六條ニ依ッテ取締リタイト斯ウ云フ御話ノヤウ

ニ伺ヒマシタガ、ソレハ間違アリマセヌカ

○入江政府委員 サウデゴザイマス

○加藤委員 第六條ハ「主務大臣又地方長官取締上必要アリト認ムルトキハ製絲業者ニ對シ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、工場、倉庫

○入江政府委員 其點ニ付キマシテハ、例

ヘバ賃銀ノ支拂ヲシナイ、サウシテ休業、廢業ヲスル、製絲業者ガ金融上ノ關係デ一

時賃銀ガ拂ヘナカッタ、斯ウ云フ場合ニ直グ之ヲ取締ルコトモドウカト考ヘマスノデ、

ヤハリ五條ノ方ニ引掛カリマシテ、其爲ニ相當ノ期間休ンデシマッタト云フ時ニハ、五條關係デ罰則ヲ附ケテアリマス

○加藤委員 サウスルト五條ノ關係デ取締ルト云フ御話デアリマスガ、其時ニハ公益ヲ害スルト斯ウ云フ意味デ取締ルコトニナ

ルノデアリマスカ

○入江政府委員 モウ少シ詳シク申上ゲマ

スト、賃銀支拂ト云フ點ニナリマス、工場法ノ方ニ罰則ガアリマス、此六條ノ方ノ關係カラ五條ニ關係ヲ持ッテ來ルト申シマ

シタノハ、サウ云フ場合モアルダラウ、唯今申シマシヤウニ此法律ノ點カラ參リマシテ、賃銀ヲ一時支拂ヘナカッタラ、直ニ罰スルト云フ取締規定ヲ設ケルコトハ、ドウカト考ヘマスノデ、其點ハ主トシテ工場法ノ規定ノ方ニ讓リタイト思ッテ居リマス

工女ノ泣イテ居ル者ガ中々多イニモ拘ラズ、其儘ニ放任サレテ居ル者モ尠クナイ、謂ハ、泣寝入ルト云フヤウナ者ガ多イカラ、特ニ是等ノ者ノ爲ニ、何等カノ取締方法ヲ講ズル必要ガ、アラウト思フノデアリマス、實際ニ於テ今御話ノヤウニ營業上ノ關係ガアツテ、氣ノ毒ナガラ拂フコトガ出来ナイヤウナモノハ、工場主其者ニ對シテモ同情スベキ點モアリマスガ、中ニハ拂ヘル力ガアツテ、唯自分ガ工場ヲ潰シテ逃ゲヨウト云フヤウナ惡イ考カラ、拂フモノモ拂ハヌデ、多クノ工女ヲ泣カス實例ヲ聞イテ居ル、而カモ工場法ガアツテモ、ソレニ何等ノ働キヲシテ居ラナイ、デアリマスカラ茲ニ本法案ヲ制定セラル、ニ當リ、斯様ナ者ヲ公益ヲ害スル者トシテ、取締ヲセラルル御考デアアルカドウカト思フテ伺ヒマシタ所、夫レハ工場法デ取締ル、工場法デ取締ノ出来ナイモノハ第五條ニ依ツテ、何等カノ取締ヲスルト云フコトデアリマスガ、此他ニ何モゴザイマセヌカ

モノハ、解釋上這入り得ナイノヂヤナイカ、斯ウ云フコトヲ申上ゲマシタ、賃銀未拂ノ場合ハドウスルカト云フコトカラ申上ゲタノデス、經濟上其實アリヤ否ヤト云フコトヲ調査致シマス當該官吏ガ、其事務所、營業所等ニ參リ、其實情ヲ十分調査シテ、此五條ニ依リマシテ、製絲業者ノ所爲ニシテ本法ニ基キテ發スル命令云々、此命令デ相當ノ期間内ニ賃銀ヲ拂フヤウニシロトカ、何トカ云フ命令ヲ發シマス、其命令ニ反スルト、今申上ゲタヤウナ取消ヲ命ズルコトモ出来マシ、制限モ出来ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

○武田委員 今加藤君ト蠶絲局長ノ質問應答ヲ伺ツテ、私共ドウモ變ニ思フノデスガ、一體賃銀ノ未拂ヲ蠶絲業法ニ於テ取締ルト云フ事柄ハ、蠶絲業法ノ目的ニ適フモノデナイト思フ、吾々ノ同志ヨリモ蠶絲業法ヲ提案シテ居リマスノデ、何レ明朝ニモ吾々ノ提案ノ理由ヲ詳シク申上ゲテ、皆様ノ御協賛ヲ願ヒタイト思フテ居ルノデアリマシガ、一體賃銀ノ未拂ト云フヤウナコトハ、社會問題トシテハ重大ナコトニハ相違ナイ、併ナガラ是ハ獨リ蠶絲業ノミナラズ、他ノ工場ニ於テ往々ニシテアルコトデアリ、詰リ是ハ一種ノ債權デアルノデアリマシテ、民事上ノ問題デアルカラ、之ヲ直チニ支拂ハナイデ工女ニ迷惑ヲ掛ケタカラト言ウテ、是等ヲ蠶絲業法デ取締ルベキ性質ノモノデハナカラウト思フ、之ヲ第五條、第六條ト關聯シテ取締ルト云フガ如キ蠶絲局長ノ御答辯ガ、ドウモ分ラナイ、私ハ斯ウ云フ風ニ解釋シテ居ル、例ヘバ自分ガ資金ガナクテ支拂フコトガ出来ヌ、是ハ已ムヲ得ナイノデハナイカ、之ヲ以テ刑事問題ニハナラナイト思フ、併ナガラ自分ガ拂ハヌヤウニ、自分一人デハイカヌカラ、他ノ工場モ誘ツテ自分ノ私意ヲ逞シウスルト云フコトニナレバ、初メテ公益ヲ害スルト云フコトニナリマセウケレドモ、自分ガ資力ガナイ爲ニ、直チニ免許ヲ取消ストカ、制裁ヲ加ヘルト云フコトハ、アリ得ナイト思ヒマス、例ヘバ工場法ニ於テモ、今私ハ工場法ヲ持ツテ居リマセヌカラ、ドウ云フ規定ガアルカ暗記シテ居リマセヌガ、左様ナコトハアルベキ筋合ノモノデハナカラウト思フ、今申上通りニ、自分ノ惡イコトヲ掩ハシガ爲ニ他ノ者モ誘ツテ、一般ノ人ニ迷惑ヲ掛ケヨウト云フヤウナ惡意ヲ以テ、誘惑シタ事實ガアルナラバ、是ハ公益ヲ害スルト云フコトニナルデアリマセウケレドモ、ドウモ唯賃銀ヲ拂ハナカッタ爲ニ、何日迄ニ賃

銀ヲ支拂フベシト云フ命令ヲ發スル、其命令ニ從ハナケレバ、命令ニ反スルモノトシテ、之ヲ公益ヲ害スルモノトシテ處斷スルト云フコトハ、蠶絲業法ノ立法ノ精神上アリ得ナイヤウニ思フ、私ハ是ハ如何ニモ變ナコトノヤウニ思フノデアリマスガ、ドウ云フ譯デアリマセウカ

○入江政府委員 私ノ申上ゲタノハ、何か言ヒ足リナイ點ガアツタヤウニ考ヘマス、私ガ初メニハッキリ斯ウ申上ゲレバ宜カッタノデアリマス、公益ヲ害スル虞ガアルモノ、中ニハ、賃銀ノ不拂ト云フコトハ入ラナイト云フコトヲ、初メニ申上ゲテ居リマス、ソコデ加藤サンカラ御尋ガゴザイマシテ、サウ云フ工場ニ於キマシテ、賃銀ヲ拂ハナイト云フヤウナモノガ往々頻繁ニアル、例ヘバ加藤サンノ仰セニナリマシタノハ、長野縣邊リノ例ヲ仰セニナルノデアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ場合ニドウスルカト云フ御話ガアリマシタノデ、是ハ先ヅ工場法ニ依ツテ取締スベキモノデアアル、斯ウ申シマシタ、サウシテ私共ノ方ノ立法ノ精神カラ參リマシテ、ソレガ爲ニ工場ガ或ハ營業スル能ハザルヤウナ状態ニナリマス、サウ云フ實情ヲ許シマセヌカラ、調ベテ見マシテ賃銀不拂ト云フ點

バカリデハナイガ、各種ノ點カラ考ヘマシテ、洵ニ不都合デアルト云フコトヲ考ヘマスト、其時ニ初メテ第五條ヲ適用シテ、茲ニ命令ナリ處分ナリスル、或ハ違反ヲシタ者ガアリマスレバ、公益ヲ害スルモノト云フ規定ガ適用サレルノデハナイカト思ヒマス、色々ナ點カラ混同スルヤウニナリマシタガ、斯ウ申上ゲル趣旨デアッタノデアリマス

式會社、株式合資會社、産業組合匿名組合或ハ財團法人ト云フ具合色々經營組織ガ區別セラレテ居ルガ、是マデニ於テ政府デ御調査ノ結果ハ如何ナル經營組織ガ一番良イモノト認メテ御イデニナルカ、更ニ一番良イト御考ノモノヲ將來大ニ發展セシメヨウト云フ御考デアルカドウカ、斯ウ云フコトモ將來ノ製絲業經營ニ付テ必要ナコト、考ヘマスガ故ニ御伺ヲ申上ゲテ見タイ

於テモ個人關係ノモノデ最モ堅實ニオヤリニナッテ居ル方モアル、又一面ニ於テ會社ニ於テモ良イモノモアリ、惡イモノモアリマス、斯ウ云フ實情デアリマスノデ、今御話ノ點ニ付キマシテハ、當局トシテハドレガ一番良イカト云フコトハ、一寸申上兼セルヤウナ次第デアリマス

マス、五十位シカアリマセヌ、サウシテ其實情ハドウデアアルカト申シマス、餘リ良クナイト云フ現狀デアリマス、併シ是ハ要スル色々ナ點ニ於テマダ改良スベキ點ガアルノデハナカテウカ、實ハ大シタ澤山ノ工場デハゴザイマセヌガ、或ル數ノ工場ニ付キマシテ當局ガ實態調査ヲ致シマシテ、ソレニ依リマス、矢張産業組合ノ方ガ色々利益ガアルニモ拘ハリマセズ、經營費ト云フモノハ可成リ掛ッテ居ル、例ヘバ利息ノ點ト云フコトニ付キマシテハ、産業組合ハ自然低利ナ金ヲ借入レラレルト云フノデ、非常ニ有利ナノデアリマス、併シ其工女ノ賃銀デアリマス、カ云フヤウナモノニナリマス、産業組合ノ方ガ高イト云フ風ニナッテ居リマシテ、一方ノ經營上ニ付テハ、營業製絲ニ劣ル所ガアルノデハナカラウカ、斯ウ云フヤウナコトカラ、勿論一樣ニハ申上ゲラレマセヌガ、大體概シテサウ云フ風ナ程度ニアリマスノデ、此點ニ於キマシテハ是非此産業組合製絲ト云フモノニ付キマシテハ、出來ルダケ政府ト致シマシテハ、助長ヲシテ發達ヲ獎勵シタイ、例ヘバ産業組合ノ指導獎勵員ト云フヤウナモノニ致シマシテモ、政府ニ於キマシテ相當養成ヲ致シマシテ、サウシテ立派ナ人が其

○加藤委員 私モ強ヒテ賃銀ノ不拂ガ公益ヲ害スルト主張シタ譯デハアリマセヌ、唯此事ニ付キマシテ偶々近年サウ云フヤウナ實情ガアリマスカラ、ソコデ本法制定ナルニ付テ、サウ云フヤウナコトニ付テドウ云フ風ニ御研究ガ出來タカ、又工場法デモ巧ク取締ルコトガ出來ナイ、本法デモ取締ルコトガ出來ナイト云フナラバ、何等カ他ノ方法ニ於テ之ヲ取締ルヤウナ御考ハナイカ、斯ウ云フコトヲ唯念ノ爲ニ伺ヒタマデニ過ギナイノデアリマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス、法文ニ付テノ私ノ質問ハ大臣ノ御臨席ヲ御願シタ上ニ十分ニ致シタイト考ヘマスガ、更ニ序デニ政府委員ノ御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ如ク器械製絲工場ノ企業組織ニハ個人ノ經營、合名會社、經營スルモノ、合資會社、株

○入江政府委員 御尋ノ點ニ付キマシテハ、的確ニ之ヲ一概ニドレガ良イト云フコトヲ申兼セルノデアリマスガ、大體其數量ノ點カラ申上ゲテ見タナラバ、御參考ニナルト思ヒマス、個人經營、合名會社、合資會社、株式會社ト云フモノ、器械製絲工場ガドウ云フ割合デアアルカト申シマス、昭和六年ニ於テハ個人ノ工場數ガ千八百七十、合名會社ハ六十七、合資會社ハ二百八十七、株式會社ガ四百九ト云フコトニナッテ居リマス、ソコデ實ハ此免許制度ヲ布カント致シマス時ニ、或ハ會社ニスベキカ個人トスベキカト云フコトニ付テ、局トシテハ非常ニ此點ヲ研究シタノデアリマス、所ガ或ハ法人組織ノ方ガ堅實デナカラウカト云フヤウナ調査ヲシテ見タノデアリマスガ、一概ニサウモ言ヘマセヌノデ、現在ニ

於テモ個人關係ノモノデ最モ堅實ニオヤリニナッテ居ル方モアル、又一面ニ於テ會社ニ於テモ良イモノモアリ、惡イモノモアリマス、斯ウ云フ實情デアリマスノデ、今御話ノ點ニ付キマシテハ、當局トシテハドレガ一番良イカト云フコトハ、一寸申上兼セルヤウナ次第デアリマス

於テモ個人關係ノモノデ最モ堅實ニオヤリニナッテ居ル方モアル、又一面ニ於テ會社ニ於テモ良イモノモアリ、惡イモノモアリマス、斯ウ云フ實情デアリマスノデ、今御話ノ點ニ付キマシテハ、當局トシテハドレガ一番良イカト云フコトハ、一寸申上兼セルヤウナ次第デアリマス

○加藤委員 是等ノ經營組織ニ付テドレガ良イトカ惡イト云フコトハ、殆ド區別ハ出來ナイト云フ御話デアリマスガ、此中ニ産業組合ト云フモノデ經營シテ居ルモノガ、四百アル譯デアリマス、是ハ將來益、發展セシメナケレバナラヌモノト吾々ハ考ヘテ居リマスガ、只今政府當局ノ御説明カラ言フト、ドレモ是同ジヤウニ考ヘテ居ラシヤイマスガ、此點ニ付テ特ニ御意見ノアル所ヲ承ッテ見タイト思ヒマス

○入江政府委員 御尋ノ趣旨ハ斯ウデハナカラウカト推察致シマスガ、産業組合ト今ノ産業組合以外ノモノトノ關係ハドウナッテ居ルデアラウカト云フコトヲ、私考ヘルノデアリマスガ、今ノ現狀ニ於キマシテハ産業組合製絲ト云フモノハ、餘リ發達致シテ居リマセヌ現狀デアリマス、隨テ只今大體産業組合ノ製絲ハ四百六十バカリニナッテ居リマスガ、百五十釜以上ノモノニナリ

於テモ個人關係ノモノデ最モ堅實ニオヤリニナッテ居ル方モアル、又一面ニ於テ會社ニ於テモ良イモノモアリ、惡イモノモアリマス、斯ウ云フ實情デアリマスノデ、今御話ノ點ニ付キマシテハ、當局トシテハドレガ一番良イカト云フコトハ、一寸申上兼セルヤウナ次第デアリマス

於テモ個人關係ノモノデ最モ堅實ニオヤリニナッテ居ル方モアル、又一面ニ於テ會社ニ於テモ良イモノモアリ、惡イモノモアリマス、斯ウ云フ實情デアリマスノデ、今御話ノ點ニ付キマシテハ、當局トシテハドレガ一番良イカト云フコトハ、一寸申上兼セルヤウナ次第デアリマス

任ニ當ルヤウニ、或ハ技術ニ對スル獎勵金ヲ出スナリ、或ハ其施設ニ對シテモ相當ナ獎勵金ヲ出ス、斯ウ云フヤウナコトモ一面ニ於テ獎勵シテ行キタイ、只今ノ御尋ノ要點カラ申シマス、産業組合ガ一番劣ッテ居ルノデハナカラウカ、斯ウ云フコトヲ概括的ニ、只今當局トシテハ考ヘテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 政府當局ノ産業組合製絲ト云フモノヲ將來大ニ發達セシムルト云フ御考ハ無論オアリノコトト思フノデアリマシテ、ドノ位ノ程度ニ迄之ヲ發達セシメヨウト云フ御考ガアルカ、其邊モ一寸參考ノ爲ニ伺ッテ置キタイ

○入江政府委員 先程モ實ハ町村位ヲ單位ニシテ、組合製絲ノ獎勵ナリ何ナリナスル考ガアルヤト云フ御質問ガアッタノデアリマスガ、私共ノ考ト致シマシテハ、出來マヌナラバ此産業組合製絲ト云フモノヲ、出來ルダケ發達セシメテ行キタイ、極言致シマスナラバ、繭ト云フモノガ原料デアアル、モット進ンデ絲ガ原料デアアル、斯ウ云フ風ニ絲迄ガ農家ノ生産品デアルト云フ位ノ程度ニ行クノガ、宜イデハナカラウカ、是ハ大體ノコトデアリマスガ、サウ云フコトヲ言ッテモ、矢張此製絲業ノ發達ニハ、現

在ノ營業製絲ト云フモノヲ度外視スルコトハ絕對ニ出來ナイノデアリマス、矢張營業製絲ト組合製絲ト云フモノハ、竝ンデ發達セシムベキモノト考ヘテ居リマス、ノミナラズ尙ホ地方ノ狀況ニ依リマシテ、營業製絲ニ依ルベキモノ、或ハ又組合製絲ニ依ルベキモノ、色々地方ノ事情々々ニ依ッテ餘程違ッテ居リマスノデ、之ヲ極端ニ一方バカリヤル譯ニハ行カナイノデアリマスガ、併シ今ノ産業組合ト云フ現狀カラ推シマス、今ハマダ發達ノ道程ニアルノデハナカラウカ、斯ウ云フ趣旨カラ致シマシテ、成ルベク一ツモウ少シ普及ヲシテ行クヤウニシタラドウカト云フ考ヲ持ッテ居リマス、隨テドノ程度迄行クベキモノナリヤト云フコトニ付キマシテハ、的確ニ申上ダ兼ネルノデアリマシテ、出來得マヌダケ獎勵シテ行キタイ、即チ營業製絲ト竝ンデ、一ツ施設計畫ヲ進メテ行キタイト云フ考ヲ、持ッテ居リマス

○加藤委員 政府ノ御考ハ洵ニ御尤モ至極ト考ヘルノデアリマスガ、ソコデ産業組合製絲ニ於テハ特殊事情ニ於テハ百釜ヲ認メテモ宜シイト、施行細則ニモアルノデアリマス、不景氣時代ニ在リテハ、百釜ト云フコトガ中々容易ナコトデハナイト思フノデ

アリマス、デアリマスカラ百釜ノモノヲ五十釜位迄ニ之ヲ下ゲテヤルト云フコトガ、製絲業ノ發達ヲ圖ル最大ノ捷徑ナリト思フノデアリマス、然ルニ之ヲ百釜トセラレタ理由ハ、一體ドウ云フ譯デアリマスカ

○入江政府委員 是ハ矢張經營上ノ問題カラ、私ハ考ヘナクレバナラヌノデハナイカ、必ズシモ産業組合デアアルカラ、五十デ宜イト云フヤウナコトニモ參ラヌノデハナカラウカト思フ、矢張經營上ニ於テ、相當ノ安キ生産費ヲ以テ上ゲ得ル、サウシテ良イ製品ヲ造ル、斯ウ參リマスナラバ、實ハ私ハ其點ニ於キマシテハ、營業製絲モ、組合製絲モ變リハナイノデハナカラウカト思ヒマス、私共間違ッテ居ルカ知レマセヌガ、私ハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、唯其事情ガ違フト申上ゲマシタノハ産業組合ト云フ一種ノ限ラレタル組合員カラ成立ッテ居リマス關係カラ致シマシテ、其繭ヲ供給スルト云フ點ニ付キマシテ、營業製絲ト大分違フノデハナカラウカ、斯ウ云フ點カラ考ヘルナラバ、其點ニ於キマシテ多少營業製絲ト區別ヲシテモ宜イノデハナカラウカ、此點ニ付キマシテハ、私共實ハ餘リ此繭ニ付テ深クナイ關係カラ致シマシテ、組合製絲ノ方々ニ實ハ御伺ヲシタノデアリマ

スガ、大體組合製絲ノ聯合會ノ方々ノ意見ト致シマシテ、營業製絲ト五十位ノ差ガアレバ、差支ヘナイ、實ハ斯ウ云フ御回答モアッタヤウナ次第デ、サウ云フ點ヲ參酌致シマシテ、ノミナラズ此經營上ノ點カラ考ヘマシテ矢張百位ガ相當ニ非ズヤ、斯ウ考ヘタ次第デアリマス

○加藤委員 此施行細則ノ第二項ニ産業組合製絲ニ於テハ特別ノ事情アル場合ニ限り其釜數ハ百釜迄認ムルト云フコトニナッテ居リマスガ、此特別ノ事情ト云フコトハドウ云フ風ナコトヲ指シテ言フノデアリマセウカ、而シテ當リ前ナラバ百五十釜ニシナクレバナラヌノデアアルガ、特別ノ事情ノアル者ハ百釜デモ良イト云フコトニ、此特別ノ事情ト云フモノニハ、何カ重大ノ事情ノヤウニ考ヘラレマスガ、其點ヲ一寸伺ッテ置キタイ

○入江政府委員 實ハ是ハ未定稿デアリマシテ、大體私ガ申上ゲタル趣旨ニ御解釋願ヒマシテ、此特別ト云フ字ハ取ッテモ宜イト思ヒマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○加藤委員 能ク分リマシタ、私ノ質問ハ一先ゾ是デ打切りマシテ、更ニ大臣ニ付テ御尋致シタイト考ヘマス

○近藤委員 私ハヤハリ大臣ノ御出席ノ際

ニ、此法案其モノニ付テノ根本ヲ、御尋シ
タカッタノデアリマス、仔細ナ事柄ニ於キマ
シテハ、既ニ青木サン、加藤サン、百瀬サン

ノカト云フコトヲ、先以テ御尋シタイト思
ヒマス

準ト記憶シテ居リマス、此處ヘハ持ッテ來テ
居リマセスガ、サウ云フ風ナコトニナッテ

ル答申ハ、組合カラノ答申デアルカラ確實
ナモノデアアル、ソレヲ柄ニスレバ何等誤リ

其他先輩諸君ガ御尋ニナリマシテ、既ニ私
ガ御尋セント思フ所ヲ御尋下サッタノデア
リマスケレドモ、尙ホ聊カ繰返ヘスヤウニ

○入江政府委員 只今ノ御尋ノ點ニ付キマ
シテハ、十分此中央ノ團體、又ハ今御話ニ

以上、蠶業組合製絲ニ於テ適當ニ之ヲ定ム
ルコトト云フ風ナ御答申ガ、出テ居リマ

モ、祖先ト云フト長イデアリマスガ、此蠶
絲業ガ創マッテカラ、モウ私共ノ土地ナドデ

ナル點ガアルカモ存ジマセスガ、御尋シタ
イノデアリマス、ソレハ第一ニ此案ヲ政府

テ置キマスガ、此問題ハ實ハ今始マッタモ
ノデゴザイマセヌノデ、既ニ蠶絲局ト致シ

ガアリ、或ハ全國蠶業組合ノ製絲業聯合會
ノ御意見デアルトカト云フ點ヲ、實ハ斟酌

ハ、三代モ四代モ續ケテ二十釜、三十釜デ
ヤッテ居ル者モゴザイマス、是等ハ研究ニ研

ガ提案セラル、ニ際シマシテ、モウ既ニ長
イ間、此蠶絲統制ト云フコトモ唱ヘラレテ

マシテハ、モウ二三年——數年前カラ此問
題ノ研究ヲ致シテ居リマシテ、隨テ其時分

趣旨デ、此案ヲ私共ハ法律的技術的ニ作上
ゲタト御承知ニナレバ、宜シイト思ヒマス

ト云フコトモアルノデアリマスカラ、サウ
云フ人カラノ意見モ一面ニハ取ラネバナラ

居ッタノデアリマスルカラ、研究ニ研究、調
査ニ調査ヲ遂ゲラレタト云フコトハ承知致

デアリマスルガ、サウ云フ風ナ方面カラ致
シマシテモ、是非此製絲業ニ對シテハ、免

○近藤委員 只今私ガ伺ヒマシタコトハ、
ソレデ能ク分リマシタガ、ソレハ多クハ中

テ居ッテハ行カナイカラト云フノデ、細カイ
製絲家ノ意見ヲモ私ハ取ッテ見タノデアリ

シテ居リマスガ、其調査及各中央蠶絲組合
トカト云フモノニ對シテ、ソレゾレ諮問ニ

許制度ヲ布クヤウニト云フ、斯ウ云フヤウ
ナ御希望等モ頻繁ニアッタノデゴザイマス、

合ダトカト云フモノカラ取リマス、組合
長ダトカ幹部ダトカト云フモノハ、五十釜、

シマス、ソレヲ此處デザックバラニ俗ニ申
シマス、大キナ製絲家ト小サイ細カイ製

モナッテ居ルコトデアルト思フノデアリマ
ス、其諮問ニ對シテ、又政府ニ是等ノ地方

隨テ是ハ確カ一昨年ト存ジマスガ、此問題
ニ付キマシテ、農林審議會等ガアリマシタ

三十釜ノ製絲デハナクシテ、五百釜、三百
釜ト云フ製絲組合長トカ、或ハ組合ノ中ノ

製絲家ハハッキリシタコトヲ言ハナイ、一々
陰ニ廻ッテ細カイ製絲家ノ方ニ内容ヲ聞イ

地方ニ依、テ狀況ガ異、テ居リマスルカラ、
其狀況ノ異、タル點ナドハ、諮問ニ對シテ答

當時ニ於キマシテモ、此問題ニ付テ是ハ勿
論諮問ニ對スル答申ニハマダナッテ居リマ

三百釜、五百釜ノ製絲家ガアルノニ、二十
釜ヤ三十釜ノ人が役員ニナレサウナコトガ

テ見ルト、實ハアレデハ困リマスト泣言ヲ
言フ人多クアルノデアリマス、ソレデア

ヘラレテ居ルコトデアラウト思ヒマス、ソ
レ等ヲ御斟酌ノ結果ガ、茲ニ初メテ提案サ

セヌガ、斯ウ云フ風ナモノモ論ジラレマシ
テ、當局カラ説明ヲシテ居ル次第デアリマ

ナイノガ、先ヅ日本ノ大抵ノ組合ヲ眺メマ
スト、通例デアリマス、其大キナル人ノ所

陰ニ廻ッテ細カイ製絲家ノ方ニ内容ヲ聞イ
テ見ルト、實ハアレデハ困リマスト泣言ヲ

レタコト、存ジマス、ソレ等ノ當業者ノ各
組合ノ諮問ニ答ヘタ所ヲ多ク參酌ナサレ

デアリマスル同業組合デアリマスル時ニ於
キマシテモ、答申ガ出テ居リマシテ、其答

申ノ内容ハ大體營業製絲ニハ二百釜、ソレ
カラ組合製絲ハ大體百五十釜ト云フ風ナ標

テ見ルト、實ハアレデハ困リマスト泣言ヲ
言フ人多クアルノデアリマス、ソレデア

テ、是ハ御提案ナサッタモノカ、政府當局ガ
特ニ此案ヲ斯様ニシタ方が宜シイト云フノ

デ、諮問ニ對シテノ答申ハ御取リニナッテ
モ、ソレ等ニハ顧慮セズニ提案ニナッタモ

合ノ總會ノ決議ヲ以テ來ルデアリマセウケ
レドモ、政府ニ於カレテハ成程諮問ニ對ス

言フ人多クアルノデアリマス、ソレデア
リマスカラ政府ハ是等モ御斟酌ナサッテ、御

モ、ソレ等ニハ顧慮セズニ提案ニナッタモ
カ、組合製絲ハ大體百五十釜ト云フ風ナ標

レドモ、政府ニ於カレテハ成程諮問ニ對ス
ル答申ハ、組合カラノ答申デアルカラ確實

ナモノデアアル、ソレヲ柄ニスレバ何等誤リ
ハナイト言ッテ差支ハアリマスマイケレド

出シニナッタカ、ソレ等ハ調査ナサラヌヤウ
ナ答ハアリマスマイケレドモ、御調査ノ

アッタコトトハ信ジマスケレドモ、念ノ爲ニ一寸伺ヒマス

○入江政府委員 御尤ナ御尋ノ點デゴザイマシテ、實ハ此點ニ付キマシテ當局者ト致シマシテハ、最モ深く考慮ヲ致シタノデゴザイマス、世ノ中ニ此免許制度ナルモノハ、大製絲家ノ保護デアアル、斯ウ云フ風ナコトヲヤハリ一面ニ私共耳ニ致シテ居リマス、私共ハ地方ノ製絲工場ノ方々ニハ、何同トナク御目ニ懸テ居リマシテ、私共東京ニ居リ、常ニ陳情等ヲ受ケテ居リマシテ、其方々ノ御意見ノ在ル所モ、十分尊重致シマシテ、實ハ茲ニ立案ヲ致シタ次第デ、隨テ小サナ製絲工場ニ對シテハ、出來マスルダケ施設改善等ニ付テ、政府ガ相當ノ助長行政ノ方面カラ獎勵指導シテ行キタイ、サウ云フコトヲ立法スルニ當リマシテ、深ク考ヘテ居リマスコトデ、隨テ實ハ御答申ニアリマスモノニ於キマシテ二百釜以上、或ハ産業組合ハ百五十釜以上ニナッテ居リマス、或ハ資本金五十萬圓以上ト斯ウナッテ居リマス、今御話ノヤウナ點ガ、多々アルデハナイカ、斯ウ云フコトヲ考慮致シマシテ、サウ云フ點ニ付テモ多少私共調ベマシタ所ニ依リマシテ、釜數ニ於テハ百五十、組合製絲ニ於テハ三百、而モ亦其中ニ於キ

マシテ、小製絲工場ノ施設改善ト云フコトヲ、十年間ニ助長シテ行キタイ、尙又先程申上ゲマシタガ、其中デ地遺専門ニ對シテハ、唯今其釜數ニ付テ研究致シテ居リマスカラ、ハッキリ申上ゲラレマセヌガ、私ノ考ダケテ申上ゲマス、大體五十釜位ノモノヲ標準ニシテ、ソレ以内ノモノナラバ、地遺専門ト云フ宜イデハナイカト考ヘテ居

リマス、サウ云フ風ニ一方ニ於テ助長改善ヲ圖リ、一方ニ於テ尙ホソレデモ出來ナイト云フ者ニ對シテハ、施行細則ニ於テ考慮シタイ、サウシテ現狀ヲ改善シテ行キタイ、將來出來ルモノニ對シテハ、今申上ゲタヤウニ相當ノ取締ヲシテ行キタイト云フ考デ、立法ヲ致シテ居ル次第アリマス

○近藤委員 今ノ御説明ダケハ能ク分リマシタ、百五十釜以下ノ小製絲家ハ、十年間營業ガ出來ルト云フ緩和規定ガアルカラト云フ、御意見ノ在ル點ハ分ッテ居リマスケレドモ、尙ホ是デハ小製絲家ガ嫌ラヌ、十年立テバ商賣ガ出來ナクナルコトヲ今日カラ覺悟シナケレバナラヌ、ソレガ少數ナラバ宜シイガ、中々多數デアリマス、是ガ將來如何ニシテ立ッテ行カ、今申上ゲタ通り、是等ノ人ハ祖先ノ代カラ研究ニ研究ヲ重ネ、犧牲ニ犧牲ヲ拂ッテ、今日マデ來テ居

ル人ガ澤山アル、ソレヲ十年立ッテ止メテ刺サレルト云フコトヲ、此案ガ決議ニナレバ、覺悟シナケレバナラヌ、デアリマスカラ、是等ノ人々ガ澤山陳情ニ來テ居リマス、是非共既設製絲家モ、釜數百五十釜以下ト雖モ、十年ト云ハズ永遠ニ營業ヲ許シテ

貰ヒタイ、是カラ新タニ設備セントスル者ハ相當ノ設備モ出來ルケレドモ、現在ノ十釜、二十釜、五十釜ノ人ハ、是ダケノ設備ヲスルニハ相當資本ガ要ル、今日ノ不況時代ニ資金ハ中々得ラレナイ、親子兄弟一家ノ稼業トシテ、ソレニ若干ノ他人ヲ入レテヤッテ居ルト云フヤウナ人ガ澤山アル、ソレ等ノ者ニ、十年ト云フト永イヤウデアルケレドモ、是デ終リヲ告ゲサセルト云フコトハ、殘酷デハナイカと思フ、御調査ノ結果十年ト云フコトニ緩和ナスッテ御意思デアリマセウガ、私ハ之ヲ今日ノ社會政策ノ上カラ見テ、此問題ノ根本ヲ大臣ニ御尋シタインデアリマスガ、抑、是ハ蠶絲ノ統制ト云フコトガ根本目的デアルコトハ承知シテ居リマスガ、其爲ニ上流階級——百五十釜以上ノ大製絲家ガ非常ニ有利デ、小製絲家ハ今申上ゲルヤウナ悲慘ナ狀況ニ陥ルノミナラズ、一昨日モ本會デドナタカ御質問ニナリマシタガ、確ニ農家ハ小製絲家ニ依ッテ

助ケラレテ居ル、農家即チ養蠶家ニハ養蠶技術ニ長ケタ人ハ立派ナ繭ヲ作ル、今日デハビシヨ繭或ハ二等三等ト云フヤウナ繭ヲ作ル人ハ無イデアリマセウケレドモ、教育程度ノ低イ人ハビシヨ繭ヲ作ッたり、氣候ノ變化ニ依ッテヤリ損ッテシマウ、サウ云フ繭ヲ大製絲家へ持ッテ行ケバ、直グ蹴散カサレ

テシマウ、サウ云フ繭デモ相當繭ノ出ル繭モアリマスカラ、二十釜三十釜ノ小製絲家ハ買ヒマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、農家ヲ助ケル小製絲家ハ、農村救済ノ意味カラ云ッテモ保護シナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ社會政策上何等ノ關係無キ大製絲家ヲ助ケテ、蠶絲ノ統一々點張りテ行クト云フト、以上申上ゲタヤウナ弊害ガ生ズルノデアリマスガ、ソレデモ構ハヌト云フ御精神デアリマセウカ

○入江政府委員 私カラ申上ゲルヨリ、大臣カラ申上ゲタ方ガ適當カト思ヒマスガ、先ヅ私ノ意見ヲ申上ゲマス、唯今ノ御質問ノヤウニ私共モ考ヘテ居リマス、隨テ具體的ニ内容ヲ申上ゲマス、唯今器械製絲ガ三千六百バカリアリマスガ、其中デ百五十釜以上ノ營業製絲ハ五百二十一、組合製絲ガ五十四トッテ居リマス、アトハ大部分ガ此免許ノ標準カラ遠ッテ居リマスノデ、出

來ルダケソレ等ヲ救済シテ行キタイ、斯ウ云フ趣旨カラ致シマシテ、實ハ共同施設ノ獎勵ト致シマシテ、一方ニ於テハ僅カデアリマスガ、獎勵金ヲ取ツテ居リマス、前ノ臨時議會ニ於キマシテ、僅カデアリマシタガ獎勵金ヲ取ツテ居リマス、例ヘバ茲ニ十釜ノ者ガ十五人デ聯合シテ共同販賣所ヲ造リ、或ハ荷造場ヲ造ル、或ハ共同檢定所ヲ造ル、斯ウ云フ施設ニ對シマシテヤリマシタ場合ニハ、ソレヲ假ニ工場其モノガ十釜、二十釜デゴザイマシテモ、設備ヲ致シマスル場合ニ付テハ、將來矢張永遠ニ認メテ行カウ、尙ホソレノミナラズ私共其以外ニ先程申上ゲマシタ通り、此釜數ノ少ナイ工場ニ付キマシテハ、地遺絲ト云フヤウナ方面ニ使用サレルモノト認メマスルモノニ付キマシテハ、附則ニ於テ矢張永遠ニ認メテ行カウ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマスルノデ、其點モ長野山梨等ノ工場ノ御方々ガ御出デニナリマシテ、其時ニハッキリト、私共ノ考ヲ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、サウナレバ大體アナタ方ノ工場ハ、大丈夫デゴザイマセウカト云フコトヲ實ハ聽イタノデゴザイマスガ、大體救ハレルト云フ御話ガ、其當時アッタノデアリマス、サウ云フコトモ十分斟酌致シマシテ、一面ニ於キマシテ

ハ、現在ノ工場ノ改善ヲ圖ッテ行キタイ、社會施設ト申シマスカ、今ノ工場ノ經營組織ノ上ニ於キマシテモ、整備改良ヲ致シテ行キタイト、斯ウ云フ兩方面カラ考ヘテ、致シテ居リマスノデ、大體今ノ御心配ハ、現在ノモノニ於キマシテハ、八分通り大丈夫ダト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、唯、將來出來マスルモノニ付テハ、相當茲ニ標準規定ガ置カレマスル關係カラ、今マデノ如ク濫ニ工場ノ設備ヲスルコトガ出來ナイト云フコトニナルト存ジマス、今申上ゲマシタ現在ノモノニ付テハ、大體今申上ゲタヤウナ點ニ於キマシテ、施設ヲ改善サレ、バ、ソレハ濫ニ廢止ニナッテシマウト云フヤウナコトハ、恐ラクナイト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス

○近藤委員 此事ニ付キマシテハ、本案ヲ見タダケデハ細則ニ現ハレテ居ル所デ、緩和サレテ居ルデアラウト斯ウ思ヒマシタ、所ガ此細則ノ概要ト申シマスルモノデ、マダ細カニハッキリ決マッタ譯デハナイノデアリマスケレドモ、細則ノ内容ヲ見マスト、實ニ私ハ驚イタノデアリマス、私ノ思フノニハ細則ノ中ニ、假令百五十釜以下トハナイニ違ヒナイケレドモ、五十釜以下ノモノノ國用向トカ、輸出向ニ使ハナイ所ノ製絲

ヲ爲スモノヲ、矢張此細則概要ニアリマスル所ノ、例ノ自家用ニ付テ加藤君、青木君カラモ、百瀨サンカラモ御尋ニナリマシタガ、彼ノ自家用或ハ鐘紡等ノ例モアリマシタガ、サウ云フコトデ私ハ自家用外ノモノデモ、國用向ノモノデモ、殆ド玉絲同様に除外サレテ居ルト思ッテ居リマスシ、尙ホ聞イテモ居ッタ、所ガソレハ細則ノ概要ヲ拜見致シマスルト、サウデナイノデ實ニ驚イタノデアリマスガ、是ハ何トカ細則ヲ本法ニ決セラレルニ當リマシテハ、五十釜以内ノモノハ今申上ゲマスル十年ト云ハズ、之ヲ今日マデノ現在ノモノハ、繼續シ得ラレルヤウナ規定ニシテ申請ゲタイト云フノハ、是ハ私バカリデハナク、恐ラク全國ノ中デ愛知縣ト云ハズ、群馬縣ト云ハズ、長野縣、ソレカラマダ何處カアッタ筈デアリマス、是等ノ四縣ト云フモノガ、最モ要望シテ居ルト云フコトデアリマシテ、昨日私ハ聞キマシタガ、先程モ加藤君カラモ冬蠶地方云々ト云フ御言葉ガアリマシタガ、即チ冬蠶地方ハ私ノ所デアリマスケレドモガ、ソレハ私ノ方ノ冬蠶バカリデハナイノデアリマス、ソレハ群馬縣ト云ハズ今申上ゲタ長野縣、或ハ愛知縣ト云フヤウナ所ガアルノデアリマスカラ、能ク御考慮ニ與リタイ

ト思フノデアリマス、デアリマスカラ、是ハ尙ホ進ンデ參リマシテカラ、御尋シナケレバナラヌコトガ出來テ參リマスレバ、御尋スルコトニ致シマシテ、私ハ是デ打切りマスガ、尙ホ御尋致シタイノハ、先程モ御話ガアリマシタ座練ト云フモノガ除カレテ居ル、ソレカラ玉絲モ除カレテ居ル、此玉絲ト座練ヲ除外シタノハ、貿易ニ付テノ詰リ統制ヲ圖ルト云フ上ニ、絲ノ質ガ違フデアリマセウケレドモガ、今日デハ殆ド米國ノ貿易ニハ器械製絲ガ是マデ貿易ニナッテ居リマスケレドモ、海外ヘタントハ出マセヌデシタ、所ガ今ハ玉絲デモ出ルヤウニナッテ居ル、此玉絲ナルモノモ何百人何百釜ノ工場ガ澤山アルノデアリマスガ、此玉絲ヲ此統制ノ中ニ入レヌノハ、玉絲ハドウナツテモ宜イ、同ジ製絲ノ中デ全然統制ガ缺ケテモ構ハヌ、ヤルヤウニヤレト云フヤウデアルケレドモ、玉絲ト云フケレドモ同ジ用絲デアアル、素人ガ見レバ玉絲ダカ、器械製絲ダカ分ラナイヤウナ有様デ、外面カラ見マシテモ左様デアアル、ソレ位ナモノデアアッテ、成程輸出先ハ大部分米國ヘ輸出シテ、サウシテ玉絲ハ是マデ國用向ガ多ク、漸ク販路ヲ開キツ、今印度方面ニ販路ヲ求メ、或ハ輸出先ヲ三井ニ依リ、或ハ色々ナ方面

ニ手ヲ伸バシテヤッテ居リマスカラ、追々ハ是等モ伸ビルト思ヒマスガ、是レノ統制ヲ棄テ、置クト云フコトハ、政府ハ一方デ統制ヲ圖ッテ、一方ノ生絲ノ保護ニハ貿易ノ數量ガ少ナイカラト云フ意味デアルガ、此統制ヲ圖ラズニ此中ニ加ヘヌト云フコトハ、ドウ云フ譯デアルカ、之ヲ一應承リタイ

○入江政府委員 先程ノ御希望ノ點ニ付キマシテ、細則ヲ差上ゲマシタノデ、御不審ニ御考ヘニナリマシタ點ハ、御尤ト思ヒマスガ、今日此處デ申上ゲマスルコトハ、大體省ニ於キマシテ決定致シマシタモノヲ、ハッキリ申上ゲテ居リマスルノデ、例ヘバ地

遺絲ノヤウナモノニ付キマシテハ、私ハ唯簽數ガハッキリ致シマセヌモノデアリマスル關係上、概要ノ點ニ於テハ書イテアリマセヌノデ、申上ゲ兼ネルノデアリマスガ、是ハ早晚サウ云フ點モ徹底致シタイト考ヘテ居リマスルノデ、大體ニ於キマシテハ、附則ノ命令事項ノ中ニ、十年後ト雖モ存續セシムベキモノト云フコトヲ規定スル考ガアリマス、例ヘバ先程カラ私ガ申上ゲテ居リマスルモノ、中ニ、斯ウ云フ風ナ點モ規定シタイト思ッテ居リマス、製絲業共同施設獎勵規則ニ依ル獎勵金ノ交付ヲ受ケテ、共同施設ヲ行ッタト云フ風ナモノ、其他農林大

臣ノ適當ト認ムル共同施設ヲ施行シタモノト云フ風ナ色々ナ點、或ハ今申上ゲマシタ五十釜以下ノモノニシテ、地遺絲ノミ製造スルモノ、斯ウ云フヤウナモノヲ明ニ規定スル考デアリマスノデ、其點ハ一ツハハッキリ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、モウ少シハハキリシタ、概要デハナイ細則ヲ申上ゲレバ宜イノデアリマスガ、サウ云フ色々ナ點ガゴザイマスルノデ、十分御意見ハ拜聽シタ上、當局ノ考ヲ申上ゲヨウト思ッテ、概要ノミヲ申上ゲマシタカラ、其點チ一ツ御諒承願ッテ置キマス

次ニ座繰玉絲ノ問題デアリマスガ、御承知ノ通り玉絲工場ニナリマスルト、愛知縣或ハ豊橋方面ニ於キマシテハ、相當大キナ工場モアルカト考ヘルノデアリマス、併シ是ハ只今ノ所デハ、輸出致シマスルモノモ相當出テ參ッテ居ルノデアリマスルガ、極メテ數量モ少ナイシ、原料ト云フノガ大分是ハ違ッテ居ル、寧ロ是ハ製品ノ改良、蠶絲ノ改良ト云フ點カラ考ヘテ見マスルナラバ、段々此原料ハ少ナクナッテ來ル、寧ロ今私ノ方デ調べタ所ニ依リマスルト、玉絲工場邊リハ原料ヲ得ルノニ非常ニ困難ヲ來シテ居ル、斯ウ云フ風ナ實情ニ即シテ居ル、私四五日前デゴザイマシタガ、玉絲工場ヲ經營

サレル方々ガ御出デニナリマシテ、是非此免許制度ニ入レテ呉ルト云フヤウナ御希望モアッタノデアリマス、ト云フヤウナコトモゴザイマシタノデアリマスガ、今ノ場合ト致シマシテハ、實際申シマスト云フト、大體除外ヲシテ置キマシテモ、宜イノデハナカラウカ、私共主眼ト致シマスル此免許制度ノ趣旨ト致シマシテハ、輸出生絲ト云フモノモ現在ノ状態ヲ取締ッテ、製絲ノ統一ヲ圖ル上ニ、又玉絲ノ方ノモノハ、檢査スル輸出檢査法ニ於テモ、檢査ノ必要ハ無クナッテ居リマス、サウ云フ點モアリマスノ

デ、將來モウ少シ發達シテ參リマスルヤウナ場合ニ於キマシテハ、又考ヘテ見ナケレバナラス、只今ノ所デハ座繰、玉絲、柞蠶ト云フヤウナ方面ハ、此法律カラ除外スル方ガ至當デハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○近藤委員 私ガ思フノニハ、玉絲モ今日デハ入レテ差支ヘハナイ、但シ此中ヘ入レテ今申上ゲルヤウナ僅カナ座繰々々ト云フテモ、玉絲ノ座繰ナドハ達摩ト稱シマスガ、達摩絲ヲ製造スルモノヲ以テマデ其中ヘ含メテ、サウシテ統一ヲ圖ラセヨウト云フコトハ、困難デアリマセウケレドモ、或點ニ於テハ極ク小ナル者ヲ憐ンデヤル、或

點ニ於テハ大ナルモノハ大ニ統制ヲ圖ラセル爲ニ、大ナル工場ハ玉絲デアラウガ何デアラウガ特別ノ監督ノ自由ハ政府ノ御手心デナルノデアアルカラ入レテ、斯ウ云フ時ニハヤッタ方ガ、蠶絲ノ大革命ノ時代デアアルカラ之ヲ取除イテ居ルト云フコトハ、私ハ當局ノ聊カ失禮デアリマスルケレドモ、不注意ト言ヒマセウカ、此御心ガナイト云フコトハ、私ハ斯業者ニ向ッテ心遣リガナイノデハナイカ、斯ウ思ヘルノデアリマス、能ク是等ハ御考ヲ願ヒタイノデアリマス

ソレカラ今申上ゲマシタ小製絲家ガ、是非共五十釜以下ノモノヲ除外シテ貫ヒタイト云フ所ノ年限ヲ切ラズニヤッテ貫ヒタイト云フコトハ、私共ノ地方バカリデハナイ、各縣共是ハ要望シテ居ルコトデアリマスルシ、ソレカラ先程モ私ガ申上ゲマシタガ、大製絲家ガ小製絲家ヲ審メ付ケルカノ如クニ思フカ知ラナイ、ガ何レモ日本全國ノ此大製絲家ノ製絲法案ヲ要望シテ居ル所ノ方々ハ、寧ロ私共ハ統制ガ缺ケルカラ、是迄アルモノヲ蹴散ラカシテシマヘトハ、腹ノ中デハ其意味ガアルカモ知ラナイケレドモ、只今申上ゲマスル通り社會政策上カラ見マシテモ、是等ノ方々ハ言ハナイガ、現ニ此既設ノ是迄ヤッテ居ラレル所ノ五十釜以下位

ナモノハ、認メテヤッテ良イデヤナイカト云フコトハ、大キイ百五十釜以上ノ方々ノ、此法ニ當嵌メラレル方々ガ、現ニ言ウテ居ルノデアリマス、シテ見レバ何モ斟酌ヲシテ、之ヲ統制ニ入レルカラ、統制ヲ缺クト云フコトニハナルマイカト思フノデアリマス、是等モ能ク御考慮ニ與リタイ次第デアリマス、私ハ尙ホ尋ネタイコトモアリマサルケレドモ、諸君ノ御妨ゲテシテハ濟ミマセヌカラ、マダ此委員會ノ續ク以上ハ、其時迄關聯シタモノデ御尋モシ、大臣ノ御出席ヲ待チマシテ、サウシテ大臣ニ對シテモ、大體根本方針ヲ御尋シタイコトモアリマスルカラ、是デ今日ハ私ノ質問ヲ打切りマス

餘リ長クナリマシテハ、御迷惑デアリマスカラ、極メテ簡單ニ蠶絲局長カラ御答ヲ願ヒタイト思フノデアリマス
先ヅ第一ニ若シ本案ガ成立致シマシテ、施行セラレルト云フ場合ヲ想像致シマシタ際ニ、本案ノ適用ノ範圍ハ日本ノ内地ニ限ラレルノデアルカ、或ハ日本ノ統治權ノ存シテ居ル海外ノ植民地或ハ租借地、即チ臺灣朝鮮、或ハ關東州等ニ於ケル日本ノ製絲家ノ其企業ニ對シマシテモ、新法ハ適用サレルモノデアリマセウカ否ヤ、之ヲ先以テ御伺ヒ致シタイト思フノデアリマス

○戸田委員 内地方ニ限ラレルト云フ御答デアリマスルガ、私ハ若シ此案ガ内地ダケニ限ラレルモノト致シマスナラバ、折角蠶絲業ノ統制ヲ圖ル爲ニ政府ガ御提案ニナリマシタ趣旨ガ、非常ニ效果ガ減殺サレルヤウニ考ヘラレマス、殊ニ養蠶製絲ヲ海外ニ於テ發展助長サセルト云フコトハ、農林當局モ相當ニ從來力ヲ御入レニナテ居ルト存ジマス、今後臺灣若クハ朝鮮、關東州方面ニ於ケル養蠶製絲事業ト云フモノガ、益々發達ヲ致シ、或ハ遠ク「ブラジル」植民地ニ於キマシテ、此傾向ガアルト云フコトヲ吾々ガ考ヘマシタ場合ニ、將來是等ニ對シテモ十分ニ御考慮ヲ、今カラ御願ヲ致シテ置キタイ、又本邦ノ統治權ノ及バザル範圍ニ於キマシテモ、支那ノ上海、或ハ將來滿洲等ニ於キマシテ、邦人ガ製絲業ヲ營ムト云フヤウナコトモ、想像ガ出來ルノデアリマス、本法ノ效果ヲ十分ニアラシメル爲ニハ、是亦十分ニ御考慮ヲ其方面ニ付テ御用ヒアランコトヲ御願ヒ致シタイノデアリマス

○入江政府委員 内地ダケト云フコトニナッテ居リマス
次ニ私ガ御伺ヒ致シタイノハ、本法ノ免許制度ニ關シマスル免許ノ條件ト致シマシテ、一方ニ於キマシテハ釜數ノ制限ヲ標準トセラレ、一方ニ於テハ資本金ヲ標準トセラレテ居リマス、其資本金ノ關係ニ於キマシテ、五十萬圓ヲ程度トスルト云フヤウナ、施行上ノ御方針デアルト承ッテ居リマスルガ、若シ此資本金ヲ五十萬圓程度トナサレル場合ニ、御伺ヒ致シタイノハ、五十萬圓ト云フノハ現金出資ノミヲ意味スルノデアリマスカ、現金出資以外ノ出資ヲ合セテ五十萬圓トセラレルノデアリマスカ、極メテ簡單ナコトデアリマスルガ、若シ本案ガ施行セラレルト云フ場合ノ、實際上ノ運用ノ上ニ於テ、必要ガ起ルト存ジマス、之ヲ明瞭ニ致シテ置キタイト思フノデアリマス

○戸田委員 私モ農林大臣カラ直接御答ヲ願ヒタイコトモアリマスルガ、ソレハ本日ハ大臣ノ御都合デ御出席ガナイカラ、明日他ノ同僚諸君ノ御質問ト相俟ッテ、明日ニ致シタイト思ヒマス、大臣以外ノ政府委員ノ方カラシテ、御答ヲ願フベキ事柄ニ關シマシテ、本案審査ノ上ニ付テ御伺ヒ致シタイト思フ、大體ハ今迄多數委員諸君ト蠶絲局長ノ質問應答ニ依ッテ、大體盡キテ居ルト思ヒマスガ、マダ此點ニ付キマシテハ、二三御伺ヒシタイ點ガ殘ッテ居ルヤウニ存ジマス、

○入江政府委員 我先程資本ノ點ニ付テ申上ゲマシタ中デ、申上ゲタコトガ一寸誤解セラレタヤウニ考ヘマスノデ、釋明シテ置キタイト存ジマスガ、大體斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、此免許制度ノ標準ト致シマシテ、百五十釜ト致シマシテ、サウシテ資本ノ點ニ付キマシテハ、大體如何程ガ適當ナリヤト云フコトハ洵ニ、ムヅカシイデハナカラウカト考ヘテ居リマスノデ、資本額ヲ確定スルコトハ避ケタイ、施行細則ノ中ニハドウ云フ風ニ書キマスルカト申シマス、大體ニ於キマシテ今ノ百五十釜ノ設備ニ相當スル資本、斯ウ云フヤウニ規定シタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテ先程申上ゲマシタノハ、大體三十萬圓内外ト云フ標準デ、私ノ方デ調べテ居ルノデアリマスガ、其中デ固定設備ニ二十四萬バカリ、其他流動資本ガ十四五萬バカリト見テ居リマス、ソコデ三十萬圓位ヲ必要トスルノデハナイカト申上ゲタ、ソレカラ五十萬圓ト云フノハ中央會カラ出テ參リマシタ答申ノ中ニ五十萬トアリマス、是ハ三年バカリ前デアリマスル關係カラト思ヒマス、尙ホソレノミナラズ物價其他色々ノモノガ變ッテ參リマスルカラ、細則ニ金額ヲ幾

トヲ吾々ガ考ヘマシタ場合ニ、將來是等ニ對シテモ十分ニ御考慮ヲ、今カラ御願ヲ致シテ置キタイ、又本邦ノ統治權ノ及バザル範圍ニ於キマシテモ、支那ノ上海、或ハ將來滿洲等ニ於キマシテ、邦人ガ製絲業ヲ營ムト云フヤウナコトモ、想像ガ出來ルノデアリマス、本法ノ效果ヲ十分ニアラシメル爲ニハ、是亦十分ニ御考慮ヲ其方面ニ付テ御用ヒアランコトヲ御願ヒ致シタイノデアリマス

○入江政府委員 我先程資本ノ點ニ付テ申上ゲマシタ中デ、申上ゲタコトガ一寸誤解セラレタヤウニ考ヘマスノデ、釋明シテ置キタイト存ジマスガ、大體斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、此免許制度ノ標準ト致シマシテ、百五十釜ト致シマシテ、サウシテ資本ノ點ニ付キマシテハ、大體如何程ガ適當ナリヤト云フコトハ洵ニ、ムヅカシイデハナカラウカト考ヘテ居リマスノデ、資本額ヲ確定スルコトハ避ケタイ、施行細則ノ中ニハドウ云フ風ニ書キマスルカト申シマス、大體ニ於キマシテ今ノ百五十釜ノ設備ニ相當スル資本、斯ウ云フヤウニ規定シタイト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、而シテ先程申上ゲマシタノハ、大體三十萬圓内外ト云フ標準デ、私ノ方デ調べテ居ルノデアリマスガ、其中デ固定設備ニ二十四萬バカリ、其他流動資本ガ十四五萬バカリト見テ居リマス、ソコデ三十萬圓位ヲ必要トスルノデハナイカト申上ゲタ、ソレカラ五十萬圓ト云フノハ中央會カラ出テ參リマシタ答申ノ中ニ五十萬トアリマス、是ハ三年バカリ前デアリマスル關係カラト思ヒマス、尙ホソレノミナラズ物價其他色々ノモノガ變ッテ參リマスルカラ、細則ニ金額ヲ幾

ラト確定スルコトハ廢シタ方ガ宜イデヤナイカ、寧ロソレニ相當スル設備資本ト申シマスル方ガ、運用上宜クハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○戸田委員 大體百五十釜ヲ基礎ト致シテ、現在ノ經濟上ノ關係カラ三十萬圓位ノ資金ヲ妥當トスルト云フ御説明デアリマス、其三十萬圓ハ先程御伺ヒ致シタヤウニ、金錢出資ダケデナクテ宜シイカト云フコトニ付テ、御答ヲ願ヒタイ

○入江政府委員 時ノ事情ト場合ニ依リマシテ——餘程其點ニ付テ先程加藤サンカラモ御話ガアッタノデアリマスガ、或ハ經營者ノ如何——私ハ其時ハッキリ申上ゲナカッタノヲ遺憾トシテ居リマスガ、相當知識經驗ヲ有スル經營者、例ヘバ五年以上營業ニ從事シテ居リマスル者トカ、或ハ相當蠶絲ニ關係スル專門學校以上ヲ出タ者等、サウ云フ資格等ノ上ニ於キマシテモ、色々考究スル點ガアルト考ヘテ居リマス、隨テ經營者ノ如何ニ依リマシテ、或ハ借入レタル資本デモ宜イ場合モ出テ來ルノデハナカラウカ、併シ餘リ高イ利率ヲ以テ經營致シマスルト、今迄ノ工場ノ状態ヲ見テ居リマスルト、高金利ノ利息ニ依リマシテ、設備シタ小サイ工場ハ、其資本利息モ拂ヘナイ、斯

ウ云フコトカラ、値段ガ下ルト云フ時ニハ、往々サウ云フモノガ經營難ニ陥ルノデハアルマイカ、サウ云フ工場ノ經濟状態ニモ關係致シマスルト存シマスルノデ、サウ云フ點ハ成ベク私共ハ自己資金デヤルヤウニ、進ンデ行キタイ、例ヘバ設備ヲ致シマスルノニ高イ利息ノ金ヲ借りテヤルト云フコトハ、經營上困難デハナカラウカ、併シ低利資金ノ融通ヲ受ケマシテヤツテ、而モ價格ガ將來向上スルト云フヤウナ場合ナラバ、或ハ利益ガ上ル、斯ウ云フヤウナ場合

場合ニ依リマシテ、能ク十分ニ地方長官ノ方ノ報告等ニ俟チマシテ、サウシテ認可ニ當リマシテハ、サウ云フ點ヲ十分ニ調査シテ、將來適當ナ經營ガ出來ルヤウニ、斯ウ云フヤウニシテ行ク方ガ宜イデヤナイカ、隨テ借入金デモ其借入金ノ性質ニ依リマシテ、差支ナイ場合モアリ、或ハ高イ金利ノ場合ニハイケナイノデヤナカラウカ、斯ウ云フヤウナ色々ノ場合ヲ想像シテ居ル次第デアリマス

○戸田委員 モウ一點簡單ニ御伺ヒシタイノデアリマス、附則ノ第二項ニ「本法施行ノ際現ニ製絲業者タル者又ハ其ノ承継人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ十年間」云々ト云フ、此繼承人ト云フ意味ヲ

御伺ヒ致シタイ

○入江政府委員 大體茲ニ規定シテアリマスル繼承人ト申シマスルノハ、例ヘバ會社、法人デ申シマスレバ、法人ノ合併トカ云フヤウナ場合トカ、或ハ又相續ノ場合、斯ウ云フヤウナコトヲ大體繼承人ト思ッテ居リマス、同時ニ此中ニ特定繼承人ト云フ場合モ「イ」出ヤウト思ヒマス、今ノ現狀カラ見マスルト、工場ヲ銀行ニ抵當トシテ入レテ、金ヲ借りテ居ル場合モアリマス、色々サウ云フ事情ガアルト云フコトカラ考ヘマシテ、成ベク此場合ニ於キマシテハ、同業者間ノ承継ト云フヤウナコトハ認メタイ、施行細則ニ於キマシテ同業者間ノ承継ト云フヤウナコトハ認メタイ、斯ウ云フヤウナコトヲ規定スル考デアリマス

○戸田委員 只今ノ御説明ノ繼承人ト云フ意味ヲ、場合々々ノ事情ニ依リ、適用ガ出來ルモノガアリマセウカ、相續トカ或ハ會社ノ合併ト云フコトニ止マラズシテ、賣買移轉等ニ依ッテ譲リ渡スト云フコトガ出來得ルモノデアルカ、若シソレガ出來得ルト致シタナラバ、其地域ハ日本ノ内地ノ中ナラバ何處ノ地域ノ人ニ賣買移轉ヲ致シマシテモ宜シイカドウカト云フコトヲ御伺ヒシテ見タイト思ヒマス

○入江政府委員 大體ニ於キマシテ賣買移轉ト云フコトハ、同業者間ノ賣買移轉ハ認メヨウト云フ考ヲ有ッテ居リマス、隨テ今御話ノ如ク全ク素人ガヤルト云フ場合ニ於キマシテハ、是ハ新シク免許ヲ受ケナケレバナラス、斯ウ云フヤウナ考デアリマス、詰リ新シク免許ヲ受ケル、斯ウ云フ形ニシマス、サウデナクシテ同業者間ニ於ケル賣買移轉ヲスルト云フ場合ニ於キマシテハ、新シイ免許ヲ要セズニ、特定承継ヲ認メル、斯ウ云フ考デアリマス

○戸田委員 餘リ長クナツテハ御迷惑ト思ヒマスカラ、私ハ是デ止メマス

○青木委員 私モ一言申上ゲテ置キタイコトハ、根本方針ニ關スル問題デスカラ、能ク大臣ト御相談ヲ願ッテ、明日大臣カラ御答辯ヲ得タイト思ヒマスル、色々考ヘテ見マサルノニ、只今近藤君ニ依ッテ強調サレタル小工場主ノ立場、或ハ玉絲製絲家、或ハ座繰工場ト云フヤウナ點ニ付テ、ソレ等ノ立行クヤウニモシテヤラナケレバナリマセウカ、ソレハ當局ニ於テモ御考ヲ練ッテ居ラレル様子ニモ伺ヒマスガ、本法ノ根本方針トシテ、輸出向ノ生絲業者ダケニ限定スル、輸出製絲業法ト云フ風ナコトニ限定シテ、本法ヲ立案スルト云フコトニ御方針ヲ執ルコ

トガ出來ルカドウカ、此點ヲ能ク御相談下
サイマシテ、明日大臣カラ御回答ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、ソレダケ申上ゲテ置キマ
ス

○武田委員 私共同志カラ提案シテ居リマ
スル製絲業法ヲ、明日カラ同時ニ御審議ヲ
願ヒタイト思ヒマスガ、明日委員會ノ開會
ニ當リマシテ、私共提案ノ説明ヲスル機會
ヲ與ヘテ貰ヒタイト思ヒマスガ、ソレニ付
キマシテ、此政府提出ノ法案ヲ拜見致シマ
スノニ、大體吾々ノ提案トサウ大差ナイヤ
ウデアリマス、唯附則ニ「本法施行ノ日ヨ
リ十年以内ニ命令ノ定ムル條件ヲ具備シ、
主務大臣ノ認可ヲ受ケタル者ニ限り其ノ期
間經過後ト雖モ」ト云フコトガ、主ナル相
違ノヤウニ思フノデス、ソレデ此點ダケヲ
伺ッテ置クノハ、明日私ガ説明ヲスルノニ非
常ニ都合ガ好イト思ヒマシテ伺フノデスガ
「命令ノ定ムル條件ヲ具備シ」ト云フノハ、
ドウ云フヤウナ御腹案デアリマスカ、ソレ
ヲ伺ッテ置キタイ

○入江政府委員 大體ニ於キマシテ、附則
ニ於キマシテ、命令事項ニ定メマスルモノ
ハ、十年後デモ存續セシムルト云フ趣旨カ
ラ參リマシタ、隨テ共同施設ヲヤリマシテ、
其獎勵ノ結果整理合同ガ出來タモノトカ、

或ハ整理合同ハシマセヌデモ、一緒ニナッテ
一ツノ作業場ヲ、販賣所ヲ設ケルト云フヤ
ウナモノトカ、先程來申上ゲテ居リマスル
ヤウナ、輸出向デナイ地遺絲ヲ製造シテ居
ル工場トカ、サウ云フヤウナモノハ、十年
後ト雖モ矢張是ハ存續セシメル、斯ウ云フ
コトヲ命令デ規定スル考デアリマス

○武田委員 ハッキリシナイノデスガ、地
遺絲ヲ製造スルモノハ、其儘ニシテ置クト
云フノデアリマス、ソレハ他ノ方デモ地
遺絲ハ除外スルノデナイノデスカ、新シク
免許ヲ要求スル者デモ、從來免許ヲ受ケテ
居タモノハ、十年後ニナッテ、百五十釜以下
デモ、地遺絲ダケハ其儘許シテ置ク、將來
ノモノハ地遺絲ハ許サナイ、從來ノモノト
將來ノモノト、地遺絲デアッテモ區別ガ付
クコトニナルノデスカ

○入江政府委員 實ハ先程武田サンガ御出
デニナラナイ前ニ申上ゲテ置イタノデアリ
マスガ、尙ホモウ一度申上ゲマス、原則トシ
テ現在ノ製絲工場ニハ、現在ノ免許制度ノ
法律ヲ全部適用スル、斯ウ云フコトニ致シ
マシテ、唯第一條ノ除外例カラ除キマスル
ノハ玉絲トカ、座繰トカ斯ウ云フモノハ第
一條ノ方面カラ除イテシマフ、隨テ此點ノ
適用ハナイ、器械繰ノ方ハ全部此法律ノ適

用ヲ一變致シマシテ、サウシテ附則ニ於キ
マシテ、現在アリマスル地遺ノミヲ專門ト
シテ居ル工場ニ付テハ、將來永遠ニ認メヤ
ウ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス

○武田委員 ソレカラ地遺絲以外ノモノハ
ドウナルノデスカ、詰リ條件ヲ具備スルモ
ノハ經過後ト雖モ、免許ハ其儘效力ヲ有ス
ル、斯ウ云フコトニナッテ居ルノデアリマ
スガ、十年後ト雖モ其免許ノ效力ヲ御認メ
ニナルノデアリマスカ

○入江政府委員 其以外ノモノハ共同シテ
揚返工場ヲ作ルト云フヤウナモノニ於イテ
モ、附則ニ依リマシテソレニ設備ヲ致シマ
シタモノニ付キマシテハ、矢張認メル、斯
ウ云フ取扱デアリマス

○武田委員 サウシマスト共同揚返ヲヤッ
テ、百五十釜ノ製絲家ト同ジヤウナ設備ヲ
シタモノ、斯ウ云フ譯デスカ

○入江政府委員 餘リ單純ニ申上ゲマシタ
ノデ、モウ一遍詳シク申上ゲマスガ、共同
施設ト致シマシテ、例ヘバ共同荷造所トカ、
或ハ販賣所、或ハ共同揚返場トカ、共同檢
定所トカ、色々ナ設備ガアルノデアリマス
ガ、サウ云フモノヲ例ヘバ十釜位ノ工場ガ
十五寄ッテ一ツノ共同施設ヲスル、斯ウ致シ
マスルト、ソレハ矢張合同ハ致シマセヌガ、

サウ云フ設備ニ對シマシテ將來永遠ニ認メ
ル、斯ウ云フ考デアリマス

○近藤委員 武田サンガ今御尋ニナッタ共
同施設ノコトニ付テ私ハ關聯シテ御尋致シ
マスガ、十年以内ニ命令ニ定ムル條件ヲ具
備シテ主務大臣ノ認可ヲ請ヘバト云フコト
ハ、御當局ガ昨日カラノ御答辯デ共同施設
ヲ獎勵シ、共同施設ヲヤレバ許ス、斯ウ云
フヤウナ條項ニ嵌ルヤウデアリマスガ、其
場合ニ認可ヲ致シマス時ニハ、假ニ一人三
十釜ノ者ガ五人寄レバ即チ資格ガ得ラレル
ノデアリマス、ソレニ對スル資本ガ具備ス
レバ工場ト別々ニ居ッテモ、共同施設ト云フ
ノデソレデ宜シイノカ、仄聞スル所ニ依ル
ト、共同施設ノ釜數ハ、百五十釜デナクシ
テ、二百釜トカ三百釜トカ云フコトニ聞及
ンデ居リマスガ、此點ハ、百五十釜サヘ――
三十釜五人寄ッテ共同施設サヘスレバ、ソ
レニ對スル資本サヘ、三十萬圓ノ資本ダケ
サヘアレバ宜シイト云フノデアリマスガ、
一寸御尋ヲ致シマス

○入江政府委員 只今私共ノ方デ考ヘテ居
ルノハ、共同施設ヲ獎勵スル意味カラ考ヘ
テ居リマシテ、大體釜數ハ、三百釜ト云フ
コトニ見當ヲ付ケテ居リマス、資本ニ付テ
ハ別ニ之ヲ何十萬圓ト云フコトニハ限ラヌ

○入江政府委員 只今私共ノ方デ考ヘテ居
ルノハ、共同施設ヲ獎勵スル意味カラ考ヘ
テ居リマシテ、大體釜數ハ、三百釜ト云フ
コトニ見當ヲ付ケテ居リマス、資本ニ付テ
ハ別ニ之ヲ何十萬圓ト云フコトニハ限ラヌ

○入江政府委員 只今私共ノ方デ考ヘテ居
ルノハ、共同施設ヲ獎勵スル意味カラ考ヘ
テ居リマシテ、大體釜數ハ、三百釜ト云フ
コトニ見當ヲ付ケテ居リマス、資本ニ付テ
ハ別ニ之ヲ何十萬圓ト云フコトニハ限ラヌ

○入江政府委員 只今私共ノ方デ考ヘテ居
ルノハ、共同施設ヲ獎勵スル意味カラ考ヘ
テ居リマシテ、大體釜數ハ、三百釜ト云フ
コトニ見當ヲ付ケテ居リマス、資本ニ付テ
ハ別ニ之ヲ何十萬圓ト云フコトニハ限ラヌ

○入江政府委員 只今私共ノ方デ考ヘテ居
ルノハ、共同施設ヲ獎勵スル意味カラ考ヘ
テ居リマシテ、大體釜數ハ、三百釜ト云フ
コトニ見當ヲ付ケテ居リマス、資本ニ付テ
ハ別ニ之ヲ何十萬圓ト云フコトニハ限ラヌ

ノデアリマス、ソコデ施設ヲ致シマシタ場
合ニハ、釜數三百釜位ノ工場ト云フナラバ
效力ガアルヂヤナカラウカ、斯ウ考ヘテ居
リマス

○武田委員 私ハ一點御願ヲシテ置キマ
ス、ソレハ明日デモ宜シウゴザイマスガ、
本案モ私共ガ提案シタト同一デスガ、今一
番ノ要點ハ免許ノ條件デアリマス、百五十
釜ニスルカ、百釜ニスルカ、二百釜ニスル
カト云フノガ一番ノ重點デアリマスガ、ソ
レヲ決スルノハ中々困難ナコトデアリマ
ス、先刻蠶絲局長ノ御話デハ、ソレ等ヲ調
査スル爲ニ、實態調査ヲ爲サタト云フコト
ハ、ソレハ非常ニ吾々トシテハ參考ニナル、
サウ云フモノガ印刷物ニナッタモノガアレ
バ參考資料トシテ明日御提出ニナリタイ、
サウ云フモノガ出來テ居リマセヌナラバ、
印刷物ハ後ニ御願スルニシテモ、明日適當
ノ時期ニ、局長自身ガ口頭デモ宜シウゴザ
イマスカラ、御願致シタイ、印刷物ガアリ
マシタラ、御配付ヲ願ヒタイ、是ハ委員長
カラ政府ニ御交渉ヲ願ヒマス

○入江政府委員 實ハ共同實態調査ノ問題
デアリマスガ、印刷物ハ非常ニ少ナイノデ
アリマシテ、一部トカ、二部トカシカ作ラ
ナイノデアリマスカラ、ナイノデアリマス、

ソコデ此處ニ持ッテ居リマスルモノチ一ツ
御目ニ懸ケマシテ、或ハ私ガ説明ヲ致シマ
シテ、御覽ヲ願ヒタイト存ジマス

○武田委員 ソレヲ委員共同デ、必要ナ人
ニハ回覽スルヤウニ御貸シテ願ヘマセヌカ
○入江政府委員 承知致シマシタ

○近藤委員 今伺ヒマシタ共同施設ヲ獎勵
シテ、共同施設ノモノハ三百釜デナケレバ
ナラナイト云フ趣意ハ、ドウ云フ譯デア
ルカ、百五十釜ガ最少限度ニナッテ居ッテ、多
勢寄ル場合ニハ必要ノ釜數ヲ以テヤラナケ
レバイケナイト云フコトハ、何カラ割出シ
テ當局ハ三百釜ヲ標準ニ探ラレタノデア
ルカ、ソレカラ尤モ三百釜ト云フモノハ、茲ニ
現ハレテ居ルノデアリマセヌガ、ソレハ
政府ノ方モマダ内規デアッテ、愈々細則ヲ出
ス時ニハドウナルカ分ラナイ、吾々ノ希望
ガ百五十釜ガ最少限度デアッタモノナラバ、
假令三十釜ノ者ガ五人寄ッテ、十年以内ニ之
ヲ拵ヘテ共同施設ニ進ムト云フコトニナ
テ來タモノナラバ、私共ハ百五十釜デ宜イ
ト考ヘル、何ガ故ニ三百釜ト云フ釜數ヲ持
テヤラナケレバナラヌノデアアルカ

○入江政府委員 大體特別ナ施設ヲ致サセ
マシテ、ソレヲ救済シテ行クト云フ考ヲ持ッ
テ居ル者デアリマスカラ、或ル施設ヲ致シ

マス上ニ於テハ相當金モ掛ル、ソレヨリ矢
張釜數カラ割出シテ見ルナラバ、三百釜位
寄ッテナラバ、其施設ヲスル上ニ於テモ良イ
ノヂヤナイカ、例ヘバ共同揚返場ヲ作ルニ
付キマシテモ、生産費ノ點、經營費ノ點ニ付
キマシテモ、矢張ソレ位ノ釜トスルコトガ
利益ヂヤナイカ、要スルニ製絲家ノ利益ト
云フ方面カラ考ヘマシテ、適當ヂヤナカラ
ウカ、實ハ前ノ臨時議會ノ結果、今將ニ實
行シツ、アル譯デ、其效果ハ分ッテ來ルカト
存ジマス、大概サウ云フ標準デ今ヤッテ居
ル譯デス

○有馬委員 本案ノ條文中既ニ政府ノ提案
セラレタ趣旨ニ對スル質疑ハ、先輩各位カ
ラノ質問應答ニ依リマシテ、大體諒解致シ
マシタカラ、是ハ省略致シマスガ、唯本案
ガ時代ニ適應セシメンガ爲ニ出タト云フ所
カラ行キマシテ、是等ニ關聯スル最モ指導
機關デアアル所ノ西ヶ原ノ高等蠶絲學校ノ移
轉ノ問題デアリマスルガ、之ニ付テ確定シ
テ居ルニモ拘ラズ、段々遷延シテ居ルヤウ
ナ状態デアリマス、是等ニ付キマシテ所管
大臣タル文部大臣ノ御出席ヲ要求シテ、ソ
レニ對スル質問ノ通告ヲ致シテ置キマスル
カラシテ、委員長ニ於カレマシテモ然ルベ
ク御取計ヲ願ヒタイト思ヒマス

○生田委員長 ソレデハ明日……

○青木委員 先程農林大臣ガ御忙シカッタ
ノデ殘シテ置イタ問題ト、尙ホ其後ノ質問
應答ノ經過ニ連レテ御伺シナケレバナラヌ
點ガアリマスルカラシテ、簡單ニ御伺致シマ
ス、只今モ政府委員ニ此處デ申シテ置イタ
ノデスガ、此製絲業法ノ取締ヲ一般生絲ト
云フコトニナッテ居リマスルガ、種々ナル關
係カラ考慮致シマシテ、輸出生絲ノ製絲ヲ
スル工場ニノミ限定シテ適用スルト云フヤ
ウナ建前ニ御直シスルコトニ御同意ガ出來
ナイモノカドウカ、其點ヲ一寸伺ヒタイ

○後藤國務大臣 輸出生絲ト地遣生絲トノ
製造工場ハ截然ト區別スル譯ニハ參ラス點
ガアリマス、輸出生絲ノ爲ニ製絲業ノ工場
等ノ基準ヲ相當ニ高メテ置カナケレバナラ
ヌト云フコトノ結果、唯輸出生絲ト限リマ
シタバケデハ、地遣ノ生絲カラ輸出生絲ヲ
抜クコトモ出來マスルシ、ドウモ尻ガ拔ケ
ルコトニナリマスノデ、矢張輸出生絲ヲ作
リ得ル者ニハ此統制ガ及ブヤウニ致シテ置
カナケレバナリマセヌ、純然タル地遣生絲ノ
生絲ヲ作ルト確實ニ認メラレルモノ等ニ付
キマシテハ、相當ノ手心が加ヘラレル積リ
デアリマス

○青木委員 一寸御伺致シテ置キマス、ソ

レカラ是ハ養蠶製絲ニ關聯シ尙ホ本法ニ依テ除外デハナク、入レル所ノ小サナ工場ノ善後策ニモ關聯シテ來ルト思ヒマスガ、國用生絲ト云フモノヲ輸出生絲ト切離シテ、此掃立蠶種ノ所カラ區別ヲ致シ、養蠶飼育法及ビ製絲方法等ヲ截然區別ヲ致シテ、蠶絲業政策ヲ立テ、行ッタナラバドウカ、甚ダ突飛ナ質問ノヤウデアリマスケレドモ、飼育法モ近來段々自然的ニ還元サレテ參リマシテ、頗ル簡單ニ參ルヤウニナツタ、而シテ又近來ノ此過剩生絲ヤ何カノ扱ヒ方等ニ付テハ、將來トモ十分國策ノ上カラ考ヘテ行カナケレバナライ問題デアルト思フ、國民ニ此絹ヲ普及的ニ用キサセテ、サウシテ輸出生絲ノ餘ツタ所ノモノニ對シテハ、國民ニ其需要ヲ普及セシメテ行カナケレバナラヌト云フ趨勢ニ立到ッテ居ルノデアリマス、ソレヲ普通輸出生絲ト同シ生産費ヲ掛ケテ所謂地遺絲ヲ作ルト云フコトニナッテ居リマスノデハ今日自然絹物ノ生産費ガ高イ、高イガ故ニ贅澤デアルト云フ觀念ガ國民ノ頭ヲ支配致シテ居ル、現ニ後藤農林大臣ニ依テ唱道サレタル所ノ過剩滞貨生絲ノ處分方法ニ付テモ、是等ノ費用ノ問題カラシテ中々實際ニ國內需要ニ向ケルト云フ點ニ於テハ困難ナル事情ガアラウト思フノデス、

ソコデ國內ニ使フ所ノ生絲織物原料、其他ノ國內原料デアル所ノ生絲ハサウ立派ナモノデナクテモ宜シイ、又ソシテ細イ物デナクテモ宜シイカラ、養蠶飼育法カラシテ極メテ簡單ニ致シテ、製絲工場モ國內生絲ノ製絲工場ヲ、所謂此法律ニ依テ認メラレル所ノ百五十釜以下ノ、否百釜以下ノ二十釜、三十釜ト云フ程度ノ小工場ヲシテ今後十年ノ後ニハ扱ハシムル、サウシテ國內織物等ニモット生産費ヲ安クシテ、簡單ニドンドン生絲原料ガ使ヘルト云フ風ニ致シテ行ッタナラバ、一面ニ於テハ輸出市場ノ統制ヲ附ケル上ニ於テモ、一面ニ於テハ本法施行ニ依テハミ出サレテ居ル所ノ小工場ノ善後救済ノ問題ニモ當嵌ッテ行クノデハナイカト、是ハ私ハ思付デアリマスガ、是等ニ對シテ當局者ハ如何ナル御考ヲ有セラレルカ、特ニ此蠶絲業ノ近來ノ趨勢ニ對シテ深く考慮セラレテ居ル所ノ後藤農林大臣ハ如何ナル御考ヲ有セラレルカ、此場合御所見ノアル所ヲ御伺致シテ置キタイ

○後藤國務大臣 只今突飛ナ意見デアルカモ知レヌガト云フ前置キデ御話ガアリマシタガ、私モ甚ダ突飛デアルカモ知レマセヌガ、丁度同ジヤウナコトヲ私見トシテ考ヘテ居ルノデゴザイマス、唯専門的ノ考究ヲ遂ゲテモ居リマセヌシ、果シテサウ云フコトガ將來十分ニ實現サレルニ至ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、此處ニ何共私マダハッカリシタ意見ヲ申上ダ兼ネマスルガ、出來得ルナラバ國用絲等ハ養蠶ノ時カラ既ニ系統ヲ異ニシテ、色々ナ種類ノ生産ナンカ、出來ルト云フコトガ、織物業ノ爲ニモ日本ノ製絲業ノ將來ノ自己保存ノ力ヲ作ル上ニモ適切ナルコトデナカラウカト、唯理想的ニ考ヘテ居ルノデアリマス、段々今後研究ガ進ミ、サウ云フコトノ實行ガ出來テ、相當ニサウ云フモノガ別ニ考ヘラレルト云フコトニナリマスレバ、色々ナ制度ノ上ニ別ニ考ヘテ行カナケレバナライカモ知レマセヌ、今日ニ於テハ制度ノ上ニ於テサウ云フコトヲ特ニ考ヘルト云フ場合ニハ立到ッテ居ラヌノデアリマス

○青木委員 尙此點ニ付テハ専門的ニ御調査ヲ進メテ戴キタイコトヲ希望致シテ置キマス

ソレカラ輸出市場ノ統制問題ニ付キマシテ、近來斯ウ云フ説ヲ爲ス者ガアルノデス、或ハ間屋ノ合併トカ、或ハ新會社ニ於テ統制ヲスルトカ、色々考ヘラレテ居ルヤウデスケレドモ、最モ率直簡單ニ行ハレテ効力ノ顯著ナリト認メラレル説ト致シマシテハ、商工大臣ノ所管ニ屬シテ居ル所ノ重要物産ノ産業統制、アノ同業組合法ノ所管ヲ商工大臣ノ外ニ農林大臣ノ所管ニ致シテ、農林、商工兩大臣ノ所管ニ致シテ此同業組合法ノ支配ノ下ニ輸出商ノ統制ヲ致スコトガ一番効果的デアアル、サウシテ混雜ヲセズシテ其成績ヲ擧ゲルコトガ出來ヤウト云フ有力ナル説ガアルノデスガ、農林大臣ノ御所見ハ如何デスカ

○後藤國務大臣 御説ノヤウナ方法モ輸出生絲統制ノ一方法デアルト思ヒマス、輸出生絲統制問題ニ付テハ色々ナ考ヘ方ガアリマスガ、ソレ等ノコトヲ比較研究シテ、今折角考究中デアリマス、今ドレヲドウト云フコトヲ申上ダ兼ネル次第デアリマス

○青木委員 今一點御伺ヲ致シテ置キマス、是ハ本案ノ第三條ニ於ケル製絲業ノ統制上必要ナル事項云々ト云フ條項ノ立法精神ト申シマスカ、此點ニ付テ少シク明瞭ヲ缺ク點ガアリマスノデ、此際大臣ニ對シテハッカリ御指示ヲ願ヒタイ、私共ハ最初此第三條ヲ見タ時ニ於テ製絲業統制ノ聯絡シタル精神ガ茲ニ現レテ居ルノデアアル、斯ウ見テ敢テ不思議ニ思ハナイ位デアッタノデゴザイマスルガ、段々御説明ヲ伺ッテ見ルト云フト、或ハサウデモナク、第五條ノ公益ヲ害

スル云々ト云フ箇條ト對照セラレテ説明ヲセラル、ト云フヤウナコトニモ聞エルノデアリマスガ、サウデアアルナラバサウデ宜シイガ、ソレナラバ施行細則ニ此點ハ最モ明ニ其事項ヲ明記セラレテ置カヌト云フト、當業者ハ非常ニ不安ヲ感ズル、傳家ノ寶刀式ニ何時デモ第三條ハ抜ナテ適用シ得ルト云フコトニナッテ、施行細則等ニ明記セラレテ居ナカッタナラバ、此位當業者ニ取ッテ不安ナコトハナイノデアリマス、サウデナク、國家統制ノ上カラ言ウテ、是ハ製絲業法ニソレダケノ事ヲ明記致シテ置クト、同時ニ蠶絲業ノ總テノ法律ニ此統制ヲ付ケル爲ノ是ガ大黒柱トナッテ、此一條ガ設ケラレテ居ルトスルナラバ、ソレデ宜イノデアリマスガ、何カノ場合ニハ之ヲ使フノデアアル、時ノ大臣ニ依ッテ此箇條ガ萬々一適用サレ、否悪用サレルト云フヤウナコトガアッテ、漫然ト斯ウ云フヤウナ規定ガ設ケラレテアルトスルナラバ餘程考物デアラウト思フ、デアアルカラシテ、此内容ハハッキリ致シテ置ク必要ガアルト思ヒマスルカラシテ、大臣ヨリ的確ナル御説明ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス

ヤウナ事ヲ頻繁ニヤラウト云フヤウナ考デハ少シモゴザイマセヌ、矢張製絲業全體ノ統制ノ是ガ一ツノ現レデアラウト云フ御想像ト全ク同ジ考ヲ持ッテ居リマス、サウ簡單ニ屢、斯ウ云フ事ニ付テノ命令ヲ出スト云フ積リデアリマセヌ、特別ナ事情ノ生ジタ場合ニ蠶絲業ニ互ッテ一ツノ統制ノ必要ガ生ジタ時ニ此法規ヲ用キタイ積リデアリマス、若シ其法規ニ違反スルト云フヤウナコトガ起リマス、此第五條ノ處罰規定ガ應用サレルト云フヤウナコトニナルノデアリマス

○青木委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○生田委員長 武田君

○武田委員 私共カラ蠶絲業全般ニ互ッテ統制スベキ各種ノ提案ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、實ハ此蠶絲業統制ニ關シテ全體ノ意見ヲ申述べテ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ譯デアアルノデアリマスケレドモ、非常ニ御多忙デアアルサウデアアルシ、適當ナ機會ヲ得ルコトハ困難デアラウカト思ヒマスノデ、此場合一ツ御伺シタイノデスガ、私共ノ考ニ依リマス、蠶絲業ノ統制ノ根本ハ販賣統制デアアルト思フノデアリマス、今日蠶絲業ヲ統制シナケレバナラヌト云フコトニナッタノハ、要スルニ濫賣ノ弊ガアル、横濱ノ問屋ノ資力ハ少ナイ、或ハ

又製絲業者ハ數ガ澤山アッテ、小製絲業者、資力ノ少ナイ小製絲業者ノ數ガ多クテ、持耐ヘルコトガ出來ナイデ是亦濫賣ヲスル、又問屋及輸出業者ノヤウナ商人ハ必ズシモ生絲ノ値段ガ高イト云フコトヲ欲スル譯デハナイ、値段ガ高クナッタリ安クナッタリ、即チ「フラクチエーション」ノ多イコトヲ希望シテ、其間ニ利鞘ヲ得レバ生絲ノ値段ナドハドウデモ構ハヌト云フ傾向ガ多クアリ得ル、又今日ノ蠶絲業ノ實際ノ狀況カラ見ルト云フト、之ヲ最モ保護スベキモノハ養蠶家竝ニ製絲業者ノ如キ生産業者デアアル、實際ニ於テハ生産業者ト配給業者タル、今申上ゲルヤウナ輸出業者竝ニ問屋ト云フ間ニハ利害ガ相對立シテ居ル現狀ニナッテ居ラシテ如何様ニ統制シタラバ宜イカト言ヘバ、ドウシテモ價格ノ點ニ於テ適當ナ價格ヲ保タシメルト云フコトガ一ツデアアル、一ツハ價格ヲ安定セシメルト云フコトガ第二ノ要點デアリマス、現ニ是ハ農林大臣モ御承知ノ如クニ、日本ノ生絲ガ賣崩サレルト云フコトハドウ云フコトデアアルカト云フト、甚ダ不安定デアアル、ドウモ先安デ、先ガ安クナリサウダト云フコトデ亞米利加ノ織物屋ガ之ヲ買ハナイ、又亞米利加ノ生絲

業者ガ日本ノ生絲ヲ買込ンデ手持ガアル、「ストック」ガアルト先ガ安クナレバ非常ニ損害ヲスル、ドウモ日本ノ生絲ノ相場ニ何時モ安定ガナイ爲ニ非常ニ困ル、出來ルナラ他ノ安定シテ居ル生絲ヲ原料トシテ使ヒタイト云フ氣分ガアルコトモ、是亦御承知ノ通りデアリマス、斯様ナ事情カラシテ、此蠶絲業ノ全般ニ互ッテ居ル統制ト云フコトハ非常ニ必要ダト云フコトガ唱ヘラレテ居ルト私ハ思フノデアリマス、要スルニ蠶絲業ノ統制ノ根本ノ意見ト云フモノハ生絲ノ價格ヲ安定セシメルト云フコトガ、其要點デナケレバナラヌ、サウシテ價格ガ安定スルニ從ッテ生産業者ヲ保護スル、斯ウ云フノガ此蠶絲業統制ノ根本精神デアリ、指導原理デナケレバナラヌト吾々ハ思フノデアリマス、斯様ナ趣旨カラシテ、吾々ハ此蠶絲業ノ統制ニ於キマシテハ、販賣統制ニ最モ重キヲ置イテ居ルノデアリマス、是ハ現ニ先程青木君ノ御話ニアリアシヤウナ重要産業統制法ノ精神モソコニアル、凡ソ産業ノ統制ト云フコトハ種々其業態ニ依ッテ違ヒマセウケレドモ、大體私ハ此價格ノ「スタビリティ」ヲ得ルト云フコトハ總テノ統制ニ於テノ中心點デアラウト思フノデアリマスガ、蠶絲業ニ於テハ殊ニ其點カ重要デ

アラウト思フ、サウシマスト蠶絲業ノ統制ノ中心點ハドウシテモ販賣統制ニナケレバナラヌト吾々ハ確信スルノデアリマス、其趣旨カラシテ販賣ノ統制ヲスル必要上今現ニ御提案ニナリマシタ免許制度、即チ製絲業者ヲ統制スルノニハ養蠶業者ヲ統制シナケレバナラス、養蠶業者ヲ統制スルノニハ種々ナル方法ガアリマセウガ、差當リ吾吾ノ考ヘル所デハ一番可能性ノアルモノハ蠶種ニ依ッテ、即チ原種ニ依ッテ之ヲ統制スル、斯様ニ致シタナラバ宜カラウト、斯ウ云フヤウナ腹案ヲ持ッテ居ルノデアリマス、要スルニ販賣統制ガ本デアッテ、販賣統制ヲスルガ爲ニ製絲業者ノ統制モ必要デアリ、製絲業者ノ統制ヲスルガ爲ニハ養蠶業者ノ統制モ必要デアルト云フヤウナ順序ニナッテ來ルノデアッテ、價格ノ統制、從ッテ販賣統制ト云フコトハ、此蠶絲業ニ關スル統制ノ根本デアラウト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、斯様ナ意味合ニ於キマシテ吾々ハ養蠶、製絲、販賣、此三ツノモノハ是ハ關聯シタモノデ、一ツノ有機的ノ組織ヲ有ッテ居ルト思ヒマス、隨テ此統制ニ付テハ是非共三ツニ取ッテ有機的ノ統制ノ法制ヲ作ラナケレバ意味ヲナサヌコトダト思ヒマス、然ルニ政府ノ提案ハ此製絲業者ノ統制

ダケテ最初ニ御出シニナタツト云フコトハ、吾々ニ於テハ如何ニモ産業ノ統制ト云フコトノ根本精神ニナラス、何カ吾々ト違ッタ考ヲ御有チニナルノデナカラウカト云フヤウナ強キ疑ヲ有ツノデアリマス、若シ調査ノ都合トカ、或ハ其他ノ都合デ本案ヲ先ニ御出シニナタツト云フナラバ、寧ロ私ハ此製絲業ノ統制案ハ多少遅レテモ左程ノコトハナイト思フ、販賣統制コソ今日最モ必要ナルコトデアリ、殊ニ時局匡救ノ上ニ於テハ、最近コソ少シク絲ノ値ガ上リマシテ、稍、小康ヲ得テ居ルヤウナ譯デアリマスケレドモ、今日地方ノ養蠶業者ノ多數ガ困ッテ居ル、非常匡救ト云フ意味ニ於テ最モ效果アラシムル所以ハ何ヨリモ先ヅ以テ販賣統制ニ著手セラレルト云フコトガ、今日ノ場合ニ於テ至當ノコトデアアルマイカト、斯様ニ考ヘマス、今申上ゲル通り、蠶絲業統制ノ根本方針カラ申シマシテモ、販賣統制ニ著手スルノガ當然デアリ、又多數ノ養蠶業者ヲ救済スルト云フ——非常匡救ヲスルト云フ意味カラ言ッテモ、販賣統制ニ御著手ニナルト云フコトガ已ムヲ得ザルコトデアリ、又最モ必要ナルコトデアルト吾々ハ考ヘルノデアリマス、然ルニ此販賣統制ニハ御著手ニナラズシテ、製絲業ノ統制ノミニ

御著手ニナタツト云フノハドウ云フ譯デアルカ、是ハ吾々ノ蠶絲業ニ對スル統制ノ根本方針デアリ、又時ニ依ルト當局者ト吾々ノ意見ノ根本的ノ大ナル相違點ガ茲ニアルノデハアルマイカト考ヘラレマシテ、此點ヲ一ツ詳シク當局ノ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス

○後藤國務大臣 製絲業法ヲ先ヅ出シマシタノハ、只今御話モアリマシタヤウニ、相當ニハ準備ノ出來タコトデアリマス、又事柄ガ割合ニ手ヲ著ケ易イコトデアリマスカラ、先年來製絲業ノ起伏常ナイ此狀況ノ爲ニ、養蠶家等ガ頗ル煩ハサレテ居ッテ、サウシテ今ヤ製絲業ガサウ濫立ヲシ得ナイヤウナ、謂ハ、困難ノ狀況ニ陥ッテ居ル、斯ウ云フ時コソ寧ロ機ヲ逸セズニ製絲業法ヲ施行シテ免許ノ制度ヲ確立スルニ便利デアルト考ヘマシタ譯デアリマス、尙ホ蠶絲業全般ニ互ッテノ統制問題ハ御話ノ通りニゴザイマス、輸出生絲ノ販賣ノ統制ノ如キモ、最モ重要ナル中心點ヲ爲ス問題ダト云フヤウナコトハ、全ク御同感デアリマス、先程モ青木サシノ御質問ニ御答シマシタヤウニ、是ハ色色ナ方法ガアリマス、又利害得失各々アリマス、海外トノ關係モ頗ル慎重ニ考慮シナケレバナラナイ、又現在其業ニ當ッテ居ル者

ノコトニ付テモ考慮ヲシナケレバナラス、輕々ニ之ヲ斷行シ難イ點ガアリマスシ、又ソレマデニ色々ナ調査モシナケレバナリマセス、其方法ノ何レヲ採ルカト云フコトモサウ輕々ニ決スベキコトデモナイノデアリマス、旁、政府ニ於テハ既ニ研究ニ著手シテ居リマスルガ、尙ホ今後ノ研究ニ俟ッテ、何等カノ方法ニ依ッテ、實現ヲ圖リタイ、斯ウ思ッテ居ル譯デアリマス、又原産種ノ問題、進ンデハ養蠶家ニ對シソレ以外ノ統制ノ問題等ニ付テモ、漸時歩ヲ進メテ行キタイト云フ譯デ研究ヲ致シテ居リマス、蠶絲業全般ヲ通ジテ脈絡ガアリ、系統ガアリ、又組織ノアル統制ガ行ハレテ、而モ養蠶業者ノ進步發達、農家ノ利害ト云フモノニ惡影響ガナイヤウニ仕組ヲ適切ニ考ヘルト云フコトガ必要ダラウト思ヒマス、統制ノコトモ吾々隨分考ヘマスルケレドモ、ソレヨリ却ッテ今日ノ養蠶業ガ其儘ノ有様ニ居ルコトニモ隨分不便ヲ感ズル場合モナイデハナカラウカト思ヒマス、ソレ等ノ方面モ旁、考慮シテ、各方面カラ此統制ノコトニ付テハ、考ヘテ行カナケレバナラスト思フ、唯其際ニ製絲業ノ免許制度ノコトダケテ最初ニ突出シタト云フコトニ付テ、奇異ノ觀ヲ懷カレマセウケレドモ、是ハ只今申上ゲ

マシタ事情ト理由トニ依ッテ、此際御協賛ヲ得テ速ニ實行シテ置クコトガ便宜ト考ヘタノデアリマス

○武田委員 大體今農林大臣ノ御説ヲ承ルト云フト、其根本精神ニ於テハ、吾々ノ意見ト餘リ相違ナイヤウニモ承リマスルガ、併シ製絲業法ヲ特ニ先ニ御出シニナツタト云フ理由ハ、尙ホ甚ダ明カナラスノデアリマス、本案ヲ見マスルト云フト、即チ此條件ヲ具ヘタモノ、統制ノ條件ニ入ルモノ、即チ百五十釜ナラ百五十釜以下ノモノニ對シテハ、十箇年間ダケハ現狀ト少シモ變ラナイノデアリマス、ソレデ本案ガ實行サレタカラト云ッテ、其實質カラ申シマスレバ、直接ニ何等統制ノ上ニ直ニ影響ノ來ルコトハ少シモナイノデアリマス、左様ナコトハ謂ハ、少シ位遅レテモ差支ナイト思フ、早イコトハ希望致シマスクレドモ、何レガ早キヲ要スルカト云フナラバ、是等ハ遅レテモ直ニ蠶絲業ニ影響ガナイモノデアルト私ハ思フノデアアル、然ルニ販賣統制ノコトハ、先程申上ゲタヤウニ焦眉ノ急デアアル、非常匡救ノ上ニ於テモ、是ハ非常ニ必要ナルモノデアリ、蠶絲業ノ將來ニ向ッテモ勿論必要ノモノデアアルノデアリマス、此販賣ノ統制ヲ相當ナル手段デ執ラレルナラバ、今日直

ニ製絲業者ヲ救ヒ、又從ッテ養蠶業者ヲ救フコトガ出來ルノデアリマス、今日養蠶業者ヲ救フコトハ、是ハ屢々本院ニ於テモ議論ノアツタ所デ、今日ノ所謂非常匡救ナルモノハ主トシテ農村ヲ對象トシテ居ルコトハ、農林大臣モ御異存ガナカラウト思フ、農村ノ對象ハ即チ米ト繭デアリマス、隨テ生絲デアリマス、是ハ現ニ本院ニ於テモ米ヲドウスルカト云フコトガ、殆ド重大ナル問題トシテ農林大臣モ苦慮シテ居ラレル、今朝アタリノ新聞ヲ見ルト云フト、其爲ニ農林大臣ノ進退云々ト云フヤウナコトマデモ新聞ニ出テ居リマス、ソレ程重大ナル問題ガ之ニ關聯シテ居ルガ近頃繭ノ植ガ上ツタカラト云フ聲ガ擴マリマシタケレドモ、ソレ前迄ハ、今年ノ秋繭ヲドウスルカ、之ニ對シテ非常對策ヲシナケレバナラヌトヤカマシク言ッテ居ル今日ノ狀態ニ於テハ、此統制案ヲ御出シニナルノガ極メテ必要デアアル、又效果ノアル販賣統制ニ指ヲ染メズシテ、之ヲ出サレタト云フコトハ、今日ノ御說明デハ私ハドウシテモ諒解スルコトハ出來ナイノデアリマス、大臣ノ今ノ御說明ニ依ッテ、販賣統制、原産種ノ統制ハ種々ナル關係ガアルカラシテ、ソレハ調査研究ヲ要スルト云フコトヲ仰シヤッタノデアリマス

ガ、併シ此蠶絲業ノ統制ト販賣ノ統制ハ私共ノ見ル所ニ依リマスルナラバ、是ハ有機的ノ關係ガアルト思フ、之ヲ切離シテヤルト云フコトハ私ハ統制ノ精神ヲ諒解シナイモノデアルト思フ、況ヤ此販賣統制ノ遺方ハ色々アリマセウケレドモ、サウ困難ナコトデハナイ、ソレノ他ノ事ニ向ッテハ農林當局トシテハ相當研究ヲ重ネテ居ラレル筈デアアル、少數ノ製絲業ヲ濫立サセルト云フコトハ困ルニハ相違ナイガ、是ハ餘リ痛切ニ感じテ來ナイ、ト云フノハ販賣ノ方カラ從ッテ來タノデアリマス、販賣ハ先程申上ゲルヤウニ、亞米利加ノ織物業者、或ハ製絲、生絲、商業家ハ日本ノ生絲ノ植段ガ安定セヌト云フコトデ困ッテ居ル、又問屋業者ト生産業者トノ利害ノ對立關係上、非常ニ生絲業者ハ不利ノ立場ニナッテ居ル、生絲ノ植段ノ安定シナイノモ、茲ニアルト云フコトハ、是ハ屢々論ジラレテ居ルコトデアリマシテ、農林當局ガ今日迄其點ニ向ッテドウシタラ宜イカト云フ、サウ云フ材料的ノ御調ガナイト云フコトハ私ハ斷ジテアルベキ筈ガナイ、是ハ當然農林當局ノ責任トシテ御調ニナッテ居ル筈デアアル、後藤サンハ成程大臣ニ御就職ニナッテカラ年月ハ少イデアリマセウケレドモ、其基礎的ノ調査、基礎的ノ材

料ト云フモノハ、疾ニアルベキ筈デアリマスルカラ、其方針サヘ一日定ツタナラバ之ヲ成案ニスルト云フコトハ左程困難ナコトデハナイ、況ヤ此蠶絲業ノ統制ノ根本ハ私ノ申上ゲル如ク販賣ノ統制ニアル、價格ノ安定ニアルト云フコトヲ御認メニナリ、此蠶絲業ノ統制ト云フコトガ販賣統制製絲業統制並ニ養蠶統制ト有機的ノ關係ガアルト云フコトヲ御認メニナリマスナラバ、ドウシテモ此販賣統制ニ先ヅ以テ御著手ニナラナケレバナラヌ筈デアアル、若シソレガ力ガ十分デナイト云フナラバ——是ハ先程申上ゲルヤウニ、製絲業法ナルモノハ十年二十年ノ後ニ初メテ本當ノ統制ノ效果ヲ現ハスノデアリマスカラ、何モソシニ御急ギニナラナイデモ宜シイト云フナラバ、ソレナラ是非モナイ事デアリマスガ、有機的ノ統制ヲ爲スナラバ、養蠶、製絲、販賣ノ三者ニ向ッテ統制アリ、組織アル有機的ノ統制案ヲ御作りニナリ、然ル後ニ御提案ニナルノガ親切ノ遺方デハナイカト思フノデアリマス、此點ニ向ッテ重ネテ御同致シタイ、尙ホ私ハ斯ウ云フ點ヲ伺ヒタイ、先程最初ニ私ガ申シマシタ蠶絲業ノ統制ニ對スル根本ノ精神、即チ私ノ先程申上ゲタコトニ御同意デアリマスカ否カ、斯ウ云フ事ヲ伺ヒタイ、

ソレカラ吾々ハ今申ス如キ趣意ニ於テ蠶絲業ノ統制ハ有機的デアリ、聯絡的デアルト云フ觀念カラ、私共ハ養蠶ニ對シテハ連繫ノ統制、製絲業ニ對シテハ免許制度、販賣ニ向ッテハ販賣統制ノ案ヲ出シテ居ルノデアリマスガ、是ガ本院ノ協賛ヲ得マシテ、多數デ以テ通過シタル場合ニ於テハ、農林當局ハ御同意ニナリマスカドウカ、斯ウ云フ三ツノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○後藤國務大臣 製絲業法ヲ先ヅ以テ出シ

マシタ事ニ付テノ御疑念ガ御有リノヤウデアリマス、十年間ハ現狀ノ儘ニ行クノデアリカ、洵ニ其通りデアリマス、併シ現狀ノ儘ト申スノハ、現狀ノ儘デ若シ此制度ナクシテ放任シテ置キマスレバ、又絲ノ景氣ガ好クナッタト云フヤウナ時ニハ、將來非常ニ製絲業者ガ濫立スルコトニナルダラウト思ヒマス、今後ノ濫立ヲ防グト云フコトハ、今カラ是ハ效果ノアル問題デアリマス、唯現在ノモノヲサウ早く責メ付ケルト云フ譯ニハ參リ兼ネルト思ヒマス、稍、緩ヤカナル過程ヲ以テ製絲業ノ秩序ヲ圖リタイト思ッテ居ルノデアリマス、隨テ之ヲ早く致シマスコトガ他ノ事ト睨ミ合セテ非常ニ工合ノ悪い事デアル、斯ウ云フ事ニハドウモ

考ヘラレナイヤウニ思フノデアリスマ、ソレカラ蠶絲業全般ニ互ル問題トシテ輸出生絲ノ販賣統制ノ方法ヲ建テルコト原々種ノ國營ノ問題、其他ノ事ニ付テ色々々々提案ヲ議會ニ出シテ居ルガ、ソレガ通ッタ時分ニハドウスルカト云フヤウナ御話デアリマスガ、此問題ノ案ヲ其儘ニ私ハ決行シタイト云フコトヲ申上ゲル事ハ出來兼ネルト思ヒマス、政府トシテハ十分ニ攻究シテ、實行ノ場合ヲ考ヘテ正確ニ案ヲ建テ、行カナレケバナラヌヤウニ信ジマス

○武田委員 是レ以上申上ゲルト云フコト

ハ、或ハ議論ニ互ル事デアリマスカラ、私ハ成ベク差控ヘマスルガ、併シ製絲業法ヲ出シタノハ、成程只今或ル製絲業者ニ向ッテハ統制ヲ加ヘル事ハ出來ナイガ、將來製絲業ヲ始メル者ニ向ッテ統制ヲ加ヘルト便利ガアルカラ、之ヲ出シタノデアルト云フ御話デアリマシタガ、是ハ聊カ事實ノ認識ヲ誤ッテ居ルヤウニモ、失禮ナ言葉デアルカ知レマセヌガ、私ハサウ思フノデアリマス、今日ノ製絲業者ハ、是ハ大臣ハ御承知ノ筈デアリマスガ、實際現在ニ於テ、繭ヲ原料トシテ製絲ヲ致シマスニハ數ガ多過ギル、私ノ當業者カラ聞キマス所デハ、又統計ナド

ヲ取ッテ私ノ考ヘル所ニ依ルト、二割以上多イト思フノデアリマス、當業者ガサウ申シテ居ルノデアル、然ルニ今日製絲業ハ非常ニ不利ナ状態ニナッテ居ル、此場合ニ於テ、現ニ餘程生産繭ノ數量ニ對シテ製絲業ガ餘計ニナッテ居ルノニ、ソレハ絶無トハ申セマセヌデセウケレドモ、何モ冗談ニ好ンデ製絲業ヲヤル者ハアリマセヌ、儲ケタイカラヤルノデアリマス、斯様ナ状態ニ於テ非常ニ濫立ノ虞ガアルガ、ソレ以上ニ統制ノ必要ガアルカラ、先ヅ以テ製絲業法ヲ出サナケレバナラヌト云フコトヲ御説明ニナッテ居ルケレドモ、私ハ其儘受取ル事ハ出來ナイ、ソレトモ他ニ理由ガアルノデアリマセウカ、ソレデハ私ハ親切ナ御答辯トハ受取レマセヌ、ソレカラ先程申上ゲタヤウニ、吾々ノ提案ニ賛成スルカドウカト云フコトニ向ッテハ、今ノ御答辯デハモット色々々事ヲ考ヘテ見ナケレバナラヌト云フ御趣意カラ、本院ヲ多數ヲ以テ通過シテモ御同意ナイト云フ御答辯ノヤウニ心得テ宜シイカト思ヒマス、左様ニ考ヘマスガ、モウ一度先刻承ッタ事ヲ御答辯願ヒタイト思ヒマス、蠶絲業統制ニ關スル私ノ意見ニ根本的ニ政府ハ御同意デアリマスカ、若クハ此統制ノ指導原理ト云フモノハ如何ナルモノデアル、如

○後藤國務大臣 御提出ノ案ニ付テドウ考

ヘルカト云フコトハ、尙ホ御提出ノ案等ヲ能ク拜見シテ御質問ヤ御議論等ヲ伺ッタ後デナケレバ、直チニ此處デ意見ヲ申上ゲルコトハ早キニ過ギルト思ヒマス、大體ニ於キマシテハ、中々是ハ輕々ニヤリ悪い事デアルト思ッテ居リマス、ソレデ十分ニ御調査ニナッタコト、思ヒマスガ、ソレニ對シ彼レ此レト批評ヲ申スノデアリマセヌケレドモ、吾々トシテモ非常ニ慎重ニ色々々ノ研究ヲ致シテ居リマス、直チニ御同意申上ゲルト云フ譯ニハ參リ兼ネルデアラウト思ヒマス、ソレカラ製絲業法ヲ出シタ事ハ今ノ説明以外ニ何か特別ノ理由ガアルノデハナイカト云フヤウナ御話デアリマスケレドモ、是マデ私ヤ政府委員カラ申上ゲタ以外ニ、別ニ何モ理由ハゴザイマセヌ、今製絲業者

ノ數ハ多過ギル位デアルカラ、ソナ濫立ハ今後アルマイト云フ仰セデアリマスルガ、多過ギルト云フコトデアリマスレバ、今後又新ニ若シ色々出來レバ尙ホ困ル状態ニナルダラウト思ヒマスノデ、之ヲ防イデ置クノガ最モ適當デハナイカ、又ソレガ漸次整理サレ、合同サレ、或ハ共同施設ヲヤルト云フヤウナコトデ秩序ト組織ヲ持ツヤウニナルト云フヤウナコトヲ、今カラ獎勵シテ行クト云フコトノ爲ニモ、此製絲業法ヲ出シテ置クノガ宜シイデアルト云フヤウニ考ヘタ譯デアリマス、尙ホ蠶絲業全般ニ互ル指導精神ニ付テ、何カ意見ガ自分ト變テ居リハセヌカト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、私ハ大體ニ於テ相違ガナイヤウニ思ヒマス、先刻カラ御説ヲ伺ヒマス、唯販賣統制ヲ中心トシテノミ考ヘルノダト云フコトハ、私ハ其點ニ於テ聊カ違ッテ居ルカモ知レマセヌガ、販賣統制ノ問題、販賣ニ關スル色々ナ秩序組織等ノ問題ガ非常ニ重要ナ問題デアッテ、大キナソコニ要點ガ置カルベキモノデアルト云フコトニ付テモ、至極御同感ノヤウニ考ヘルデアリマス

○武田委員 私ハ尙ホ色々御伺シタイ事ガアリマスケレドモ、私ダケデ時間ヲ取ル

コトハ恐入リマスカラ、他日農林大臣ガ御出下サイマシタ機會ニ、モウ少シ時間ヲ與ヘラレンコトヲ御願シテ、其時マデ私ノ質問ヲ保留シテ一先ヅ此處デ打切りマ

○近藤委員 マダ大臣閣下ハ十分ヤソコラハ宜イノデスカ

○後藤國務大臣 居リマス

○近藤委員 然ラバ私ハ先程局長ニ向ッテ、細カナ事ニ互リマシテ質問ヲ致シマシタ、大體本來ナラ先ヅ大臣閣下ニ根本ヲ御尋シテ、ソレヲ本トシテ細カナ局長ニ御尋スルノガ順序デアリマスノヲ、大臣ノ御都合上

局長ノ方カラ、細カナ方カラ伺ヒマシタノ

デ、廻リマスカラ隨テ局長ニ申上ゲマシタ

ヤウナコトガ繰返サレル憾ミガアリマスケ

レドモ、是ハ諸君ニ御斷リシテ置キマス、尙ホ徹底的ニヤラントスレバ諸君ニ御氣ノ

毒デアリマスカラ、簡單ニ私ハ要領ダケヲ申上ゲマス、此製絲業法ヲ御提案ニナッタ

根本ハ、先程カラモ御答辯ノ如ク能ク趣旨

ハ分リマシテゴザイマスケレドモ、蠶絲ノ

統制ヲ根本的ニ之ヲ定メンガ爲ノ法律デア

ッタト致シマスレバ、武田君カラモ御問ニ

ナリマシタ養蠶業ヲ如何ニスルカト云フコ

ト、ソレカラ小製絲家ヲ如何ニスルカト

云フコトガ、之ニ伴ウテ參ル問題デアリマス、是等ノコトハ細カニハ申シマセヌケレドモ、今日

〔委員長退席、加藤委員長代理著席〕

既ニ私共ノ手許ニハ全國ノ國用向ノ製絲業

者ト云フモノガ陳情書ヲ出シテ來タ位デア

リマス、此陳情書ノ内容ヲ聽キマスノニ、

大製絲家モ之ニ對シテハ異議ハナイ、シテ

見レバ蠶絲統制ノ上ニハ、日本ニ權威アル

所ノ大製絲家モ異議ハナイ、ソレカラ日本

全國ニ於ケル所ノ國用向製絲業者モ異議ハ

ナイト致シマスレバ、當業者ニハ何等異議

ハナイ、唯御世話ヲスル、監督爲サル所ノ

農林省ダケガ賛成ガ出來ナイト云フコトニ

ナルノダカラ、矛盾モ甚ダシイコトニナリ

ハセヌカト思フデアリマス、之ヲ局長ノ

御手許ヘ參考ノ爲ニ、全國國用向製絲業者

カラ出シタ餘分ノ分チ一通出シテ置キマ

シタカラ、大臣ハ直ニ之ヲ御讀ミニナッテ

御答辯爲サルト云フコトハ出來マイト思

ヒマスカラ、大體ノコトヲ申シマスル

ガ、要スルニ、國用向ノ小製絲家ハドウ

カアノ法律ノ上ニ細則ヲ設ケテ、十年ト

言ハズ、是マデ現在アル所ノ五十釜以下

ノ工場ハ、小規模ノ工場デハアルケレド

モ、父祖傳來ノ業デアルカラ、之ヲ繼續

サシテ戴キタイ、斯ウ云フコトデアリマ

スルガ、其細則ニ依ッテ、大臣ニ於カレテ

ハ、此小製絲家ノ五十釜以下ノ國用向トシ

テ除外例ヲ設ケテ置ク御意思ガアルヤナキ

ヤ、是非共ニハアルヤウニシテ戴キタイ、

諄ク私ハ申シマセヌカラ、是ダケヲ承リタ

イ

○後藤國務大臣 御答ヲ致シマスガ、大體

今御話ノヤウナ趣旨ヲ能ク考慮シテ見タイ

積リデ居ルノデアリマス、本法案ニ於キマ

シテ、附則ノ最後ニ書イテアリマス點モサ

ウ云フコトニ付テノ考慮ノ餘地ヲ十分ニ存

シタイト思ッタカラデアリマス、實際ノ場合

ニ當ッテ、ドウ云フ風ニヤッタラ宜イカト云

フコトハ、尙ホ攻究ノ餘地ガアルト思ヒ

マス、尙ホ能ク考究ヲ致シタイト思ヒマ

ス

○近藤委員 大臣ノ御話ハ洵ニ私ハ不徹底

ト思ヒマス、此案ヲ提案爲サルノニ此位ノ

大問題ヲ是カラ考慮サシテ戴キタイ、考慮

シテ居ル、斯ウ云フコトデ、假リニ此案ガ

通過スルト致シマシタナラ、大臣ノ御手心

ニ信賴シテ委セル外ハナイト云フコトニ相

成ルノデアリマスガ、私共ハ此處デ明ニ考

慮ドコロデナイ、是ダケハ是非共小製絲家

ノ爲ニ同情ニ堪ヘナイ、養蠶家ノ爲ニモ大

ニ同情シ、兩々相俟テ、今日ノ此疲弊困憊

ノ農村カラ見レバ尤モデアルト云フ御言葉ガ、私ハ出ナケレバナラヌト思ヒマス、然

ルニ微温のニ考慮シテ居ルト云フコトハ、ソレハドウ云フ所カラ出ルカ、洵ニ國民ニ

對シ、國家ニ對シテ大臣ハ不親切極ル御答辯デアルト思フデアリマス、其點ガ實ニ

遺憾デアリマスガ、モウ一應ハッキリシタコトヲ御聽キガ出來マスレバ伺ヒマスガ、御

聽キガ出來ヌト致シマスレバ御考慮ニ御委申ス外ハナイノデアリマス、私共ハ私共

ノ執ルベキ方法ヲ執ルノ外ハナイカラ、是デ質問ヲ打切りマス、ドウゾ之ニ對スル御

答辯ガ出來ルナラ御答辯アラムコトヲ偏ニ願ヒマス

○後藤國務大臣 只今申上ゲタヤウニ附則ニサウ云フコトノ當然ノ扱ガ出來ルヤウナ

處置ヲ執ッテ居リマス、今後十年モマダ先ノ話ニナル譯デアリマス、其間ニ今御話ノヤ

ウニ、五十釜以下ノ國用向ノ生絲製造工場ノ如キモノモ色々合理的ニ連絡シ、共同的

ニ施設スルコトモ望シイコトデアリマス、ソレガ假ニ出來ナクテモ其場合ニ至リマシ

テ、其取締、其他統制ノ上ニモ少シモ差支ナイモノデアルト云フモノニ付テハ、其存

續ヲ認メルヤウナ途ヲ開キタイト考ヘテ居

リマス

○近藤委員 内容ニ付テハ只今申上ゲマシタ通り是デ打切りマスガ、先程局長ニ御尋

シテ御答ダケデ何等私ノ意見ヲ申上ゲマセズ、希望モ付サナカッタガ、付サナイカラト

言ッテ私ハ局長ノ御説明ニ服シタ譯デナイ、幸ニ大臣閣下ノ御耳ニ達シタ譯デ、御尋致

シタイト思ヒマスルノハ、其附則ノ中ニアリマスル十年以内ニ相當ノ條件ヲ具備スレ

バ認可スル、即チ共同施設ヲ獎勵シ、共同デ「トラス」ヲ起シテヤッタ者ニハ許ス、

其許ス釜數ガ百五十釜ヲ最小限度トシテ居ルノニ、共同施設ニ對シテハ三百釜ヲ内容

ニ規定シテ居ルト云フヤウニ御答ニナリマシタガ、一面百五十釜ヲ最小限度トシテ居

ルノニ、共同ナルガ故ニ三百釜ニスルト云フ、即チ倍ノ釜數デナケレバナラヌト云フ

ノハドウ云フコトデアリマスカト御尋シタラ局長曰ク、ソレハヨリ以上獎勵シテ共同ノ

力ヲ鞏固ナラシメルト云フ、當業ノ爲ヲ思フテ、アルト云フ御話デアリマシタガ、私

ハサウハ聽取レナイ、百五十釜ト云フ最小限度ガアルノニ、三百釜、ソレハ一面ニハ

局長ノ仰ッシヤッタヤウニ御親切ニ當業者ヲ思フテノ御考カ知レマセヌガ、百五十釜デ

アッタナラバ百五十釜ヲ設備サヘ整へ、設備

サヘ置ケバイケナイ筈ガナイ、ソレ故三百

釜トナサラズニ、百五十釜ト内容ヲ爲スッテ差支ナイト心得ルノデアリマスカラ、更ニ

大臣カラ三百釜デナク、内容ハ百五十釜デモ差支ナイケレドモ、獎勵サレテ共同施設

ヲ行ハセルニ於テハ、二百釜、三百釜ニサシタイノガ本省ノ方針デアルト仰ッシヤルナ

ラ聞エテ居リマス、洵ニ當業者ニ對シテノ御親切ト思ヒマスガ、ドウモ先程局長ノ御

答ダケデハサウ思ヒマセヌカラ、尙ホ重ネテ大臣カラ御答辯アラムコトヲ希望致シマ

ス

○後藤國務大臣 共同ノ施設ヲ致シマスルニハ、其共同施設ノ性質上百五十釜位ノ者

ガ集ッテノ共同施設デハ經濟的ニモ、實行ノ上カラモ、只今ノ有様デハ十分デナイト

思ハレルノデアリマス、苟モ共同施設ヲスルトスレバ三百釜位集ッテヤラナイト經濟

的ニ、合理的ニ參ラヌヤウデアリマス、ソレデ三百釜ト云フコトヲ凡ソ基準ニ置イタ

譯デアリマス、併シ今朝モドナタカラカ御意見ガアッタヤウニ、是カラ十年ノ内ニハ

技術モ進ムデアラウ、今百五十釜ト云フ基準ヲ立テナクテモ、モット大キナ基準ヲ立

テナケレバナラナイ、サウ云フコトハ決シテ豫想サレナイコトデハナイト思ヒマ

ス、今日ノ現狀ニ於テ百五十釜トカ、三百

釜ト云フヤウナ基準ヲ置イテ整理ヲシテ行カウト云フノデアリマス、將來又色々

變化ガアリマスレバ、此標準モ自ら變ヘナケレバナラヌ場合ガ來ルデアラウト思

ヒマスガ、只今ノ所デハ共同施設ニ依ルモノハ、三百釜ト云フモノガ局長モ申上ゲ

タヤウニ無理ノナイ所デアラウト思ヒマ

ス

○近藤委員 御説ハ御尤ノヤウデアリマスケレドモ、ソレハ農林大臣ノ大キナ眼カラ

御覽ニナツタ御議論ノヤウニ拜聽スル、私共豊橋附近ノ小製絲家ノ澤山アル所カラ見

マスルト、之ヲ理想通りニ行ヘレバ結構デアリマスガ、言フベクシテ行ハレヌコトハ

火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス、只今小サクテモ百五十釜デモ御認メニナツテ、一步

リ一步ト進ムコトニ御願ヲ致シマシテ此質問ヲ打切りマス

○百瀬委員 私ハ先刻大臣ノ御留守ニ局長ニ申上ゲタノデアリマス、重複ノ嫌ガアリ

マスカラ速記録ヲ御覽ニナツテ御考慮ノ中ニ入レテ戴ケバ宜シイ、今日ハ時間モ遅ウ

ゴザイマスカラ是デ打切りマス

〔加藤委員長代理退席、委員長著席〕

○生田委員長 本日ハ此程度デ散會致シマ

ス、明日ハ午前九時カラ開キマス
午後六時三十四分散會

昭和七年八月二十九日印刷

昭和七年八月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所